

三菱電機空調冷熱総合管理システム [業務用]

形名

AE-200J

AE-50J

EW-50J

取扱説明書

電力按分課金支援機能編

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 使用部品	6
2. ご使用の前に	9
3. 使用方法 (基本)	19
4. 使用方法 (応用)	38
5. ソフトウェアの準備 (インストール)	47
6. 初期設定	55
7. 課金試運転	109
8. 照合	126
9. トラブルシューティング	135
添付. 追加機能について	151
商標、登録商標について	152

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contains in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

	ページ		ページ
安全のために必ず守ること	4	4. 使用方法 (応用)	38
1. 使用部品	6	4-1. 料金計算ツールの各種設定	38
1-1. 必要部品	6	4-1-1. 料金計算ツールの設定方法	38
1-2. 別売部品	6	4-1-2. 料金計算ツールの設定	39
1-3. 一般市販部品	7	4-1-3. 設定を保存する	42
1-4. パソコン環境	7	4-2. 2ヶ月以上前の料金計算	43
1-5. バージョン制約	8	4-2-1. 定期的にUSB出力を行い パソコンに保存	43
2. ご使用の前に	9	4-3. その他の設定変更と留意点	44
2-1. 電力按分課金支援機能とは	9	4-3-1. 精算日の変更	44
2-2. システム概要	11	4-3-2. 料金単価の変更 (特異日、季節)	44
2-3. 運用方法選択	13	4-3-3. テナント名称の変更	44
2-4. 機能一覧	14	4-3-4. テナント (エネルギー管理ブロック) の間仕切変更	45
2-5. 電力按分課金支援機能対応機種	16	4-4. エネルギー管理表示	45
2-6. システム制約	17	5. ソフトウェアの準備 (インストール)	47
2-7. 電力按分課金支援機能を ご使用時の確認事項	18	5-1. 料金計算ツールのインストール手順	47
3. 使用方法 (基本)	19	5-2. 初期設定ツールのインストール手順	49
3-1. 期日指定計算 (LAN 接続)	19	5-3. パソコンのIPアドレス設定	51
3-1-1. パソコンの準備	19	5-3-1. Windows8.1 の場合	51
3-1-2. 料金計算ツールの設定方法	19	5-3-2. Windows10 の場合	52
3-2. 期日指定計算 (USB)	21	5-4. .NET Framework のインストール手順	54
3-2-1. パソコンの準備	21		
3-2-2. USBメモリによる取得	21		
3-2-3. 料金計算ツールの設定方法	24		
3-3. 精算日計算 (自動出力)	28		
3-3-1. パソコンの準備	28		
3-3-2. 料金計算ツールの設定方法	29		
3-3-3. 料金計算ツールの設定	30		
3-4. 料金計算結果の表示	33		
3-4-1. 電力量計量 (計量計あり) 方式	33		
3-4-2. 電力量手入力 (計量計なし) 方式	33		
3-5. 料金計算結果の印刷	34		
3-5-1. 電力量計量 (計量計あり) 方式	34		
3-5-2. 電力量手入力 (計量計なし) 方式	35		
3-6. 料金計算結果のCSV出力例	36		
3-6-1. 電力量計量 (計量計あり) 方式	36		
3-6-2. 電力量手入力 (計量計なし) 方式	37		

	ページ
6. 初期設定	55
6-1. 概要	55
6-1-1. 初期設定と課金の試運転の流れ	56
6-1-2. 電力按分課金支援に必要な 初期設定項目	57
6-2. 課金用 AE-200J 本体による設定	58
6-2-1. AE-200J 本体による設定項目	58
6-2-2. AE-200J 本体設定	59
6-3. 初期設定ツールによる設定	61
6-3-1. 設定項目	62
6-3-2. 初期設定ツールによる 初期設定の流れ	63
6-4. 初期設定ツールの概要	64
6-4-1. ツールの起動	64
6-4-2. 画面構成・共通項目	65
6-4-3. ツールバーの操作一覧	66
6-4-4. ユニットアドレス選択画面	71
6-4-5. その他	72
6-4-6. 初期設定ツールの準備と流れ	72
6-5. 基本設定	73
6-5-1. 接続構成設定	73
6-5-2. 基本システム設定	74
6-6. ユニット設定	83
6-6-1. グループ設定	83
6-6-2. 冷媒系設定	85
6-6-3. 連動ロスナイ設定	86
6-6-4. 操作ブロック設定	87
6-6-5. エネルギー管理ブロック設定	88
6-6-6. 計量 MC 設定	90
6-6-7. 環境 MC 設定	91
6-7. 課金設定	94
6-7-1. 課金設定	94
6-7-2. 室外機設定	97
6-7-3. 室内機設定	98
6-7-4. 計量設定	100
6-7-5. 料金設定	102
6-8. 料金計算ツールによる設定	108

	ページ
7. 課金試運転	109
7-1. 課金試運転の流れ	110
7-2. 課金設定内容の確認 (課金試運転前の確認)	112
7-2-1. 課金関連シート	112
7-2-2. ユニット関連シート	115
7-2-3. 電力量の記入	117
7-3. 課金試運転チェック	118
7-3-1. 1 回目 (空調機連続運転後) の 確認	118
7-3-2. 2 回目 (1 回目の課金試運転から 10 日以上経過) の確認	124
7-3-3. 3 回目 (2 回目の課金試運転から 一ヶ月以上経過後) の確認	124
7-4. 最終確認	125
7-4-1. 実運用設定の最終確認	125
7-4-2. 最終報告	125
8. 照合	126
9. トラブルシューティング	135
9-1. トラブルシューティング	135
9-2. メンテナンス画面へのログイン方法	139
9-3. AE-200J 交換	140
9-4. AE-50J/EW-50J 交換	141
9-5. 計量用計測コントローラ交換	143
9-6. その他の作業	144
添付. 追加機能について	151
商標、登録商標について	152

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

以下の特殊な環境ではコントローラを使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ
- ◆性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり



使用禁止

改造はしないこと。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

コントローラの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、USBメモリ・タッチパネルを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- ◆薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

コントローラのカバーを取り付けること。

- ♦ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

注意

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

- ♦ ガラス損傷によるけがのおそれあり。



禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ♦ 感電・故障のおそれあり。



使用禁止

部品端面に触れないこと。

- ♦ けが・感電・故障のおそれあり。



接触禁止

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- ♦ 環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

移設・修理をするときに

警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ♦ けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

1. 使用部品

1-1. 必要部品

本機能をご使用の前に、以下の部品を入手してください。

No.	品名	入手方法		備考
		WIN ² K※1	販売店※2	
1	取扱説明書 (PDF)	○		本書
2	AE-200J/AE-50J/ EW-50J用 電力按分課金支援 ライセンス		○	AE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに、電力按分課金支援ライセンスが必要です。
3	料金計算ツール		○	電力按分課金支援機能を使用する場合、料金計算ツール、および、本機能の設定に対応した初期設定ツールが必要です。
4	初期設定ツール※3 (電力按分課金支援 設定対応)		○	
5	ソフトウェアアップデート用 ファイル		○	AE-200J/AE-50J/EW-50Jのソフトウェアをアップデートする際に利用します。 AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンは統一してください。

※1 三菱電機 WIN²K サイトから、説明書をダウンロードして、参照してください。

三菱電機 WIN²K サイト URL

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/top.do>

※2 お買い上げの販売店にご依頼ください。

※3 AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンと使用可能な初期設定ツールのバージョンは「1-5. バージョン制約」を参照ください。

1-2. 別売部品

以下の部品は三菱電機指定の純正品をお使いください。

品名	型式	個数
計量用計測コントローラ	PAC-YG60MC (1)	必要数
USB ドア付カバー	PAC-YE72CWL	AE-200J 1台ごとに1個

1-3. 一般市販部品

必要に応じて以下の一般市販部品をご準備ください。

品名		個数	備考
電力量計		必要数	
パルス検出器		必要数	パルス幅：100～300ms パルス単位：0.1kWh/pulse、 1.0kWh/pulse を推奨 電力量計にパルス発信器が搭載されている場合は、半導体リレー出力で、上記のパルス幅とパルス単位に準拠していれば、パルス検出器は不要になります。
計 量 用 計 測 コントローラ 用	直流電源装置 ※1	必要数	DC24V ± 10% 5W リップルノイズ：200mVp-p 以下
	AC電源線	適量	直流電源装置用
	M-NET 伝送線	適量	
	DC電源線	適量	
	信号線	適量	
	スリーブ付き丸端子	必要数	
通信関連	パソコン	1	料金計算ツールおよび初期設定ツール用
	プリンタ	1	料金計算結果印刷用
	USB メモリ	1	CSV データ (按分結果) 取り出し用
	LAN ケーブル	適量	
	スイッチングHUB	必要数	

※1 外部DC24V 電源については、電気用品安全法準拠品を指定し、使用してください。(一次/二次間の耐圧が強化絶縁仕様 (3kV、1 分) のもの)

1-4. パソコン環境

料金計算ツール・初期設定ツール (2022年2月時点)

項目	要件
CPU	1GHz 以上 (推奨 2GHz 以上)
メモリ	2GB 以上
画面解像度	1024 × 768 以上
OS	Microsoft® Windows® 11 (64bit) ※1 Microsoft® Windows® 10 (64bit) ※1 Microsoft® Windows® 8.1 (64bit) ※1
動作環境	Windows8.1、Windows10、Windows11 の最低動作環境を満たしていること ・ .NET Framework 4.8 以降 ※2 Microsoft® Excel 2013(32bit)/2016(32bit)/2019 (32bit) (初期設定ツールの試運転チェックシートや照合機能を利用する場合)
内蔵 LAN ポートまたは LAN カード	100BASE-TX 以上
ポインティングデバイス	マウスなど
USB	1 ポート 以上

※1 Pro で動作確認しています。

OS、ブラウザは最新バージョンをご利用されることを推奨します。

※2 .NET Framework 4.8 以上がインストールされていない場合、料金計算ツールインストール時にダウンロードサイトへ誘導されます。

1-5. バージョン制約

AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンにより、使用可能なツールのバージョンが異なります。

AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョン	初期設定ツールのバージョン	.NET Framework のバージョン
Ver.7.2*	Ver.1.00以降	Ver.4.8以降
Ver.7.3*	Ver.1.10以降	Ver.4.8以降
Ver.7.4*	Ver.1.20以降	Ver.4.8以降
Ver.7.5*	Ver.1.30以降	Ver.4.8以降
Ver.7.60～7.64	Ver.1.40以降	Ver.4.8以降
Ver.7.68～7.69	Ver.1.50以降	Ver.4.8以降
Ver.7.70	Ver.1.60以降	Ver.4.8以降
Ver.7.80	Ver.1.70以降	Ver.4.8以降
Ver.7.85	Ver.1.80以降	Ver.4.8以降
Ver.7.90～7.98	Ver.1.90以降	Ver.4.8以降

AE-200Jのバージョン	料金計算ツールのバージョン	.NET Framework のバージョン
Ver.7.2*～	Ver.1.00	Ver.4.8以降

お知らせ

- AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョンは統一してください。不統一の場合は「7905」異常を検知し、運用ができません。
- AE-200J/AE-50J/EW-50Jのバージョン確認方法、ソフトウェアのアップデート方法は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの据付工事説明書を参照してください。

2. ご使用の前に

電力按分課金支援機能を使用する際には、現地調整業者などによる事前の初期設定と試運転が必要となります。また、運用に際しては、工事店・販売店から説明を受けてからのご使用をお願いします。

本書では、空冷ヒートポンプチャラ-DT-RをDT-Rと表記します。

※ 工事店・販売店の方へ

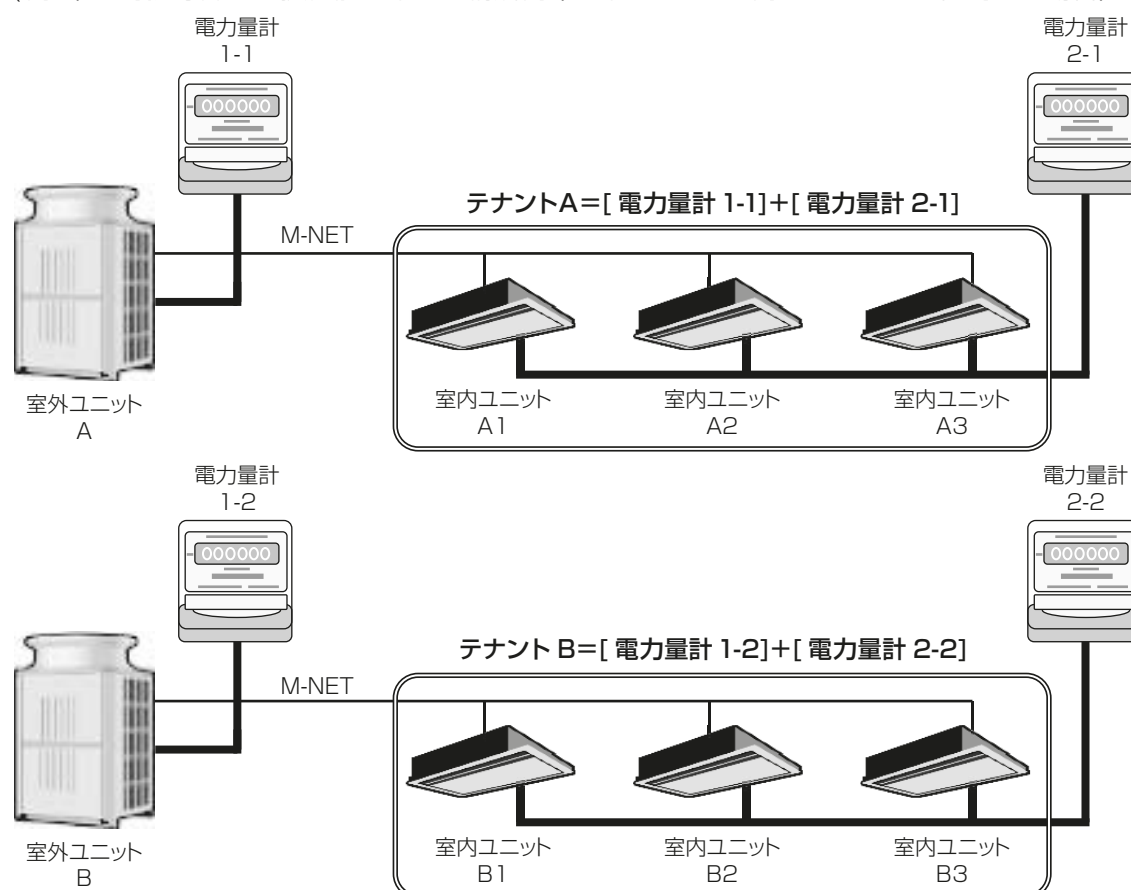
本書の5章⇒6章⇒7章の順番で、ソフトウェア(ツール)のインストール、初期設定および試運転を実施のうえ、運用にあたっては、2章(2-7)についてお客様にご説明をお願いします。

2-1. 電力按分課金支援機能とは

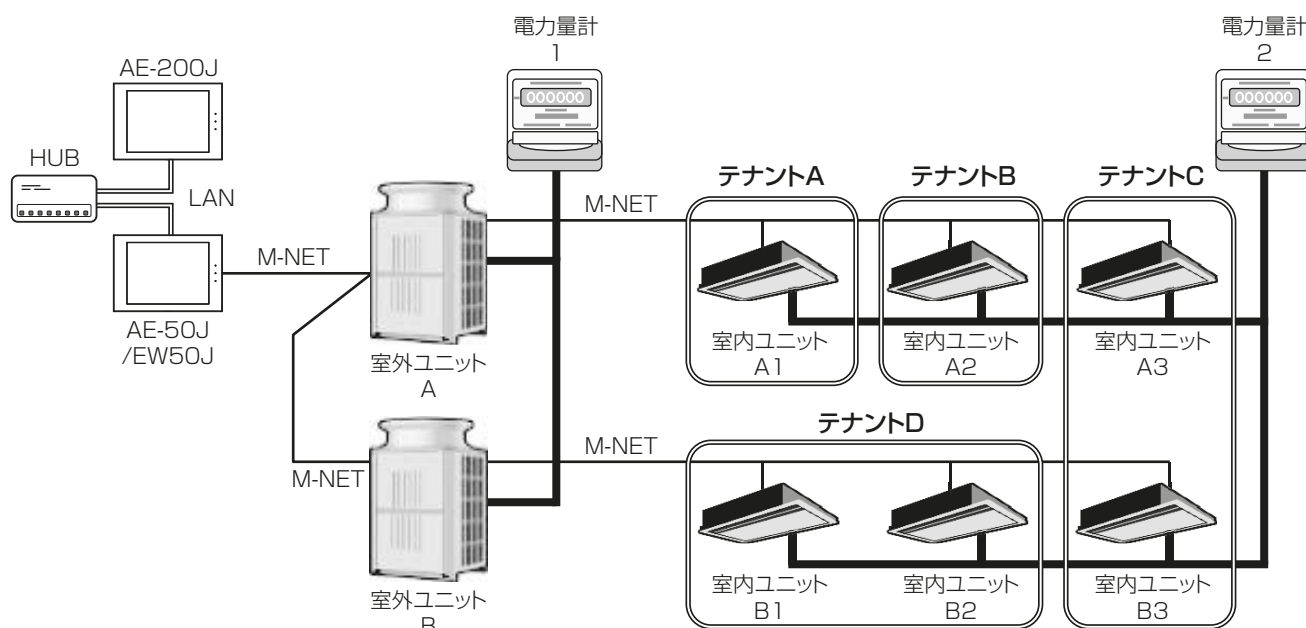
室外ユニットを1つのテナントで使用する場合は、各冷媒系統単位の室外ユニット・室内ユニットに電力量計を取付けることにより、テナントごとに消費電力量を把握することができますが、同一冷媒系統内の室内ユニットが複数のテナントにまたがって設置されている場合は、電力量計の値ではテナントごとの消費電力量を把握することができないため、電力按分課金支援機能が必要となります。

電力按分課金支援機能とは、各空調機が使用した電力量を直接計測するものではなく、空調機の運転状況を室内ユニット・室外ユニットの通信内容から判断し、その使用状況に応じて、パルス発信機能付電力量計により入力した電力量を按分する当社独自の電力按分方法です。

(例1) 電力按分課金支援機能が不要な構成例(室外ユニットを同一テナントで使用する場合)



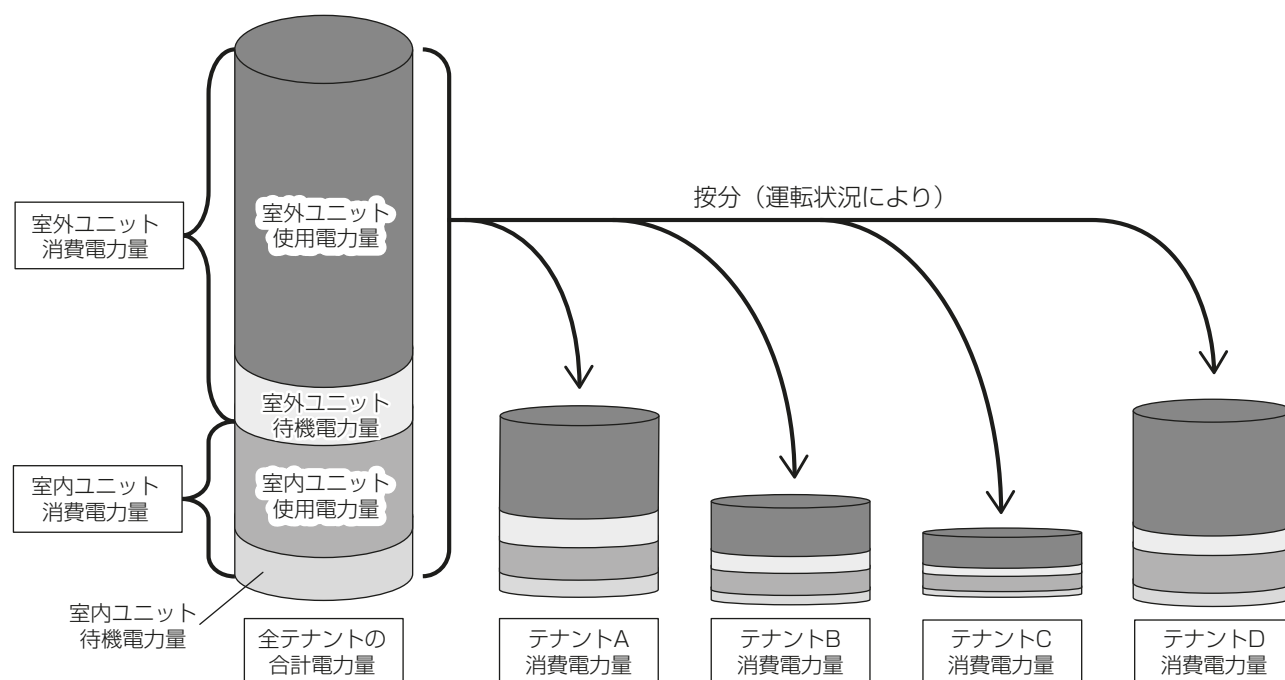
(例2) 電力按分課金支援機能が必要な構成例 (同一冷媒系統内の室外ユニットが複数のテナントに設置される場合)



空調機の電力量には、室外ユニットが消費する室外ユニット消費電力量と、室内ユニットが消費する室内ユニット消費電力量があります。また、室外ユニット消費電力量には室外ユニットの使用電力量と室外ユニットの待機電力量、室内ユニット消費電力量には、室内ユニットの使用電力量と室内ユニットの待機電力量があります。

電力按分課金支援機能では、それぞれ使用した電力量をテナントごとの運転状況と能力に応じて按分することができます。

電力量計量 (計量計あり) 方式の場合を例に説明します。(電力量手入力 (計量計なし) 方式の場合は、待機電力量は按分しません。)



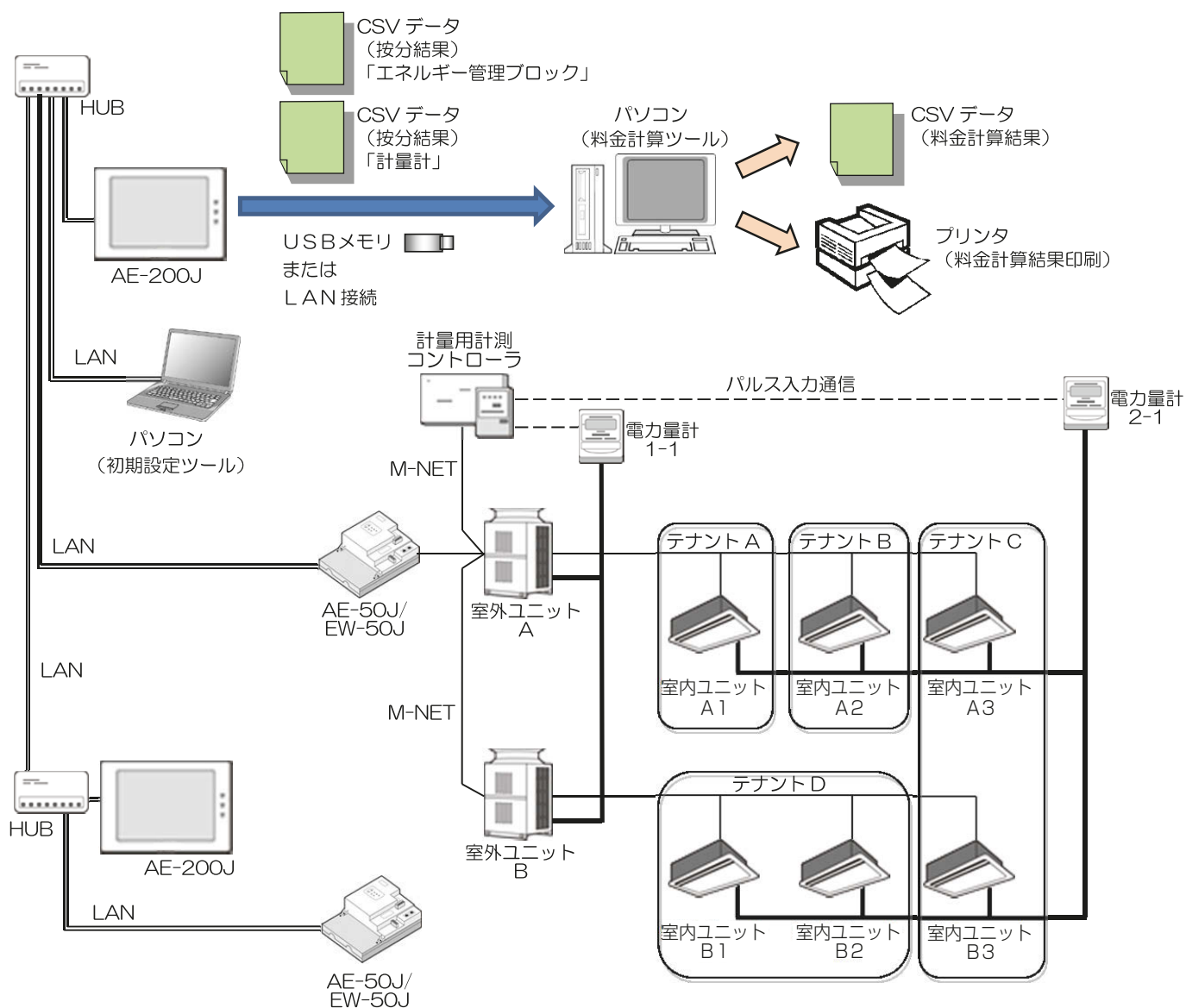
電力按分課金支援機能を行うにはAE-200Jにて按分する方法と統合ソフトTG-2000を使用する2通りの方法があります。本書ではAE-200Jで按分する方法について説明します。

統合ソフトTG-2000を使用する場合は、TG-2000の取扱説明書を参照してください。

2-2. システム概要

AE-200J/AE-50J/EW-50Jは、電力按分課金支援機能を使用することで、空調機ごとの使用電力量を算出することができます。

電力量計量（計量計あり）方式のシステム構成イメージは以下のとおりです。



電力按分課金支援機能を使用する場合、下記のツールが必要です。

- **料金計算ツール**

AE-200JのCSVデータ（按分結果）を使用して、テナントごとの電気料金をCSVファイル出力または印刷を行うために必要なツールです。

- **初期設定ツール**

電力按分課金支援機能の設定時に必要なツールです。

お知らせ

- 料金計算ツールは、AE-50J/EW-50Jを最大40台まとめて料金計算が可能です。
料金計算ツールの接続先はAE-200Jとなりますが、**[AE-200(課金)]**、**[AE-200(M-NETなし)]**に設定されたAE-200Jは40台に含まれません。
- 1台の集中コントローラに計量用計測コントローラ(PAC-YG60MC(1))は15台まで登録できます。
AE-200Jシステム 1系統には最大で20台まで接続できます。
- パソコン動作環境については「1-4. パソコン環境」を参照してください。
- インストールについては「5. ソフトウェアの準備(インストール)」を参照してください。
- AE-200J本体の設定については、「6-2-2. AE-200J本体設定」を参照してください。

2-3. 運用方法選択

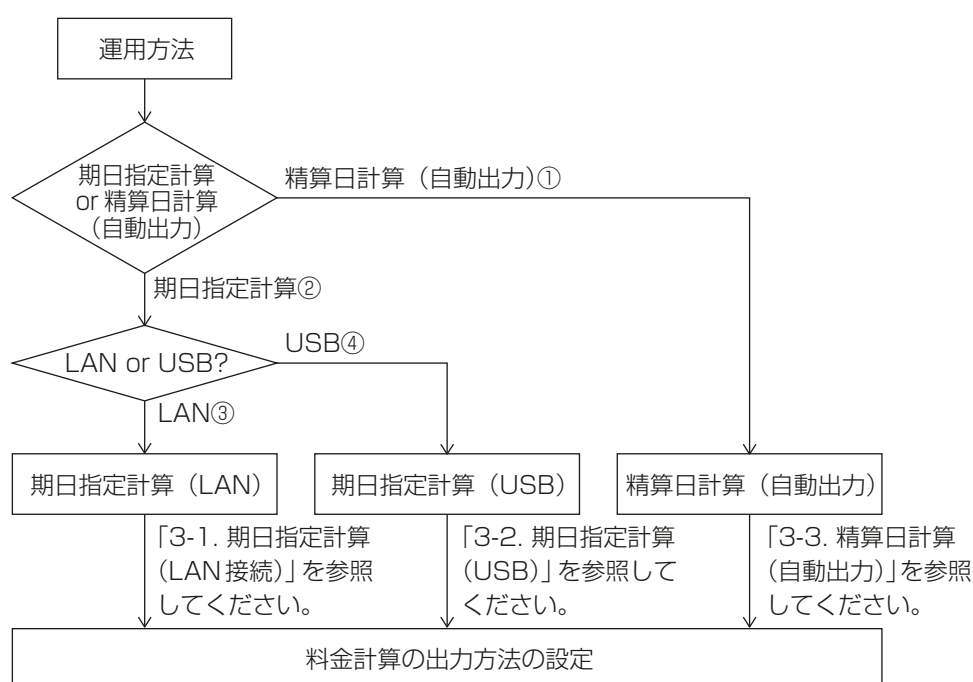
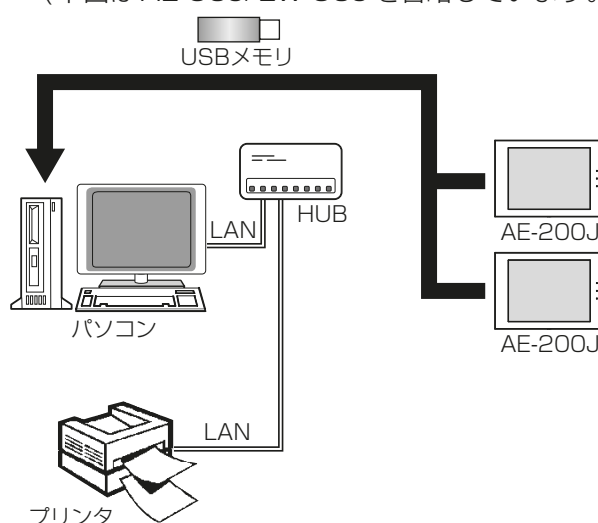
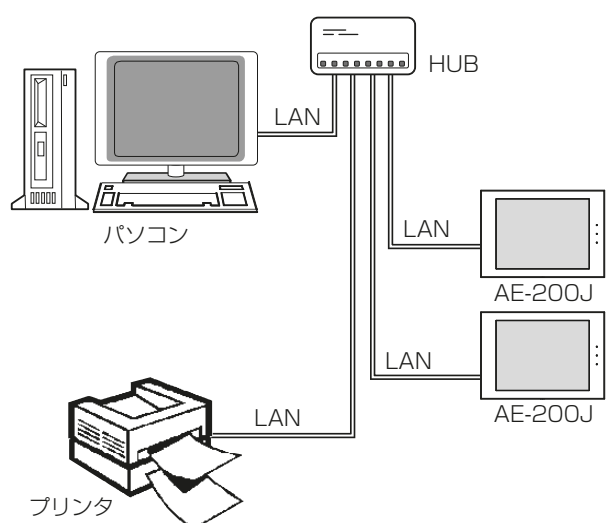
下記の図のとおり、課金按分データの収集方法と料金算出方法によって設定方法や出力方法が異なりますので確認してください。

料金計算方法

- ① 精算日計算 (自動出力) 毎月の精算日に、パソコンより自動で料金計算結果を出力する方法です。
※出力する時間帯にパソコンが起動している必要があります。
※1日1回自動で出力することもできます。
- ② 期日指定計算 料金計算出力したい期間を指定して出力する方法です。
※出力したいときにパソコンを立ち上げて出力することができます。

課金按分データの収集方法

- ③ AE-200JとパソコンをLAN接続する場合
(下図はAE-50J/EW-50Jを省略しています。)
- ④ AE-200JからUSBメモリでCSVデータ(按分結果)を取り出す場合
(下図はAE-50J/EW-50Jを省略しています。)



2-4. 機能一覧

電力量計計測方式※1 ※2	電力量計量(計量計あり)方式： 計量用計測コントローラを接続して電力量パルスを取り込み、電力量と料金を算出する方式※5	
	電力量手入力(計量計なし)方式：電力量計と接続せずに料金比率を算出する方式	
按分方式	室外ユニットの電力量按分 使用電力量(能力セーブ量/サーモON時間/FAN運転時間)、 待機電力量(按分する/按分しない)	
	室内ユニットの電力量按分 使用電力量(按分する/按分しない)、待機電力量(按分する/按分しない)	
料金算出方式※3 ※4	期日指定計算 期日を指定した料金計算結果をCSV出力または印刷することができます。 AE-200Jから電力量データを取得する方法は、LAN接続とUSBメモリによる方法があります。	
	精算日(自動出力)計算 月ごとまたは日ごとの料金計算結果を自動でCSV出力または印刷することができます。 AE-200Jから電力量データを取得する方法は、LAN接続による方法のみとなります。 月ごとに料金計算結果を出力する場合は精算日を1日～28日または月末から選択できます。※6 精算日計算を使用する場合は月ごとであれば精算日の翌日、日ごとであれば毎日のAM5:00に料金計算ツールのインストールされたパソコンが起動している必要があります。	
	待機電力量の請求方式※2	待機電力量を請求する(テナントへ請求)/請求しない(ビルオーナー様負担)が選択できます。 →詳細は「6-7-1. 課金設定」を参照してください。
印刷およびCSV出力方式※7	電力量計量(計量計あり)方式	
	エネルギー管理ブロック(テナント)ごとの印刷およびCSV出力ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 按分電力量(合計) ・ 料金単価別(1～5)それぞれの按分電力量および電力料金 ・ 空調料金 	
	計量計ごとの印刷およびCSV出力ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 計量値(合計) ・ 単位(kWh、m³、MJ、(空白)) ・ 料金単価別(1～5)それぞれの計量値 ・ 料金 	
	電力量手入力(計量計なし)方式	
	エネルギー管理ブロック(テナント)ごとの印刷およびCSV出力ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内ユニット料金比率 ・ 室外ユニット料金比率 	

※1 AE-200Jの電力按分課金支援機能は、PLC(電力量カウントソフト)方式を使用できません。

※2 電力量手入力(計量計なし)方式の場合は、料金比率のみ算出し、電力量料金計算はできません。

算出した料金比率をもとに、簡易的に空調料金の計算を支援する「AE-200 料金比率支援ツール」が「料金計算ツール」と一緒にインストールされています。本ツールをご使用の場合は、「添付1 AE-200 料金比率支援ツールの使用方法」を参照してください。

-
- ※3 過去最大 62 日までの料金計算による表示・印刷が可能です。
 - ※4 過去の 62 日より前の料金再計算は、USB メモリで定期的に CSV データを保存することにより可能です。
 - ※5 電力量計は、AE-200J システム (AE-200J と AE-50J/EW-50J の組み合わせ) ごとに必要です。
(AE-200J システムごとに電力按分します。)
 - ※6 29 日、30 日、31 日は設定できません。
 - ※7 印刷と CSV 出力では表示内容が異なります。詳細は、「3-5. 料金計算結果の印刷」、「3-6. 料金計算結果の CSV 出力例」を参照してください。

2-5. 電力按分課金支援機能対応機種

AE-200J 本体の電力按分課金支援機能に適合する機種を以下に示します。

接続可否 ◎：接続可 ×：接続不可

按分課金 ◇：制約事項あり ○：按分可能 ×：対応不可

		機能		
		接続可否	按分課金	備考
機種	グランマルチ※1※2	◎	○	
	シティマルチY※1※2	◎	○	
	シティマルチR2※1※2	◎	○	
	シティマルチWR2※1※2	◎	○	
	シティマルチWY※1※2	◎	○	
	シティマルチS※1	◎	○	
	シティマルチICEY 氷蓄熱機種	◇	×	
	設備用パッケージエアコン インバーター※2	◎	◇	電力量計は設備用パッケージエアコン用として、分けて設置してください。
	電算室用パッケージエアコン	◎	◇	電力量計は電算室用パッケージエアコン用として、分けて設置してください。
	フリープラン室内ユニット	◎	○	
	フリープランロスナイ	◎	○	
	フリープランアダプタ付 換気関連機器	◎	○	
	フリープランアダプタ付 エアー搬送ファン	◎	×	
	加熱加湿付ロスナイ (外気処理ユニット)	◎	○	加湿分は考慮されません。
	単独加湿ユニット	◎	×	
	A制御スリム機種 (同時タイプ)※3※4	◎	◇	電力量計はA制御スリム機種用として、分けて設置してください。
	スリム機種Kシリーズ (個別タイプ)	◎	○	シティマルチと同じ按分となりますので、初期設定ツールで冷媒系設定が必要になります。
	A制御スリム機種 (エコ・アイスmini)	◎	×	
	ルームエアコン(RAC)	◎	◇	電力量計はルームエアコン(RAC)用として、分けて設置してください。
	ハウジングエアコン(HAC)	◎	◇	電力量計はハウジングエアコン(HAC)用として、分けて設置してください。
	汎用DC経由汎用機器	◎	×	
	室内ユニット フリー接点経由 汎用機器	◎	×	
	業務用ヒートポンプ給湯機※5	×	×	電力按分課金支援システム構成で接続できません。
	低温機器 コンデンシングユニット	×	×	電力按分課金支援システム構成で接続できません。
	低温機器クールマルチ	×	×	電力按分課金支援システム構成で接続できません。
	DT-R	◎	×	
	ブラインクーラ※6	◎	×	
	ファンコイルユニット	◎	×	
	水冷式パッケージエアコン	◎	×	

課金按分できない機種は電力量計を分けて設置し、電力量を直読みしてください。

※1 リプレースマルチを含みます。フリープラン(1997年以降発売のビル用マルチエアコン)以前の機種は除きます。

※2 大型室内ユニット(複数台の室内ユニット換算に該当する)は、個別に室内ユニットの電力量計を設置してください。

※3 M-NET 接続アダプタが下記形名の場合のみ、室外ユニット使用電力量按分モード「能力セーブ量」での按分が可能です。

PAC-SJ10MA、PAC-SJ18MA、PAC-SJ31MA、PAC-SJ68MA、PAC-SJ69MA、PAC-SG98MA、
PAC-SJ98MA、PAC-SJ99MA、PAC-SK15MA、PAC-SK16MF

他の形名のM-NET 接続アダプタがシステム構成に含まれている場合は、「サーモON時間」または「FAN運転時間」で按分の設定を行ってください。

-
- ※4 室外ユニットー室内ユニット同一電源、室外ユニットー室内ユニット別電源の2つの構成のうち、1つの構成を選択します。
 - ※5 業務用ヒートポンプ給湯機は、業務用エコキュートとホットウォーターヒートポンプを指します。
 - ※6 プラインクーラはBALV-EN40,50,60AとBAOV-EN40,50,60ASを指します。
-

2-6. システム制約

- AE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに、電力按分課金支援ライセンスが必要です。
- AE-200JとAE-50J/EW-50Jの組合せが必要です。
- 対応機種については、「2-5. 電力按分課金支援機能対応機種」を参照してください。
- AE-200JのM-NETは使用できません。
- AE-200J内蔵の計量用パルス入力を使用できません。
- 計量用計測コントローラによる電力量計測を推奨します。
(AE-50J/EW-50J内蔵の計量用パルス入力を使用した場合、AE-50J/EW-50Jの停電中、電源遮断中、ソフトウェアアップデート中はパルス入力取得できず、実際の電力量との差異が発生する可能性があります。)
- AE-200J/AE-50J/EW-50Jのソフトウェアバージョンを同一にしてください。
- 電力按分課金支援 (AE-200J 按分) 機能と電力按分課金支援 (TG-2000 按分) 機能の併用はできません。
- 電力按分課金支援 (AE-200J 按分) 機能を使用している場合に、統合ソフトTG-2000を使用する場合は、TG-2000のバージョンが6.61以降であることを確認してください。
- 電力量パルス入力は、AE-200Jシステムごとに必要です。別のAE-200Jシステムに接続されている電力量計を用いた設定 (按分) はできません。

2-7. 電力按分課金支援機能をご使用時の確認事項

- ・ 本機能は、各空調機が使用した電力量を直接計測するものではなく、空調機の運転状況を室内ユニット・室外ユニットの通信内容から判断し、その使用状況に応じて、パルス発信機能付電力量計により入力した電力量を按分する当社独自の電力按分方法です。

ユーザーの皆様へ（使用許諾契約）

本記載内容はお客様と三菱電機との間の契約書です。

この「空調冷熱総合管理システム AE-200J の電力按分課金支援機能」を使用した場合、下記の内容に同意し、使用しているものとみなさせていただきます。

- ・ 三菱電機または、その販売会社はいかなる場合にもお客様に、付随的、派生的または特別の損害に対する責任を、たとえ販売者がその種の損害が発生する可能性について通知を受けていたとしても負いません。第三者からのいかなる権利の主張に対する責任も負いません。

お願い

- ・ ご採用に当たってはビルオーナー様とテナントの個別契約で「空調料金は空調機の運転状況を勘案した按分計算による使用料を徴収する（故障時の臨時対応も含む）」の内容を、合意、または協定いただき、契約に盛り込んでください。
- ・ 空調使用電力量を推測するシステムです。したがって取引証明用として使用できません。
また、電力量計に関してもパルス変換によりカウントしており、取引証明用には使用できません。
- ・ 各空調機の使用電力量を電力供給箇所で直接計測する（または、相当する）システムではありません。
- ・ 空調機室内ユニットの運転状態による按分方式のため、室外ユニットの機種構成および運転状態により、室内ユニットの使用時間が同一でも使用電力量が異なる場合があります。
（空調機 1 台ごとに電力量計を設置した場合と比較し、按分電力量は異なる場合があります。）
- ・ 空調機は停止中でも通電しており、空調機を使用しなくても待機電力として按分されます。
- ・ 電力量や水道量、ガス量などはパルス変換により取り込んでおり、性能や精度などは計量計に依存しますので、いかなる責任も負いません。
- ・ 停電などにより、空調機は稼動しているが、AE-200J/AE-50J/EW-50J および計量用計測コントローラの電源が遮断された場合、正常に電力按分できません。
- ・ 料金算出はテナント（エネルギー管理ブロック）ごとに単価別に表示桁で切り捨て処理となるため、総電力量の料金と異なる場合があります。
- ・ 時刻にずれが発生すると按分処理の結果に差異が発生するため、AE-200J 本体画面で定期的な時刻合わせを実施してください。（AE-50J/EW-50J で時刻合わせをしても、AE-200J の時刻で上書きされます。）
- ・ 停電や機器の故障などにより、正常に電力按分が行われなくても、いかなる責任は負いません。

3. 使用方法 (基本)

3-1. 期日指定計算 (LAN 接続)



パソコンとAE-200JをLAN接続した場合の期日指定計算について説明します。
AE-200Jとパソコン、プリンタ (印刷をする場合) をLANで接続する必要があります。

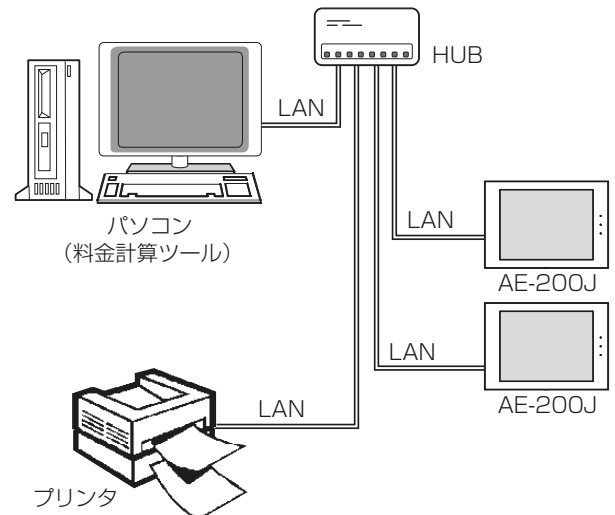
3-1-1. パソコンの準備

パソコン (料金計算ツール) とAE-200JをLAN接続することにより、料金計算結果を「印刷」と「CSV出力」ができます。

- 出力方法を「印刷」にしている場合はプリンタの設定が必要です。

手順

- スタートメニューの[デバイスとプリンター]をクリックする。
- 印刷に使用するプリンターに[]が入っていることを確認する。
別のプリンターに[]が入っている場合は、印刷に使用するプリンターを右クリックし、[通常使うプリンターに設定]をクリックする。



※ 上図はAE-50J/EW-50Jを省略しています。

3-1-2. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールのインストールに関しては、「5-1. 料金計算ツールのインストール手順」を参照してください。

手順

- 料金計算ツールを起動する。
- [料金計算]を選択する。

No.	AE-200アドレス	ID	パスワード
1	192.168.1.1	1234567	●●●●●●●●
2	192.168.1.2	abcdefg	●●●●●●●●
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

3. 「計算期間設定」で、料金計算する期間を「開始年月日入力」欄と「終了年月日入力」欄に入力する。

計算期間設定 2015 / 3 / 21 - 2015 / 4 / 20 (YYYY/MM/DD 形式で入力)

お知らせ

- ・ 料金計算ツールでの算出は、AE-200J本体が保持しているデータ（過去最大62日）より短い期間での出力となります。

4. 基本設定画面の按分データ入力方法で [AE-200からLANで取得] を選択する。

按分データ入力方法 ☐ CSVファイル ☒ AE-200からLANで取得

No.	AE-200アドレス	ID	パスワード
1	192.168.1.1	abcdefg	●●●●
2	192.168.1.2	1234567	●●●●
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

料金計算開始

5. 「AE-200アドレス」入力欄にAE-200JのIPアドレスを入力する。
AE-200Jを複数台利用している場合は、全てのAE-200JのIPアドレスを入力する。
6. 「ID」、「パスワード」入力欄に料金計算するAE-200Jで設定したIDとパスワードを入力する。
7. [料金計算開始]をクリックする。
料金計算結果が表示します。（「3-4. 料金計算結果の表示」を参照してください。）

お知らせ

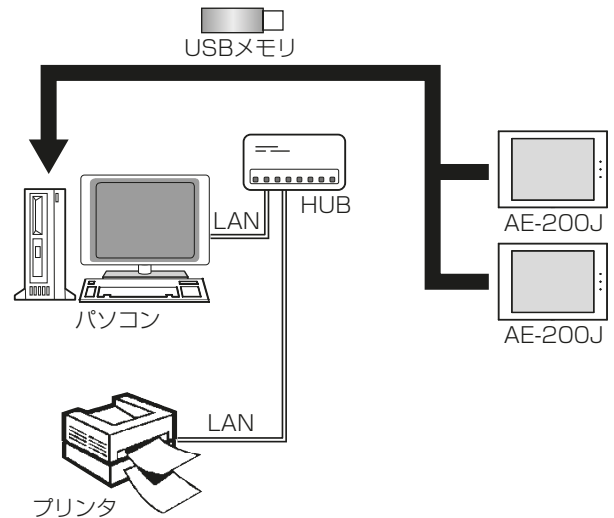
- ・ 手順4～6は変更がなければ、設定が残っているので2回目以降は設定する必要はありません。
- ・ IDとパスワードはAE-200J本体の管理者ユーザーのIDとパスワードを入力してください。
- ・ AE-200Jシステム内のAE-50J/EW-50Jは登録不要です。
- ・ 運転を開始してから日替り後、按分データが取得可能となります。

3-2. 期日指定計算 (USB)

AE-200JからCSVデータ (按分結果) をUSBメモリにて取り出した場合の期日指定計算について説明します。

3-2-1. パソコンの準備

CSVデータ (按分結果) をAE-200JよりUSBメモリにて取り出し、パソコン (料金計算ツール) で計算し、料金計算結果を「印刷」と「CSV出力」ができます。



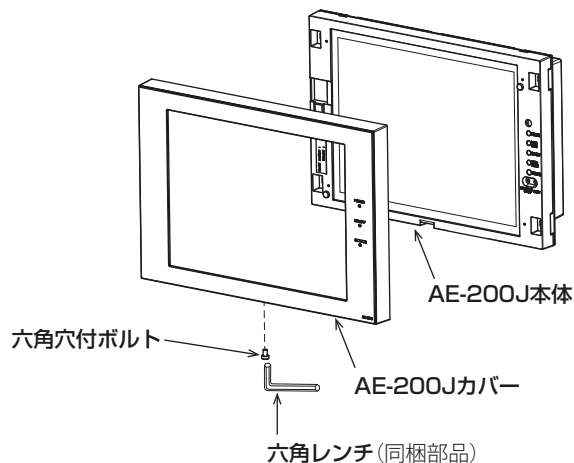
3-2-2. USBメモリによる取得

[1] 電力量計量 (計量計あり) 方式 CSVデータ (按分結果)

料金計算には「エネルギー管理ブロック」データと「計量計」データが必要です。これらのデータをAE-200JからUSBメモリに出力する方法を説明します。

手順

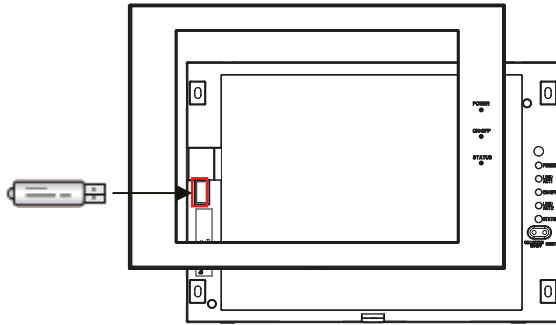
1. 六角レンチを使用して、本体下面にある六角穴付きボルトを外し、カバーを外す。



お知らせ

- ・ 別売品のUSBドア付カバー (PAC-YE72CWL) をご使用の場合は、AE-200Jカバーを外す必要がありません。USBポートカバーを開けてください。

2. USB メモリを接続する。



3. AE-200J本体液晶画面で、[エネルギー管理] – [エネルギー管理表] をタッチする。



4. [CSV出力] をタッチする。

CSV出力画面が表示したら、①～③の操作を行う。

①出力対象

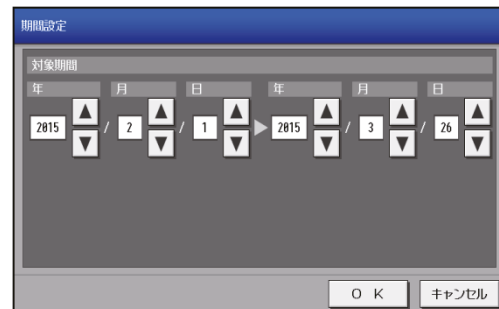
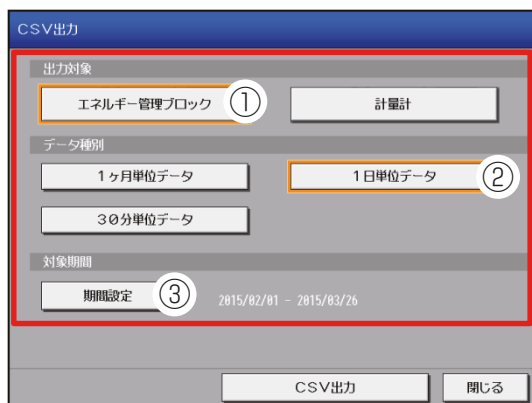
- ・ [エネルギー管理ブロック] を選択する。

②データ種別

- ・ [1日単位データ] を選択する。

③対象期間

- ・ [期間設定] をタッチし、過去62日分の期間を選択する。



5. [CSV出力] をタッチする。

データのコピーが完了すると、「データのコピーが完了しました」が表示します。

6. [OK] をタッチする。

「CSV出力画面」に戻ります。

7. 手順4の①出力対象 [エネルギー管理ブロック] を [計量計] に変更し [CSV出力] をタッチする。

8. [閉じる] をタッチする。

お知らせ

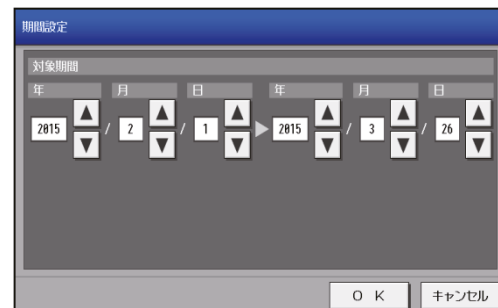
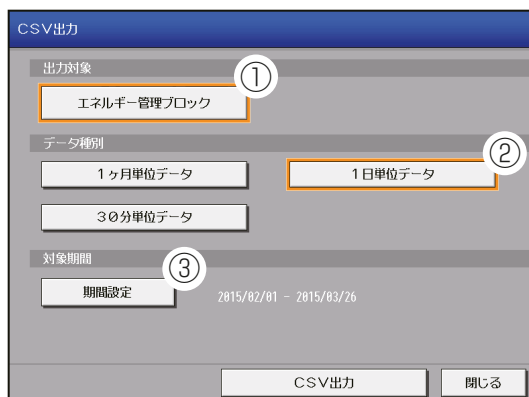
- ・料金計算を実施する場合は、[1 日単位データ]を選択してください。
([1 ヶ月単位データ][30分単位データ]は選択しないでください)
- ・AE-200J 本体には、過去 62 日分の 1 日単位データを保持しています。AM0:30 に前日分のデータを作成します。
- ・料金計算ツールでは、AE-200J 本体から出力した CSV データ (按分結果) の期間内で計算できます。
例えば、本体画面で 2015 年 04 月 01 日～04 月 30 日の CSV データ (按分結果) を取得した場合は、料金計算ツールでは、2015 年 03 月 20 日～04 月 19 日などの CSV データの期間外の計算はできません。
よって、CSV データ (按分結果) の出力は最大期間 (過去 62 日分) の指定をおすすめします。
- ・62 日 (2 ヶ月) より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

[2] 電力量手入力 (計量計なし) 方式

電力量計が接続されていない場合でも、「エネルギー管理ブロック」データを用いることで、料金比率を算出することができます。

手順

1. ～3. 「[1] 電力量計量 (計量計あり) 方式 CSV データ (按分結果)」を参照して、同じ手順を行う。
4. [CSV 出力] をタッチする。
CSV 出力画面が表示したら、①～③の操作を行う。
 - ①出力対象
 - ・[エネルギー管理ブロック] を選択する。
 - ②データ種別
 - ・[1 日単位データ] を選択する。
 - ③対象期間
 - ・[期間設定] をタッチし、過去 62 日分の期間を選択する。



5. [CSV 出力] をタッチする。

お知らせ

- ・料金計算を実施する場合は、[1 日単位データ]を選択してください。
([1 ヶ月単位データ][30分単位データ]は選択しないでください。)
 - ・AE-200J 本体には、過去 62 日分の 1 日単位データを保持しています。AM0:30 に前日分のデータを作成します。
 - ・料金計算ツールでは、AE-200J 本体から出力した CSV データ (按分結果) の期間内で計算できます。
例えば、本体画面で 2015 年 04 月 01 日～04 月 30 日の CSV データ (按分結果) を取得した場合は、料金計算ツールでは、2015 年 03 月 20 日～04 月 19 日などの CSV データの期間外の計算はできません。
よって、CSV データ (按分結果) の出力は最大期間 (過去 62 日分) の指定をおすすめします。
 - ・62 日 (2 ヶ月) より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2 ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。
6. [閉じる] をタッチする。

3-2-3. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールのインストールに関しては、「5-1. 料金計算ツールのインストール手順」を参照してください。

[1] 電力量計量（計量計あり）方式

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. [料金計算] を選択する。



計量計接続「あり」の場合に表示します。
(計量計接続の設定については、「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照)

3. 「計算期間設定」で、料金計算する期間を「開始年月日入力」欄と「終了年月日入力」欄に入力する。

計算期間設定 2015 / 03 / 21 - 2015 / 04 / 20 (YYYY/MM/DD 形式で入力)

お知らせ

- 料金計算ツールでは、AE-200J本体から出力したCSVデータ（按分結果）の期間内で計算できます。
例えば、本体画面で2015年04月01日～04月30日のCSVデータ（按分結果）を取得した場合は、料金計算ツールでは、2015年03月20日～04月19日などのCSVデータの期間外の計算はできません。
よって、CSVデータ（按分結果）の出力は最大期間（過去62日分）の指定をおすすめします。
- 62日（2ヶ月）より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

4. 料金計算画面の、按分データ入力方法で [CSV ファイル] を選択する。

按分データ入力方法 ☒ CSVファイル ☐ AE-200JからLANで取得

5. CSV ファイル（空調機データ）の [参照] をクリックする。
6. AE-200J本体から取得したCSVデータ（按分結果）の「エネルギー管理ブロック」のデータファイルを選択して [開く] をクリックする。

- CSVデータ（按分結果）のファイル名は以下のとおりです。

■エネルギー管理ブロック

- 1日単位データ："App"_IC_D_[開始の年]-[開始の月]-[開始の日]_[終了の年]-[終了の月]-[終了の日].csv

■計量計

- 1日単位データ："App"_MC_D_[開始の年]-[開始の月]-[開始の日]_[終了の年]-[終了の月]-[終了の日].csv

例：2015年03月01日から2015年04月30日までの対象期間で、1日単位データの場合

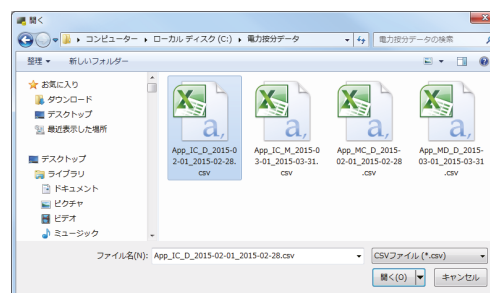
エネルギー管理ブロックデータ：App_IC_D_2015-03-01_2015-04-30.csv

計量計データ：App_MC_D_2015-03-01_2015-04-30.csv


お知らせ

- ファイル名のICはエネルギー管理ブロック、MCは計量用計測コントローラ、Dは1日単位データを示します。

No.	CSVファイル (空調機データ コード80)	CSVファイル (計量計データ コード41)
1	CW電力検分データ-94App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv	CW電力検分データ-94App_MC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv
2	CW電力検分データ-94App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv	CW電力検分データ-94App_MC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		



CSV ファイル (空調機データ) の選択例
(USB 出力 CSV ファイル
[App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv])

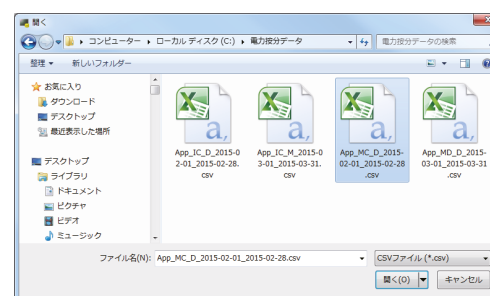
- CSVデータ (按分結果) は、USBメモリのルートフォルダに¥(AE-200の製造番号)
¥"ApportionData"¥のフォルダを作成し、このフォルダ内にCSVファイルを保存しますので、パソコンにバックアップとして保存してください。
製造番号は本体液晶画面右上の  をタッチしたときのログイン画面の左下に表示します。

- CSVファイル (計量計データ) の **[参照]** をクリックする。
- AE-200J 本体から取得した CSVデータ (按分結果) の「計量計」のデータファイルを選択して **[開く]** をクリックする。

お知らせ

- USBメモリの保存先とファイル名については、手順6 **お知らせ** を参照してください。

No.	CSVファイル (空調機データ コード80)	CSVファイル (計量計データ コード41)
1	CW電力検分データ-94App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv	CW電力検分データ-94App_MC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv
2	CW電力検分データ-94App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv	CW電力検分データ-94App_MC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		



CSV ファイル (計量計データ) の選択例
(USB 出力 CSV ファイル
[App_MC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv])

- AE-200J 1台ごとに「エネルギー管理ブロック (テナント)」データと「計量計」データの各1ファイルを登録してください。
- 各No.には同一のAE-200Jから出力した「エネルギー管理ブロック (テナント)」データと「計量計」データを登録してください。
- AE-200Jが2台の場合は、各2ファイルを出力順に登録します。
- 同じAE-200Jから出力されたCSVファイルを複数個登録しないでください。複数登録した場合は、料金が高く算出されることがあります。
- AE-200Jが複数ある場合は、登録No.順に料金出力されます。

- [料金計算開始]** をクリックする。

料金計算結果が表示します。(「3-4. 料金計算結果の表示」を参照してください。)

[2] 電力量手入力(計量計なし)方式

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. [料金計算] を選択する。



3. [計算期間設定] で、料金計算する期間を「開始年月日入力」欄と「終了年月日入力」欄に入力する。

計算期間設定 2015 / 03 / 21 - 2015 / 04 / 20 (YYYY/MM/DD 形式で入力)

お知らせ

- 料金計算ツールでは、AE-200J本体から出力したCSVデータ(按分結果)の期間内で計算できます。例えば、本体画面で2015年04月01日～04月30日のCSVデータ(按分結果)を取得した場合は、料金計算ツールでは、2015年03月20日～04月19日などのCSVデータの期間外の計算はできません。よって、CSVデータ(按分結果)の出力は最大期間(過去62日分)の指定をおすすめします。
- 62日(2ヶ月)より以前のデータの料金算出を実施する場合は、「4-2. 2ヶ月以上前の料金計算」を参照してください。

4. 料金計算画面の、按分データ入力方法で[CSVファイル]を選択する。

按分データ入力方法 ☒ CSVファイル ☐ AE-200からLANで取得

5. CSVファイル(空調機データ)の[参照]をクリックする。

6. AE-200J本体から取得したCSVデータ(按分結果)の「エネルギー管理ブロック」のデータファイルを選択して[開く]をクリックする。

- CSVデータ(按分結果)のファイル名は以下のとおりです。

■エネルギー管理ブロック

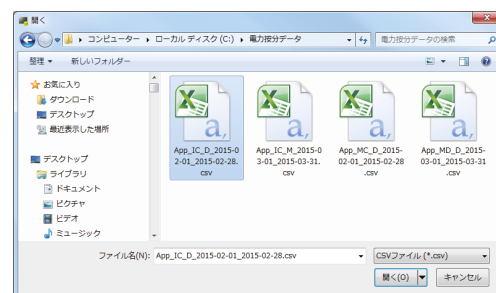
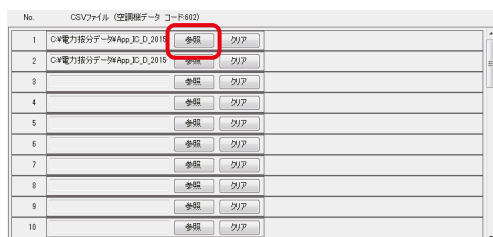
- 1日単位データ: "App"_ "IC"_D_[開始の年]-[開始の月]-[開始の日]_[終了の年]-[終了の月]-[終了の日].csv

例: 2015年03月01日から2015年04月30日までの対象期間で、1日単位データの場合


エネルギー管理ブロックデータ: App_IC_D_2015-03-01_2015-04-30.csv

お知らせ

- ファイル名のICはエネルギー管理ブロック、MCは計量用計測コントローラ、Dは1日単位データを示します。



CSV ファイル (空調機データ) の選択例
(USB 出力 CSV ファイル
[App_IC_D_2015-02-01_2015-02-28.csv])

- CSVデータ (按分結果) は、USBメモリのルートフォルダに¥(AE-200の製造番号)
¥"ApportionData"¥のフォルダを作成し、このフォルダ内にCSVファイルを保存しますので、パソコンにバックアップとして保存してください。
製造番号は本体液晶画面右上の  をタッチしたときのログイン画面の左下に表示します。
- AE-200J 1台ごとに「エネルギー管理ブロック(テナント)」データを1ファイル登録してください。
- AE-200Jが2台の場合は、各2ファイルを出力順に登録します。
- 同じAE-200Jから出力されたCSVファイルを複数個登録しないでください。複数登録した場合は、料金比率が正しく算出されません。
- AE-200Jが複数ある場合は、登録No.順に料金比率が算出されます。

7. [料金計算開始] をクリックする。

料金比率が表示します。(「3-4. 料金計算結果の表示」を参照してください。)

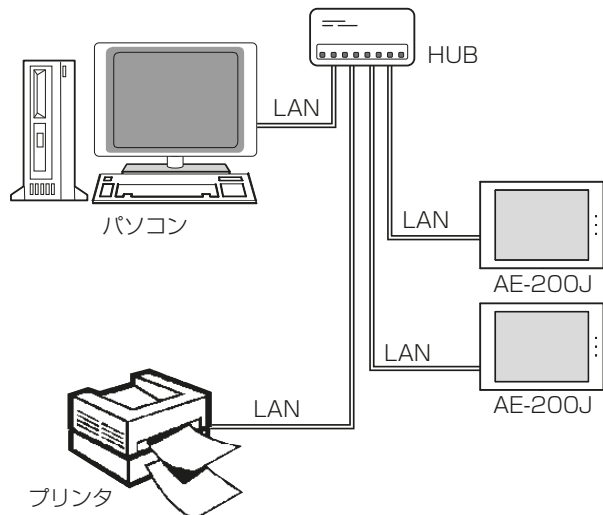
3-3. 精算日計算 (自動出力)

パソコンとAE-200JをLAN接続した場合の精算日計算 (自動出力) について説明します。
AE-200Jとパソコン、プリンタ (印刷する場合) をLANで接続する必要があります。

3-3-1. パソコンの準備

パソコン (料金計算ツール) とAE-200JをLAN接続することにより料金計算結果を自動で「印刷」と「CSV出力」ができます。

プリンタで印刷する場合はプリンタとのLAN接続が必要です。



※ 上図はAE-50J/EW-50Jを省略しています。

精算日計算 (自動出力) では、LAN接続した場合のみ使用可能です。

料金計算ツールで設定した「精算日設定」の翌日AM5:00に自動出力します。また、「日毎」を設定した場合は毎日AM5:00に前日分を自動出力します。



料金計算結果の出力は「印刷」「CSV出力」またはその両方が設定できます。

以下の条件を満たしているパソコン・プリンタを準備してください。

- ・自動出力を行う時刻 (AM5:00) にパソコンの電源がONであること
- ・パソコンにログイン設定をしている場合は、自動出力を行う時刻ではログイン後の状態であること
- ・自動出力を行う時刻にパソコンがスタンバイ状態やスリープ状態でないこと
- ・自動出力を行う時刻に料金計算ツールを、手動で起動していないこと
- ・パソコンにAE-200JがLAN接続されていること
- ・出力方法を「印刷」にしている場合は、自動出力を行う時刻 (AM5:00) にプリンタが起動していること
- ・出力方法を「印刷」にしている場合は、Windowsのプリンタ設定で「標準で使用するプリンタ」の設定があること *

※ 標準で使用するプリンタの設定方法は下記のとおりです。

手順

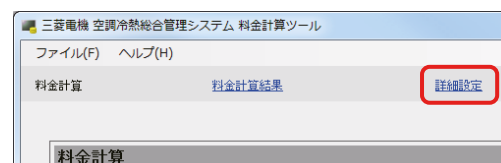
1. スタートメニューの[デバイスとプリンター]をクリックする。
2. 印刷に使用するプリンターに[]が入っていることを確認する。
別のプリンターに[]が入っている場合は、印刷に使用するプリンターを右クリックし、[通常使うプリンターに設定]をクリックする。

3-3-2. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールのインストールに関しては、「5-1. 料金計算ツールのインストール手順」を参照してください。

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. [詳細設定] を選択する。

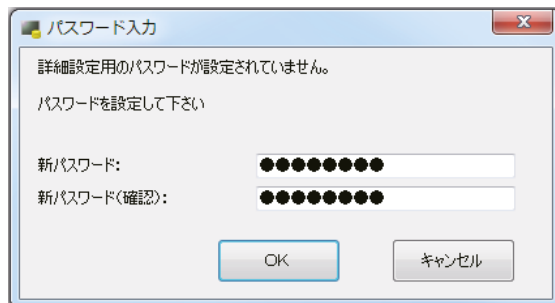


3. パスワードを入力する。

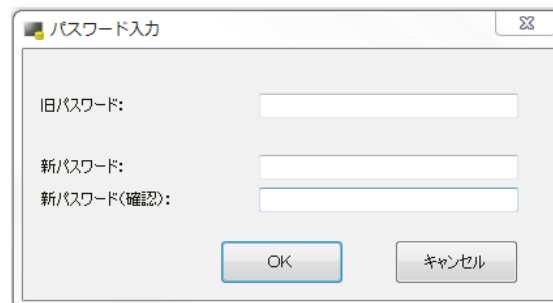


お知らせ

- 初回のみ「パスワード初回入力」が表示します。ご自身で設定したパスワードを2箇所に入力してください。
(パスワードは忘れないようメモなどをしてください。)
- パスワードを忘れた場合は販売店まで連絡してください。
- パスワードを変更する場合は、詳細設定画面の右上にある[設定パスワード変更]をクリックして「パスワード変更」を表示し、旧パスワードと新パスワードを入力してください。
- パスワードの文字数は8文字以上20文字以下です。(次の文字は使用できません。＜＞＆” ‘(半角))



パスワード初回入力



パスワード変更入力

4. 詳細設定画面で「自動出力設定」を行う。

設定方法の詳細は「3-3-3. 料金計算ツールの設定」を参照してください。

5. [確定]をクリックする。

変更内容が反映します。

3-3-3. 料金計算ツールの設定

(1) 印刷設定

印刷設定	<input type="radio"/> しない	<input checked="" type="radio"/> する	(<input type="checkbox"/> 日毎 <input checked="" type="checkbox"/> 月毎)
------	---------------------------	-------------------------------------	--

手順

1. 印刷設定で、[する]を選択する。
2. [日毎][月毎]またはその両方にチェックを入れる。
(上記は、印刷設定を「月毎」に設定する例です。)

お知らせ

パソコンとプリンタを以下の動作環境にしてください。

- ・ 精算日計算（自動出力）する場合に設定が必要となります。
- ・ 自動出力を行う時刻（AM5:00）にパソコンの電源がONであること
- ・ パソコンにログイン設定をしている場合は、自動出力を行う時刻ではログイン後の状態であること
- ・ 自動出力を行う時刻にパソコンがスタンバイ状態やスリープ状態でないこと
- ・ 自動出力を行う時刻に料金計算ツールを、手動で起動していないこと
- ・ パソコンにAE-200JがLAN接続されていること
- ・ 出力方法を「印刷」にしている場合は、自動出力を行う時刻（AM5:00）にプリンタが起動していること
- ・ 出力方法を「印刷」にしている場合は、Windowsのプリンタ設定で「標準で使用するプリンタ」の設定があること

(2) CSV出力設定

CSV出力設定	<input type="radio"/> しない	<input checked="" type="radio"/> する	(<input type="checkbox"/> 日毎 <input checked="" type="checkbox"/> 月毎)
CSV出力先ディレクトリ	C:\CCTool\ChargeFile <input type="button" value="参照"/>		

手順

1. 計算結果データ保存の為、CSV出力設定で、[する]を選択する。
2. [日毎][月毎]またはその両方にチェックを入れる。
3. CSV出力先ディレクトリで[参照]をクリックし、出力するフォルダ先を選択する。
(上記は、印刷設定を「月毎」に設定する例です。)

お知らせ

- ・ 精算日計算 (自動出力) する場合に設定が必要となります。
- ・ CSV出力設定 **[する]** を選択すると、自動出力を行う時刻 (AM5:00) に料金計算ツールが起動します。
- ・ CSVファイルは、設定したCSV出力先ディレクトリに精算日の年月「¥」年「¥」月「¥」を加えたディレクトリに出力します。
出力ファイルの日付は精算日の年月 (日) となります。
例：2015年2月1日 AM5:00 (精算日翌日) に出力の場合
→ 「C:\CCTool¥ChargeFile¥2015¥01¥」となります。
- ・ 「エネルギー管理ブロック (テナント) ごと」の料金計算結果のファイル名は次のとおりです。
日毎 「[年][月][日]"B".csv」 (例：2015年2月1日に出力→「20150131B.csv」で出力。)
月毎 「[年][月]"B".csv」 (例：2015年2月1日に出力→「201501B.csv」で出力。)
- ・ 「計量計ごと」の料金計算結果のファイル名は次のとおりです。
日毎 「[年][月][日]"W".csv」 (例：2015年2月1日に出力→「20150131W.csv」で出力。)
月毎 「[年][月]"W".csv」 (例：2015年2月1日に出力→「201501W.csv」で出力。)

(3) 精算日設定 (自動出力)

精算日設定	<input type="radio"/> 月末	<input checked="" type="radio"/> 毎月	10	日
-------	--------------------------	-------------------------------------	----	---

「精算日設定」で「月毎」の自動出力を行う日を設定します。
本設定では、料金計算結果を出力するための精算日を設定します。
AE-200Jに設定されている「エネルギー管理表」の精算日と合わせてください。

手順

1. AE-200J本体液晶画面の **「エネルギー管理」** → **「エネルギー管理表」** をタッチする。
「エネルギー管理表」画面が開きます。
2. 電力量表示期間を確認し、精算日を設定する。
例1. 「2015/03/01 - 2015/03/31」であれば、最終日が月末ですので、精算日は「月末」を選択してください。
例2. 「2015/03/11 - 2015/04/10」であれば、精算日は「毎月 (10日)」を選択してください。

**・ 月末を選択する場合**

月末を選択すると、1か月分の料金計算結果が翌月1日に出力します。
例えば、2015年2月1日 AM5:00 に出力するのは、
2015年1月1日から31日までの料金計算結果となります。

・ 毎月任意の日を選択する場合

毎月を選択し、「日」の表示のプルダウンを押し、出力する日を1～28の中から選択します。
選択した日の翌日に、選択した日から1か月前までの料金計算結果が出力します。
例えば、2015年4月1日に、毎月25日を選択すると、
次の出力は2015年4月26日 AM5:00 に、
2015年3月26日～2015年4月25日までの料金計算結果が出力します。

お知らせ

- ・ 精算日計算 (自動出力) する場合に設定が必要となります。
- ・ 印刷設定とCSV出力設定が両方 **[する]** の場合、印刷とCSV出力の精算日を個別に設定することはできません。
- ・ 29日、30日、31日は精算日の指定日として指定することができません。
- ・ 「精算日」には、AE-200J本体で表示のエネルギー管理表 (月別表示) <初期設定ツールにて設定> と、精算日計算 (自動出力) <料金計算ツールにて設定> の2種類があります。
- ・ エネルギー管理表は、精算日を過ぎた次の日に表示されます。

(4) IPアドレス設定

「エネルギー管理」データと「計量計」データを、自動でAE-200Jから取得するための、IPアドレスの設定について説明します。

手順

1. IPアドレス設定の[追加]をクリックする。
「自動取得先AE-200 情報入力」画面が表示します。

2. 料金計算するAE-200JのIPアドレスと管理者ユーザーのID・パスワードを入力する。
3. [通信確認]をクリックして、AE-200Jと通信できていることを確認する。
通信ができたとき、「正常に通信できました。」が表示します。
4. [OK]をクリックし、IPアドレス設定欄に入力したIPアドレスが追加されていることを確認する。
5. 料金計算するAE-200Jが複数台ある場合は、上記の手順1～4を繰り返し、料金計算するAE-200Jの台数分を登録する。

お知らせ

- ・ 精算日計算（自動出力）する場合に設定が必要となります。
- ・ 料金計算ツールの[詳細設定]－「同一名称のエネルギー管理ブロック統合」で[統合しない]を選択したときは、エネルギー管理ブロック名称を区別するために、「AE-200 No.X + エネルギー管理ブロック名称」で表示されます。
（出力されるAE-200JのNo.とは、本IPアドレス設定された順番にNo.1からとなります。
IPアドレスを選択して[▲][▼]ボタンをクリックすると、順番を変更することができます。）
（「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照してください。）
（例：No.1のAE-200Jに接続されたエネルギー管理ブロック名称が「1Fテナント」の場合→「AE-200 No.1 1Fテナント」）
- ・ 計量計ごとの料金計算結果の計量計名称は、「統合する」の場合でも統合されません。
- ・ 計量計ごとの料金計算結果は、同一名称のエネルギー管理ブロック統合の設定に関わらず、「AE-200 No.X + 計量計名称」で表示されます。
- ・ 設定を変更する場合は、IPアドレスを選択して[変更]をクリックしてください。

3-4. 料金計算結果の表示

「3-2-3. 料金計算ツールの設定方法」完了後に、料金計算画面にて**[料金計算開始]**をクリックすると、料金計算結果画面を表示します。

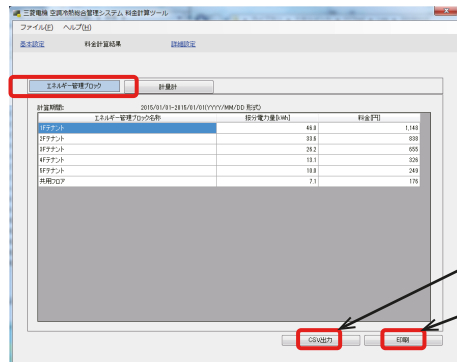
3-4-1. 電力量計量(計量計あり)方式

電力量計量(計量計あり)方式の場合は、エネルギー管理ブロックごとと計量計ごとの2通りの料金計算結果を表示します。

手順

1. **[エネルギー管理ブロック]**または**[計量計]**をクリックする。

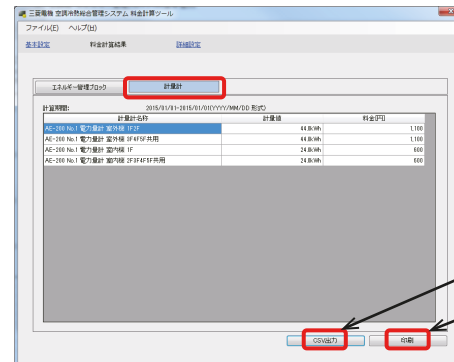
[エネルギー管理ブロック]を選択した場合



CSV 出力

印刷

[計量計]を選択した場合



CSV 出力

印刷

2. **[印刷]**または**[CSV出力]**をクリックする。

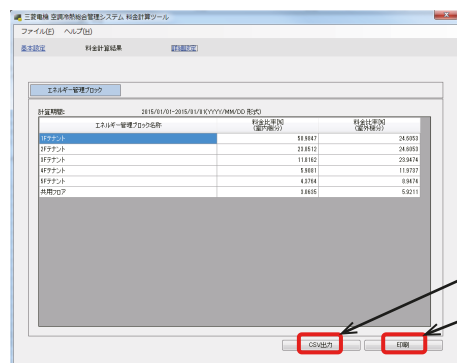
- ・料金計算結果を印刷する場合は、**[印刷]**をクリックする。
「標準で使用するプリンタ」に設定しているプリンタで印刷します。
- ・料金計算結果をCSVで出力する場合は、**[CSV出力]**をクリックする。
出力先選択ダイアログが表示します。任意のファイル名で保存してください。

お願い

- ・印刷した場合は、同時にCSV出力による計算結果のバックアップをおすすめします。

3-4-2. 電力量手入力(計量計なし)方式

電力量手入力の場合は、エネルギー管理ブロックごとの料金比率を表示します。



CSV 出力

印刷

手順

1. **[印刷]**または**[CSV出力]**をクリックする。

- ・料金比率を印刷する場合は、**[印刷]**をクリックする。
「標準で使用するプリンタ」に設定しているプリンタで印刷します。
- ・料金比率をCSVで出力する場合は、**[CSV出力]**をクリックする。
出力先選択ダイアログが表示します。任意のファイル名で保存してください。

お願い

- ・印刷した場合は、同時にCSV出力による料金比率のバックアップをおすすめします。

3-5. 料金計算結果の印刷

3-5-1. 電力量計量(計量計あり) 方式

電力量計量（計量計あり）方式の場合、料金計算結果は「エネルギー管理ブロックごと」と「計量計ごと」の２種類が印刷されます。

[1] エネルギー管理ブロックごとの印刷例

（料金計算結果の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する）

空調料金 エネルギー管理ブロック(料金単価別)					
精算期間: 2015/04/01-2015/04/30					
エネルギー管理ブロック名称	按分電力量		項目		空調料金合計
	[kWh]	料金単価	[kWh]	[円]	
1Fテナント	46.0	料金単価1	46.0	1,148	1,148
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
2Fテナント	33.6	料金単価1	33.6	838	838
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
3Fテナント	26.2	料金単価1	26.2	655	655
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
4Fテナント	13.1	料金単価1	13.1	326	326
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
5Fテナント	10.0	料金単価1	10.0	249	249
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	
共用フロア	7.1	料金単価1	7.1	176	176
		料金単価2	0.0	0	
		料金単価3	0.0	0	
		料金単価4	0.0	0	
		料金単価5	0.0	0	

[2] 計量計ごとの印刷例

（料金計算結果の表示順序：番号順）

空調料金 計量計(料金単価別)					
精算期間:2015/04/01-2015/04/30					
計量計名称	計量値	単位	項目	空調料金合計	
			料金単価	[円]	
AE-200 No.1 電力量計 室外機 1F2F	44.0	kWh	料金単価1	44.0	1,100
			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	
AE-200 No.1 電力量計 室外機 3F4F5F共用	44.0	kWh	料金単価1	44.0	1,100
			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	
AE-200 No.1 電力量計 室内機 1F	24.0	kWh	料金単価1	24.0	600
			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	
AE-200 No.1 電力量計 室内機 2F3F4F5F共用	24.0	kWh	料金単価1	24.0	600
			料金単価2	0.0	
			料金単価3	0.0	
			料金単価4	0.0	
			料金単価5	0.0	

3-5-2. 電力量手入力(計量計なし) 方式

電力量手入力 (計量計なし) 方式の場合、料金比率は「エネルギー管理ブロックごと」のみが印刷されます。

・ エネルギー管理ブロックごとの印刷例

(料金比率の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する)

空調料金 エネルギー管理ブロック(料金単価別)						
精算期間: 2015/04/01~2015/04/30						
エネルギー管理ブロック名称	按分パラメータ (総合計)	項目 料金単価	按分パラメータ (室内機分)	料金比率[%] (室内機分)	按分パラメータ (室外機分)	料金比率[%] (室外機分)
1Fテナント	42.0	料金単価1	23.3	50.9847	18.7	24.6053
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
2Fテナント	29.6	料金単価1	10.9	23.8512	18.7	24.6053
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
3Fテナント	23.6	料金単価1	5.4	11.8162	18.2	23.9474
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
4Fテナント	11.8	料金単価1	2.7	5.9081	18.2	11.9737
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
5Fテナント	8.8	料金単価1	2.0	4.3764	6.8	8.9474
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	
共用フロア	5.9	料金単価1	1.4	3.0635	4.5	5.9211
		料金単価2	0.0		0.0	
		料金単価3	0.0		0.0	
		料金単価4	0.0		0.0	
		料金単価5	0.0		0.0	

※ 電力量手入力 (計量計なし) 方式の場合は、電力量ではなく料金比率 [%] が出力されます。

【「料金比率 [%] (室内機分)」と【料金比率 [%] (室外機分)】の合計はそれぞれ 100%となります。
(AE-200Jが複数接続されている場合は、全AE-200Jの合計が 100%となります。)

※ 室外機用と室内機用の電力量を個別に計量している場合は、室外機用の電力量と【料金比率 [%] (室外機按分)】室内機用の電力量と【料金比率 [%] (室内機按分)】により算出してください。

室外機用、もしくは、室内外機用に電力量を計量している場合は、電力量と【料金比率 [%] (室外機按分)】により算出してください。

※ 使用するデータは、【料金比率 [%] (室内機按分)】と【料金比率 [%] (室外機按分)】です。

按分パラメータ (総合計)、按分パラメータ (室内機分)、按分パラメータ (室外機分) は使用しません。
(参考値となります。)

3-6. 料金計算結果のCSV出力例

3-6-1. 電力量計量(計量計あり)方式

電力量計量（計量計あり）方式の場合、料金計算結果は「エネルギー管理ブロックごと」と「計量計ごと」の2種類のCSVファイルが出力されます。

[1] エネルギー管理ブロックごとのCSV出力例

（料金計算結果の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する）

701 料金計算結果(エネルギー管理ブロック)													
期間:2015/04/01-2015/04/30													
エネルギー管理ブロック名称	按分電力量	室外機分按分電力量	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	室内機分按分電力量	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)
	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]	[kWh]
1Fテナント	46	22	22	0	0	0	0	24	24	0	0	0	0
2Fテナント	33.6	22	22	0	0	0	0	11.6	11.6	0	0	0	0
3Fテナント	26.2	20.4	20.4	0	0	0	0	5.8	5.8	0	0	0	0
4Fテナント	13.1	10.2	10.2	0	0	0	0	2.9	2.9	0	0	0	0
5Fテナント	10	7.9	7.9	0	0	0	0	2.1	2.1	0	0	0	0
共用フロア	7.1	5.6	5.6	0	0	0	0	1.5	1.5	0	0	0	0

按分料金	室外機分按分料金	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	室内機分按分料金	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)
[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]
1148	549	549	0	0	0	0	599	599	0	0	0	0
838	549	549	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0
655	510	510	0	0	0	0	145	145	0	0	0	0
326	254	254	0	0	0	0	72	72	0	0	0	0
249	197	197	0	0	0	0	52	52	0	0	0	0
176	139	139	0	0	0	0	37	37	0	0	0	0

[2] 計量計ごとのCSV出力例

（料金計算結果の表示順序：番号順）

711 料金計算結果(計量計)							
期間:2015/04/01-2015/04/30							
計量計名称	計量値	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	単位
AE-200 No.1 電力量計 室外機 1F2F		44	44	0	0	0	kWh
AE-200 No.1 電力量計 室外機 3F4F5F共用		44	44	0	0	0	kWh
AE-200 No.1 電力量計 室内機 1F		24	24	0	0	0	kWh
AE-200 No.1 電力量計 室内機 2F3F4F5F共用		24	24	0	0	0	kWh

料金	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)
[円]	[円]	[円]	[円]	[円]	[円]
1100	1100	0	0	0	0
1100	1100	0	0	0	0
600	600	0	0	0	0
600	600	0	0	0	0

3-6-2. 電力量手入力(計量計なし)方式

電力量手入力(計量計なし)方式の場合、料金比率は「エネルギー管理ブロックごと」のみが印刷されます。

・エネルギー管理ブロックごとのCSV出力例

(料金比率の表示順序：番号順、同一名称のエネルギー管理ブロック統合：統合する)

702 料金計算結果(エネルギー管理ブロック)						
期間:2015/04/01-2015/04/30						
エネルギー管理ブロック名称	按分パラメータ	室外機分按分パラメータ	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)
1Fテナント	42	18.7	18.7	0	0	0
2Fテナント	29.6	18.7	18.7	0	0	0
3Fテナント	23.6	18.2	18.2	0	0	0
4Fテナント	11.8	9.1	9.1	0	0	0
5Fテナント	8.8	6.8	6.8	0	0	0
共用フロア	5.9	4.5	4.5	0	0	0

分按分パラメータ	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	料金比率(室外機分)	料金比率(室内機分)
						[%]	[%]
23.3	23.3	0	0	0	0	24.6053	50.9847
10.9	10.9	0	0	0	0	24.6053	23.8512
5.4	5.4	0	0	0	0	23.9474	11.8162
2.7	2.7	0	0	0	0	11.9737	5.9081
2	2	0	0	0	0	8.9474	4.3764
1.4	1.4	0	0	0	0	5.9211	3.0635

- ※ 電力量手入力(計量計なし)方式の場合は、電力量ではなく料金比率 [%] が出力されます。
【「料金比率 [%] (室内機分)」と【料金比率 [%] (室外機分)】の合計はそれぞれ 100%となります。
(AE-200Jが複数接続されている場合は、全AE-200Jの合計が 100%となります。)
- ※ 室外機用と室内機用の電力量を個別に計量している場合は、室外機用の電力量と【料金比率 [%] (室外機按分)】室内機用の電力量と【料金比率 [%] (室内機按分)】により算出してください。
室外機用、もしくは、室内外機用に電力量を計量している場合は、電力量と【料金比率 [%] (室外機按分)】により算出してください。
- ※ 使用するデータは、【料金比率 [%] (室内機按分)】と【料金比率 [%] (室外機按分)】です。
按分パラメータ(総合計)、按分パラメータ(室内機分)、按分パラメータ(室外機分)は使用しません。
(参考値となります。)

4. 使用方法（応用）

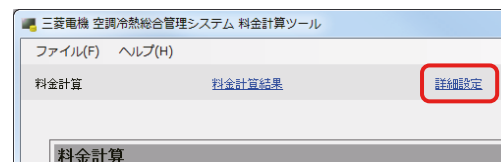
4-1. 料金計算ツールの各種設定

4-1-1. 料金計算ツールの設定方法

料金計算ツールの初期設定を実施してください。

手順

1. 料金計算ツールを起動する。
2. [詳細設定]を選択する。

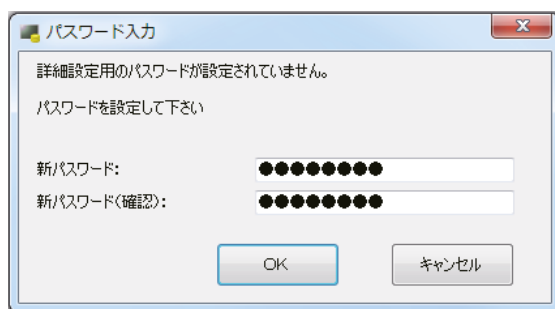


3. パスワードを入力する。

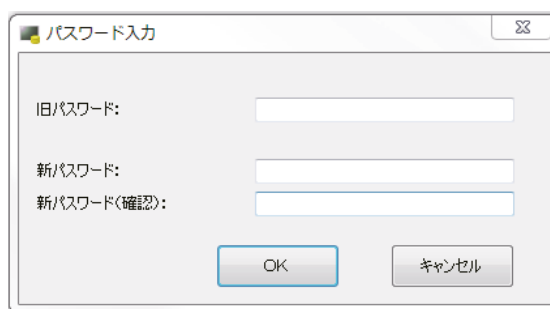


お知らせ

- 初回のみ「パスワード初回入力」が表示します。ご自身で設定したパスワードを2箇所に入力してください。
(パスワードは忘れないようメモなどをしてください。)
- パスワードを忘れた場合は販売店まで連絡してください。
- パスワードを変更する場合は、詳細設定画面の右上にある【設定パスワード変更】をクリックして「パスワード変更」を表示し、旧パスワードと新パスワードを入力してください。
- パスワードの文字数は8文字以上20文字以下です。(次の文字は使用できません。 <> & " ' (半角))



パスワード初回入力



パスワード変更入力

4. 詳細設定画面で「料金計算詳細設定」を行う。



4-1-2. 料金計算ツールの設定

(1) 計量計接続 (あり／なし)

計量計 (電力按分課金支援機能で使用する電力量計と接続した計量用計測コントローラ) の有無を設定します。
[なし] に設定した場合は按分した電力量 [kWh] ではなく、料金比率 [%] が出力します。

計量計接続	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし
-------	-------------------------------------	--------------------------

手順

1. 計量計接続を、[あり]/[なし] のいずれかを設定する。

お願い

- 複数の AE-200J が接続されている場合は、AE-200J 本体 (初期設定ツール) の [課金設定] - 「計量計接続 按分」の [接続する]/[接続しない] をすべて同一に設定してください。

設定が異なると以下のエラーが表示します。

「料金計算ツールと AE-200 の計量計接続有無が一致していません。詳細設定画面の計量計接続有無設定および AE-200 の課金設定が正しく行われていることを確認してください。」

(2) 待機電力量の料金計算 (料金に含める／料金に含めない)

室内ユニットまたは室外ユニットの待機電力量をテナントへの請求額に含めるかを設定します。
電力量手入力 (計量計なし) 方式の場合は設定不要です。

待機電力量の料金計算	<input checked="" type="radio"/> 料金に含める	<input type="radio"/> 料金に含めない
------------	---	-------------------------------

手順

1. 待機電力量を [料金に含める]/[料金に含めない] のいずれかを設定する。

お知らせ

- 待機電力量の按分方法および請求先については「6-7-1. 課金設定」を参照してください。

(3) 通貨単位

通貨単位	円	小数点以下	0	桁まで計算
------	---	-------	---	-------

手順

1. 通貨単位を設定する。
※ 各料金単価ごとにエネルギー管理ブロック (テナント) ごとの合計料金が、設定した桁数以下で切り捨てら

れます。

（桁数は0～4桁まで設定できます。）

例えば「0桁」とすると、¥12,456.5-の計算結果の場合は¥12,456-となります。

(4) 料金計算結果の表示順序（番号順／名称順）・同一名称のエネルギー管理ブロック統合（統合する／統合しない）

出力（印刷およびCSV）順の設定をします。

料金計算結果の表示順序	<input checked="" type="radio"/> 番号順	<input type="radio"/> 名称順
同一名称のエネルギー管理ブロック統合	<input checked="" type="radio"/> 統合する	<input type="radio"/> 統合しない

1) 料金計算結果の表示順

手順

1. [番号順] または [名称順] を選択する。

料金計算結果のエネルギー管理ブロック名称の表示順序が変更します。

- ・「番号順」を選択している場合は、初期設定ツールで設定したエネルギー管理ブロック番号の順番で表示します。
- ・「名称順」を選択している場合は、エネルギー管理ブロック名称の順番で表示します。

お知らせ

- ・名称順の場合、数字、英文字、漢字の順で表示します。
- ・名称順の場合は並べたい順番にエネルギー管理ブロック（テナント）名称の頭文字に、数字もしくはアルファベットを付けることをおすすめします。

2) 同一名称のエネルギー管理ブロック統合

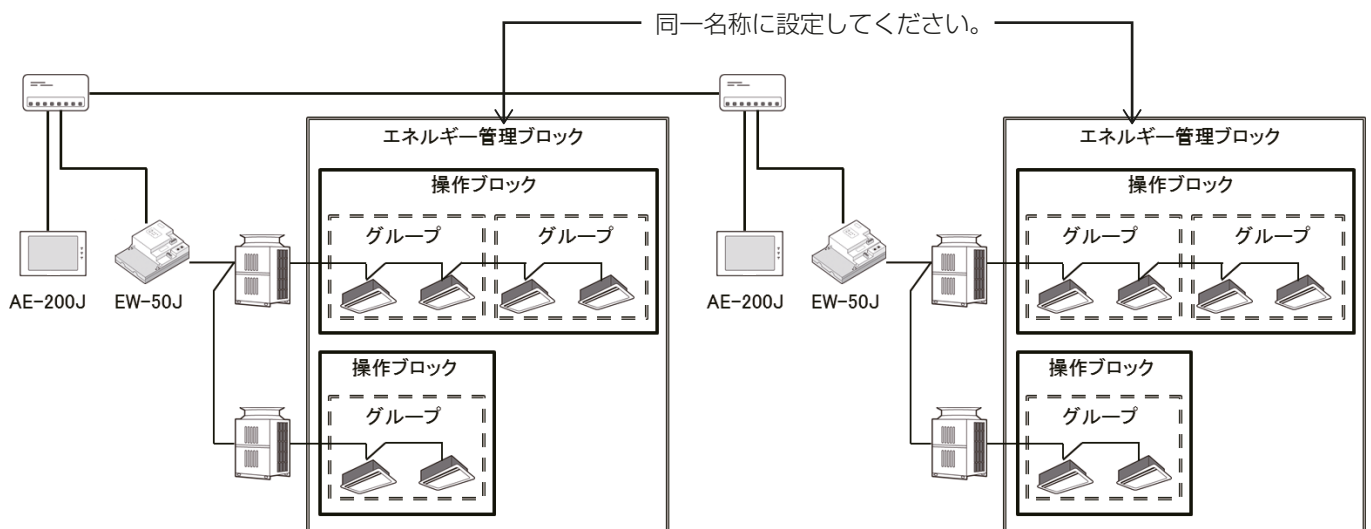
手順

1. [統合する] または [統合しない] を選択する。

複数のAE-200Jが接続されており、各AE-200Jに存在する同一名称のエネルギー管理ブロックを統合し、料金計算結果または料金比率を合算して出力する場合は**[統合する]**を選択する。

複数のAE-200Jに同一テナントがまたがる場合

料金計算ツールでは、AE-200Jをまたがり同一テナントがある場合は、AE-200Jごとにエネルギー管理ブロック名称を同一に設定することにより、料金計算結果または料金比率を統合することができます。



- ① エネルギー管理ブロック（テナント）が同一の場合は、名称を同一に設定してください。
- ② [ユニット設定]－[エネルギー管理ブロック設定]にて、同一エネルギー管理ブロック（テナント）を**[統合する]**に設定します。

番号順	統合する	AE-200Jごとの出力順はAE-200JのIPアドレス設定順となります。 AE-200J内の出力順は、初期設定ツールで登録されたエネルギー管理ブロック番号順となります。 エネルギー管理ブロックは、AE-200Jの番号順に統合します。
	統合しない	AE-200Jごとの出力順はAE-200JのIPアドレス設定順となります。 AE-200J内の出力順は、初期設定ツールで登録したエネルギー管理ブロック番号順となります。
名称順	統合する	エネルギー管理ブロック名称順となります。 エネルギー管理ブロックは、AE-200Jの名称順に統合します。
	統合しない	AE-200Jごとの出力順はAE-200JのIPアドレス設定順となります。 AE-200J内の出力順は、エネルギー管理ブロック名称順となります。

(5) CSV ファイルの小数点記号 (ピリオド／カンマ) ・ CSV ファイルの区切り記号 (カンマ／セミコロン)

CSVファイルの小数点記号	<input checked="" type="radio"/> ピリオド	<input type="radio"/> カンマ
CSVファイルの区切り記号	<input checked="" type="radio"/> カンマ	<input type="radio"/> セミコロン

手順

1. AE-200JのCSVデータ(按分結果)と料金計算ツールのCSVデータ(料金計算結果)のファイル形式を設定する。

設定例、小数点記号：ピリオド / 区切り記号：カンマ

お願い

- AE-200J本体(初期設定ツール)の[基本設定]－[基本システム設定]の設定内容と合わせてください。設定が異なると「CSV ファイルのフォーマットが不正です。取得先を確認してください。」のエラーが表示します。
- 複数のAE-200Jが接続されている場合は全て同一設定にしてください。
- AE-200Jと料金計算ツールの設定が異なると正しく料金計算できません。

(6) 料金単価設定（料金比率設定）

電力量計量（計量計あり）方式の場合は、1 [kWh] 当たりの料金単価 1～5 を設定します。

熱量計 [/MJ]、水道量計 [/m³]、（単位なし）[/1 計量単位] の設定もできます。

電力量手入力（計量計なし）方式の場合は料金比率を設定します。

初期設定ツールの設定で曜日や季節などに料金単価 1～5 を割り振ることができます。

料金単価設定	料金単価				
	単価1	単価2	単価3	単価4	単価5
空調機[kWh]	20	22	24	23	18
熱量計[MJ]	0	0	0	0	0
水道量計[m ³]	0	0	0	0	0
(単位無)[/1計量単位]	0	0	0	0	0

手順

1. 空調機 [/kWh] の場合の料金単価を設定する。

（計量用計測コントローラに熱量計や水道量計などが接続されている場合は、熱量計 [/MJ]、水道量計 [/m³]、（単位無）[/1 計量単位] に設定することもできます。）

お願い

- ・ 時間帯ごとの設定変更は初期設定ツールにて行ってください。
- ・ 時間帯設定されているのに、単価が未入力の場合、料金計算が正しく行えません。
- ・ 電力量手入力（計量計なし）方式の場合、単価 1～5 には電気料金の比率を入力してください。

例：深夜料金が3分の1の場合

単価1（深夜）を「1」、単価2（日中）を「3」

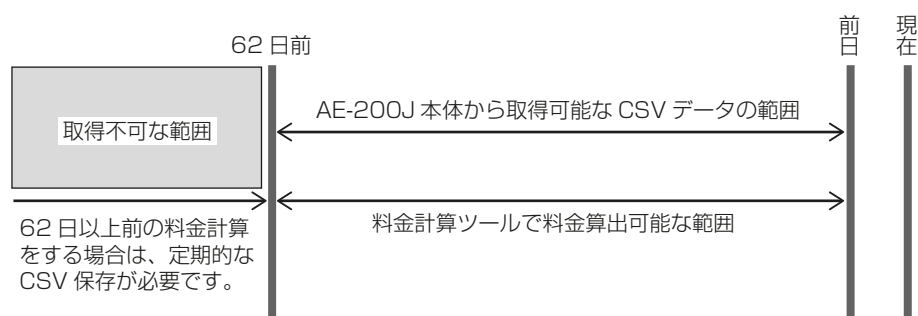
料金単価の時間帯設定は初期設定ツールより行ってください。

4-1-3. 設定を保存する**手順**

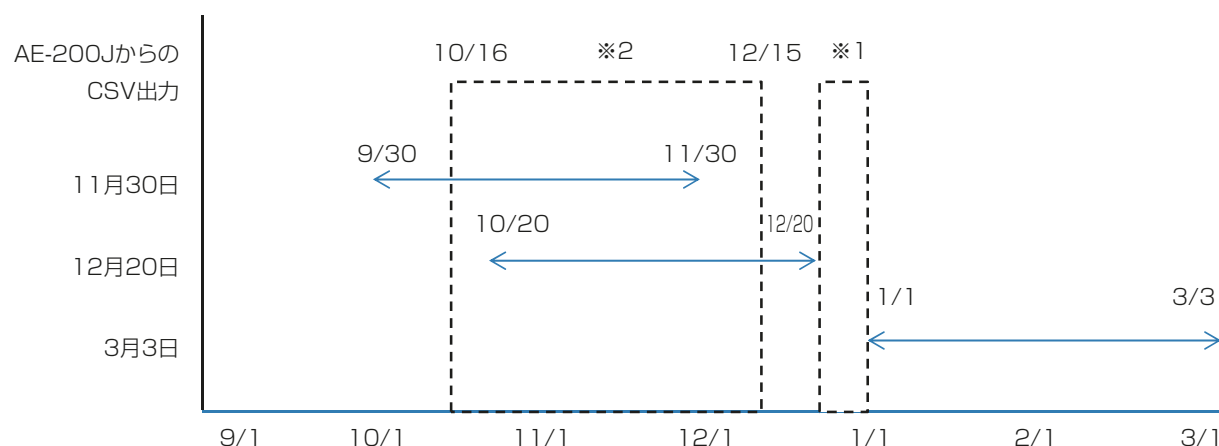
1. **[確定]** をクリックする。
設定を保存します。

4-2. 2ヶ月以上前の料金計算

AE-200J本体からUSBメモリにてCSV取得可能な期間は前日より62日分(2ヶ月)です。それ以上前の期間で料金計算ができるように、定期的に(月に1回)にCSVデータを保存することをおすすめします。



料金計算例



※1 上図のようにAE-200JよりCSVデータ(按分結果)を取得していた場合、12/21～12/31のCSVデータが欠落している期間は料金計算できません。

※2 上図の10/16～12/15の料金計算を行う場合は、9/30～11/30のCSVファイルで10/16～11/30の期間の計算を行い、10/20～12/20のCSVファイルで12/1～12/15の期間の計算を行います。

出力した2つのファイルを合計したものが10/16～12/15の計算結果になります。

合計する2つの期間のファイル(同一のAE-200J)を1回の料金計算で実施することはできません。

4-2-1. 定期的にUSB出力を行いパソコンに保存

定期的に(1ヶ月に1回程度)データの保存を実施してください。

お願い

- 複数台AE-200Jを使用している場合、使用しているAE-200Jの台数分USB出力を行ってください。作業手順については、「3-2-2. [1] 電力量計量(計量計あり)方式 CSVデータ(按分結果)」、または「3-2-2. [2] 電力量手入力(計量計なし)方式」参照してください。

4-3. その他の設定変更と留意点

4-3-1. 精算日の変更

精算日計算（自動出力）の料金計算期間は1ヶ月固定のため、

- ① 精算日を、より前に繰り上げる場合（前回4/20に精算後、精算日を15日に変更した場合を例に説明します）、精算日4/20の計算期間は3/21～4/20、5/15の計算期間は4/16～5/15となり、4/16～4/20が2度算出されるため、1ヶ月分は期日指定計算する必要があります。
5/15の精算日計算結果は使用せず、4/21～5/15の期日指定計算を実施してください。
5/16～6/15以降は通常どおりに使用できます。
- ② 精算日を、より後ろに繰り下げる場合（前回4/20に精算後、精算日を25日に変更した場合を例に説明します）、精算日4/20の計算期間は3/21～4/20、5/25の計算期間は4/26～5/25となり、4/21～4/25が算出されないため、5/25の精算日計算に加え、4/21～4/25の期日指定計算を実施してください。
5/26～6/25以降通常どおりに使用できます。
具体的な設定変更は、「3-3. 精算日計算（自動出力）」を参照してください。

4-3-2. 料金単価の変更（特異日、季節）

料金単価を変更する場合は、以下の手順で料金計算および料金単価の変更を行ってください。

- ① 期日指定する期間中に料金変更する場合、
（例）精算日が毎月20日で料金変更が5/1の場合

手順

1. [基本設定]の「計算期間設定」を4/21～4/30にして、[料金計算開始]をクリックする。
 2. [詳細設定]の「料金単価設定」で新単価を入力する。
 3. [基本設定]の「計算期間設定」を5/1～5/20にして、[料金計算開始]をクリックする。
- 具体的な設定変更は、「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照してください。

- ② 料金の時間帯設定を変更する場合、
時間帯設定は過去にさかのぼって変更することはできません。

お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客さま相談窓口にお問い合わせください。

4-3-3. テナント名称の変更

テナントの入れ替わりの場合は、名称変更前に、元のテナントの最終日までの期日指定計算を実施してください。

（精算日計算（自動出力）を実施している場合の精算日途中の場合も、期日指定計算が必要です）

精算日が20日で、旧テナント「A」が～4/15まで入居、新テナント「B」が4/16～入居の場合の例で説明します。

手順

1. 3/20までの精算日ごとの請求を実施しているため、4/16以降に3/21～4/15の期日指定計算を実施し、旧テナント「A」に請求する。
2. 手順1.の計算後、次の精算日までに初期設定ツールの[ユニット設定]－[エネルギー管理ブロック設定]でテナント名称（エネルギー管理ブロック名称）を変更する。
3. 4/16～4/20の期日指定計算により、新テナント「B」に請求する。
4/20の精算日請求（3/21～4/20）では、新テナント「B」には請求しないでください。

お願い

- ・「6-3-2. 初期設定ツールによる初期設定の流れ」の手順に従って設定をしてください。

お知らせ

- テナント名称を新テナント「B」に変更後に旧の期間で料金算出を実施した場合は、新テナント「B」名称で印刷し、実際と異なるデータとなります。

お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客さま相談窓口にお問い合わせください。

4-3-4. テナント(エネルギー管理ブロック)の間仕切変更

お買い上げの販売店、指定のサービス店、またはメーカー指定のお客さま相談窓口にお問い合わせください。

4-4. エネルギー管理表示

「エネルギー利用状況」では、エネルギー管理ブロック/グループ/ユニット単位で、消費電力量をグラフで表示することができます。また目標値を設定することで、目標値と現在のエネルギー利用状況を比較することができます。

「ランキング」では、消費電力量の多い順にランキングで表示することができます。

「エネルギー管理表」では、エネルギー管理ブロックごとの消費電力を月ごとに表で表示することができます。

お知らせ

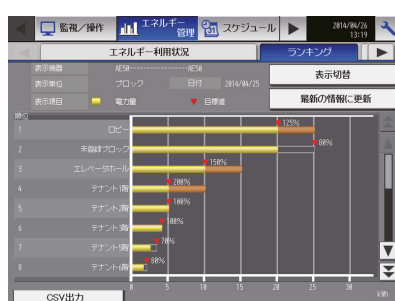
- エネルギー利用状況とランキングの詳細は、AE-200J取扱説明書、統合管理ブラウザ取扱説明書の「エネルギー管理」を参照してください。

■液晶画面

エネルギー利用状況



ランキング



エネルギー管理表

計画計名	2015/01/01 - 2015/01/31	2015/02/01 - 2015/02/28	2015/03/01 - 2015/03/31
合計	53.8 kWh	106.8 kWh	36.8 kWh
ロビー	16.8 kWh	33.6 kWh	11.2 kWh
エレベーター	10.8 kWh	21.6 kWh	7.2 kWh
テナント-高	10.8 kWh	21.6 kWh	7.2 kWh

A 'CSV出力' button is at the bottom right.

■統合管理ブラウザ

エネルギー利用状況



ランキング



エネルギー管理表

計画計名	2015/01/01 - 2015/01/31	2015/02/01 - 2015/02/28	2015/03/01 - 2015/03/31
合計	53.8 kWh	106.8 kWh	36.8 kWh
ロビー	16.8 kWh	33.6 kWh	11.2 kWh
エレベーター	10.8 kWh	21.6 kWh	7.2 kWh
テナント-高	10.8 kWh	21.6 kWh	7.2 kWh

A 'ダウンロード' button is at the bottom right.

電力按分課金支援ライセンスの登録の有無により、設定方法やグラフの表示内容が異なります。
違いは以下のとおりです。

		電力按分課金支援ライセンスあり	電力按分課金支援ライセンスなし
エネルギー利用状況	エネルギー利用状況	以下の電力量が含まれます。 ・ 室外ユニットの使用電力量 ・ 室外ユニットの待機電力量 ・ 室内ユニットの使用電力量 ・ 室内ユニットの待機電力量	以下の電力量が含まれます。 ・ 室外ユニットの使用電力量 ・ 室外ユニットの待機電力量
	ランキング		
目標値設定 ※1		室外ユニットと室内ユニットの合計に対しての、消費電力量の目標値を設定します。	室外ユニットに対しての、消費電力量の目標値を設定します。
エネルギー管理表		エネルギーの管理ブロックまたは計量計ごとの月単位の表示ができます。	表示できません。
設定方法	計測設定	液晶画面の[機能設定1]-[計測設定]で電力パルスの単位を設定する。 (初期設定ツールからも設定できます。)	
	按分モードの設定	初期設定ツールの[課金設定]-[課金設定]の「按分モード設定」で設定する。 お知らせ ・ 液晶画面でのエネルギー管理設定での設定内容は無効になります。	液晶画面の[機能設定1]-[エネルギー管理設定]で、室内ユニットの按分モードを、[能力セーブ量]、[サーモON時間]、[FAN運転時間]から選択する。 (初期設定用ツールからも設定できます。)
	電力量計の設定	初期設定ツールにて計量用パルス入力または計量用計測コントローラのCH番号ごとに、接続されている室内ユニット、室外ユニットを選択します。 お知らせ ・ 液晶画面でのエネルギー管理設定での設定内容は無効になります。	液晶画面の[機能設定1]-[エネルギー管理設定]で、室内ユニットが接続されている室外ユニットの電力使用量を計測している電力量計を選択します。 (初期設定Webブラウザからも設定できます。)
	待機電力量の設定	初期設定ツールにて待機電力量を使用電力量に含めるかを選択できます。また、待機電力量の値を変更できます。	設定できません。

※1 統合管理ブラウザは、AE-200J/AE-50J/EW-50Jに設定した目標値を統合して表示します。
統合管理ブラウザで目標値を設定することはできません。

5. ソフトウェアの準備 (インストール)

5-1. 料金計算ツールのインストール手順

お願い

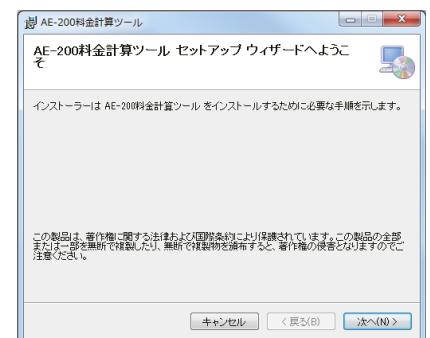
- ・ 事前に .NET Framework のバージョン 4.8 以降であることを確認してください。
「5-4. .NET Framework のインストール手順」を参照してください。
インターネットに接続されていない環境の場合は、事前にオフラインインストーラーをダウンロードしてください。

お知らせ

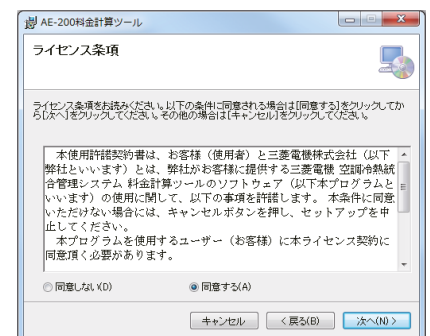
- ・ インストールされている .NET Framework のバージョンは、Windows のスタートメニューの「コントロールパネル」から「プログラムと機能」で確認できます。
- ・ 料金計算ツールの入手については、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ・ 料金計算ツールをバージョンアップする場合も、下記インストール手順を実施してください。

手順

1. 料金計算ツールのセットアップ (setupCCToolJ_V***.msi) を起動する。
V*** はバージョンを示します (V110 の場合、Ver.1.10)。
「セキュリティ警告」画面が表示した場合は、**[実行]** をクリックする。
「セットアップウィザード」画面が表示します。
2. **[次へ]** をクリックする。
「ライセンス条項」画面が表示します。



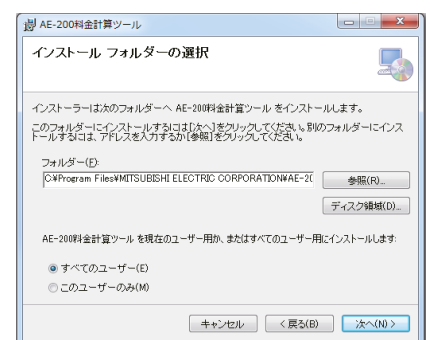
3. **[同意する]** を選択し、**[次へ]** をクリックする。
「インストール フォルダーの選択」画面が表示します。



4. 保存先のフォルダを選択して **[次へ]** をクリックする。
「インストールの確認」画面を表示します。

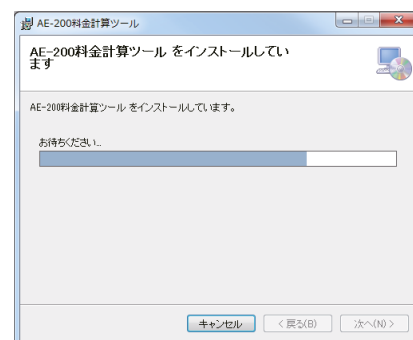
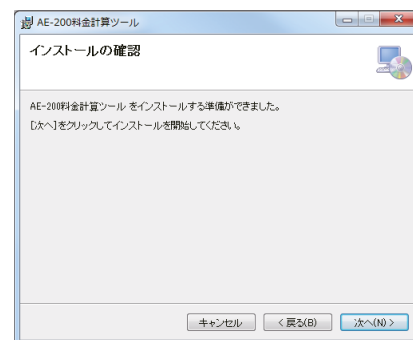
お知らせ

- ・ PC にログインの設定をしている、すべてのユーザーが料金計算ツールを使用する場合は、**[すべてのユーザー]** にチェックが入った状態で **[次へ]** をクリックする。

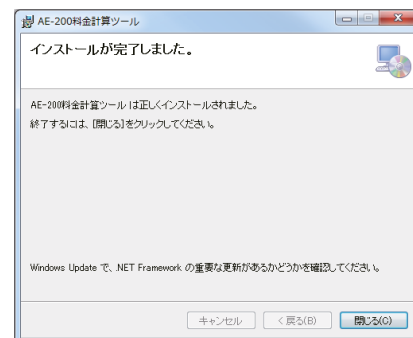


5. [次へ] をクリックする。

料金計算ツールのインストールが開始します。



6. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックする。



お知らせ

- 料金計算ツールのショートカットアイコンがデスクトップに作成されます。起動するには、アイコンをダブルクリックしてください。

5-2. 初期設定ツールのインストール手順

お願い

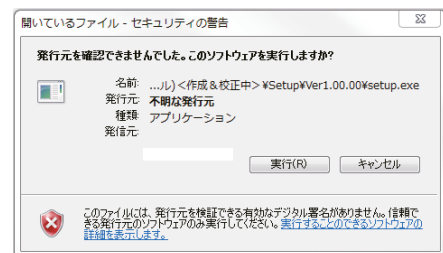
- ・ 事前に .NET Framework のバージョン 4.8 以降であることを確認してください。
- ・ 「5-4. .NET Framework のインストール手順」を参照してください。
- ・ インターネットに接続されていない環境の場合は、事前にオフラインインストーラーをダウンロードしてください。

お知らせ

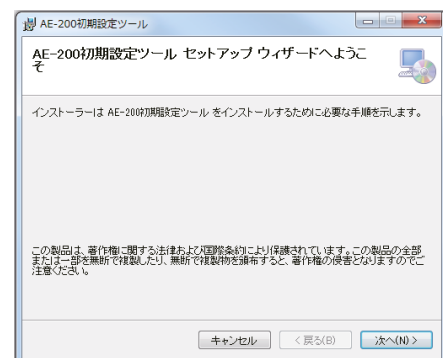
- ・ インストールされている .NET Framework のバージョンは、Windows のスタートメニューの「コントロールパネル」から「プログラムと機能」で確認できます。
- ・ 電力按分課金支援機能を使用する場合は、本機能の設定に対応した初期設定ツールが必要です。初期設定ツールの入手については、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ・ 初期設定ツールをバージョンアップする場合も、下記インストール手順を実施してください。

手順

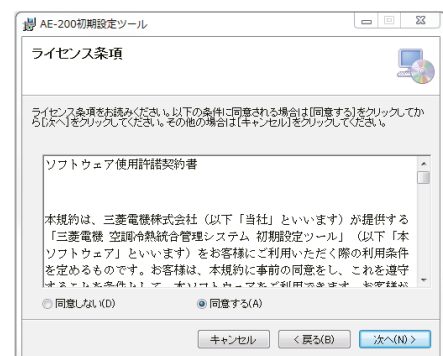
1. 初期設定ツールのセットアップ (setupIStool_V***.msi) を起動する。
V*** はバージョンを示します (V110 の場合、Ver.1.10)。
「セキュリティ警告」画面が表示した場合は、**[実行]** をクリックする。
「セットアップウィザード」画面が表示します。



2. **[次へ]** をクリックする。
「ライセンス条項」画面が表示します。



3. **[同意する]** にチェックを入れて **[次へ]** をクリックする。
「インストール フォルダの選択」画面が表示します。

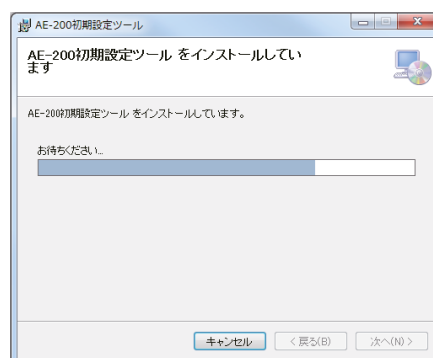
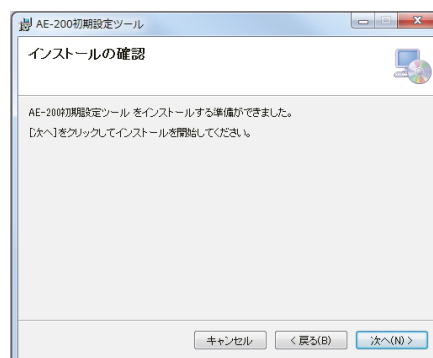
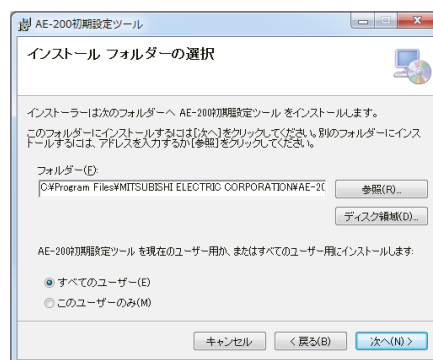


4. 保存先のフォルダを選択して**【次へ】**をクリックする。
「インストールの確認」画面が表示します。

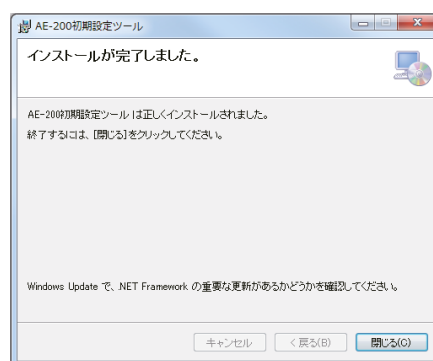
お知らせ

- PCにログインの設定をしていて、全てのユーザーが初期設定ツールを使用する場合は、**【すべてのユーザー】**にチェックが入った状態で**【次へ】**をクリックする。

5. **【次へ】**をクリックする。
初期設定ツールのインストールが開始します。



6. インストールが完了したら、**【閉じる】**をクリックする。



お知らせ

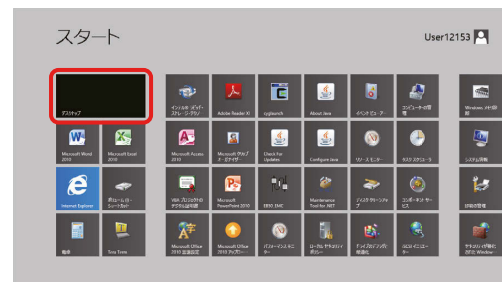
- 初期設定ツールのショートカットアイコンがデスクトップに作成されます。
起動するには、アイコンをダブルクリックしてください。

5-3. パソコンの IP アドレス設定

5-3-1. Windows8.1 の場合

手順

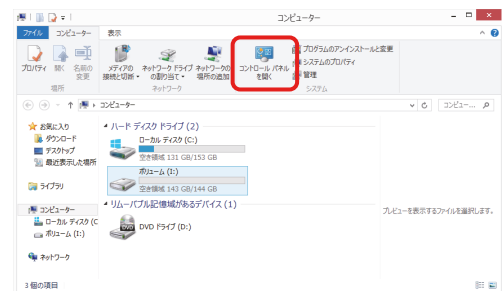
1. スタート画面の [デスクトップ] アイコンをクリックする。
「デスクトップ」画面が表示します。



2. [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする。



3. ツールバーの [コントロール パネルを開く] をクリックする。



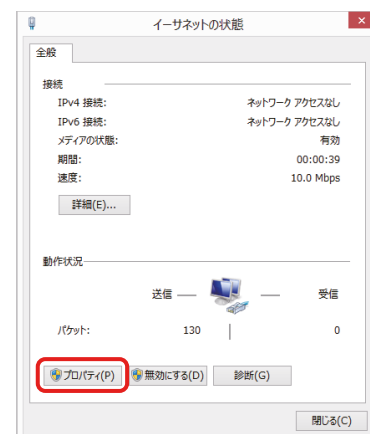
4. [ネットワークと共有センター] アイコンをクリックする。

5. [アダプターの設定の変更] をクリックする。

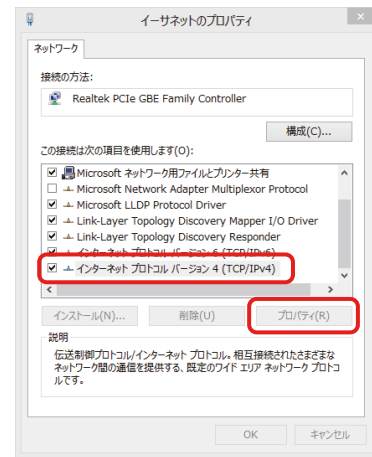


6. [イーサネット] アイコンをダブルクリックする。
「イーサネットの状態」画面が表示します。

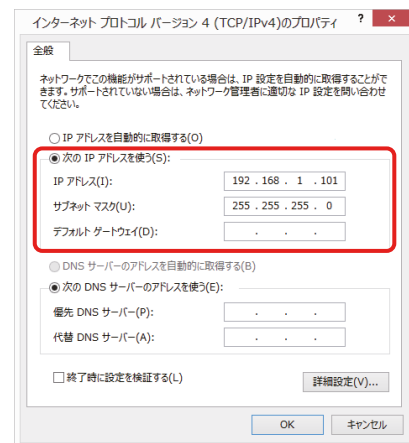
7. [プロパティ] をクリックする。



8. [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IP)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックする。
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が表示します。



9. [次の IP アドレスを使う] を選択する。
10. 「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス (例えば、192.168.1.101) を入力する。
11. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
12. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



お願い

- 設定する IP、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

13. [OK] または [閉じる] をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了する。

5-3-2. Windows10、11 の場合

手順

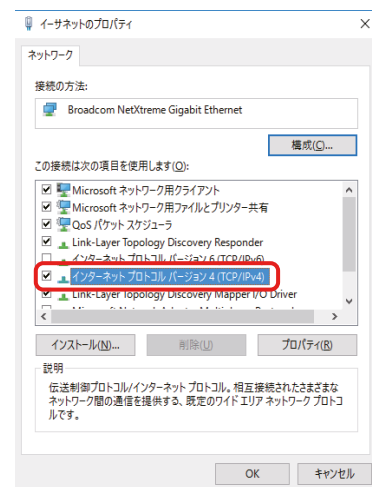
- 検索ボックスで [コントロール パネル] を検索します。
コントロールパネル画面が開きます。
- [ネットワークと共有センター] アイコンをクリックする。
- [アダプターの設定の変更] をクリックする。



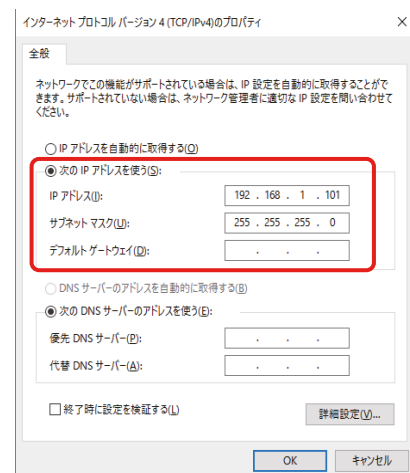
4. [イーサネット]アイコンをダブルクリックする。
「イーサネットの状態」画面が表示します。
5. [プロパティ]をクリックする。



6. [インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IP)] をクリックして選択し、[プロパティ] をクリックする。
「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が表示します。



7. [次の IP アドレスを使う] を選択する。
8. 「IP アドレス」にパソコンの IP アドレス (例: 192.168.1.101) を入力する。
9. 「サブネットマスク」欄に、通常 255.255.255.0 を入力する。
10. 「デフォルトゲートウェイ」欄に、必要に応じてゲートウェイアドレスを入力する。



お願い

- 設定する IP、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスは、システム管理者に確認してください。

11. [OK] または [閉じる] をクリックして、すべての画面を閉じてネットワークの設定を完了する。

5-4. .NET Framework のインストール手順

.NET Framework 4.8 未満の場合は、以下の URL から .NET Framework 4.8 のインストーラーをダウンロードし、インストールしてください。

<https://dotnet.microsoft.com/ja-jp/download/dotnet-framework/net48>

6. 初期設定

6-1. 概要

電力按分課金支援機能 (AE-200 按分) を使用する際には、現地調整業者などによる事前の初期設定と試運転が必要となります。また、運用に際しては、工事店・販売店から説明を受けてからのご使用をお願いします。

※ 工事店・販売店の方へ

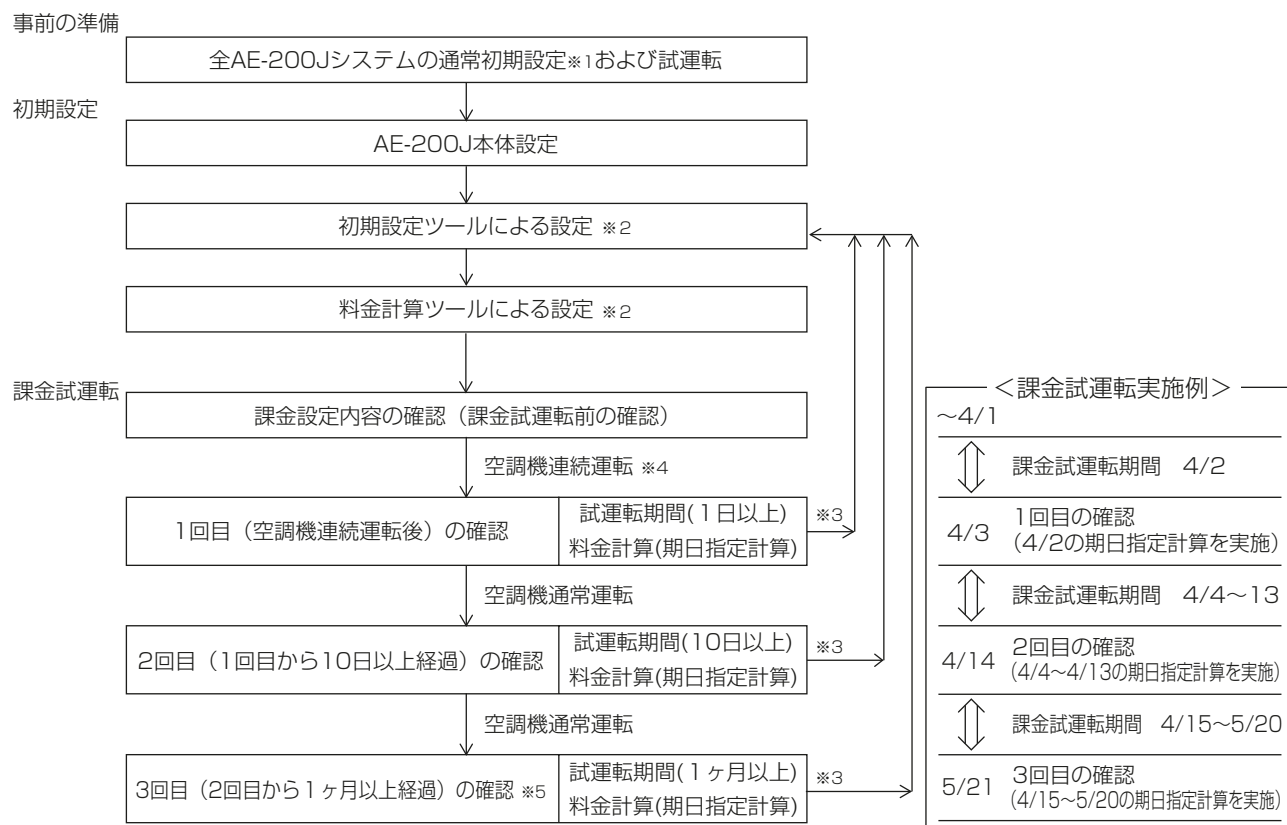
本書の5章⇒6章⇒7章の順番で、ソフトウェア(ツール)のインストール、初期設定および試運転を実施のうえ、運用にあたっては、2章(2-7)についてお客様にご説明をお願いします。

電力按分課金支援機能の初期設定を実施する前に、AE-200J 本体や初期設定ツールで電力按分課金支援機能以外の初期設定と試運転が終了していることを確認してください。

お知らせ

- AE-200J/AE-50J/EW-50JのソフトウェアのバージョンがVer7.20以上で、同一バージョンであることを確認してください。
(ソフトウェアのバージョンアップ方法は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの据付工事説明書を参照してください。)
- 電力按分課金支援機能の対応機種については、「2-5. 電力按分課金支援機能対応機種」を参照してください。
- 電力按分課金支援機能以外の初期設定を含めて一括で実施する場合は、「6-3-2. 初期設定ツールによる初期設定の流れ」を参照してください。
- 課金運用中のシステムに対し、グループ変更、ブロック変更などを行った際は課金算出の誤出力につながる可能性があります。再度課金試運転を行い誤設定がないことを確認しお客様へ引き渡しください。(「7. 課金試運転」を参照してください。) 冷媒系変更・リモコン/室内機追加の際も同様です。

6-1-1. 初期設定と課金の試運転の流れ



- ※1 ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了してください。
- ※2 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。
- ※3 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。
- ※4 各室内ユニットが2時間以上連続運転を実施してください。
- ※5 2回目の課金試運転から1カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目

電力按分課金支援機能ご使用のために以下の設定が必要です。

☆：初期設定ツールを使用するために入力が必要な項目

◎：電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目

○：設定が可能な項目

	設定項目	初期設定 ツール	料金計算 ツール	記載 ページ	AE-200J/AE-50J 本体液晶画面	統合管理 ブラウザ
基本設定	個別ライセンス登録	◎※7		—	○	○
	一括ライセンス登録	◎※7		—		
	ユニット情報	○※3		59	◎※3	
	ネットワーク設定	○※9		—	○	
	接続構成設定	☆		73		
	基本システム設定	○※3		74	○※3	
ユニット 設定	グループ設定	◎		83	○	
	冷媒系設定	◎		85		
	連動ロスナイ設定	○		86	○	
	操作ブロック設定	◎		87	○	
	エネルギー管理ブロック設定	◎		88	◎	
	計量 MC 設定	◎		90	○	
	環境 MC 設定	○		91	○	
機能設定	メール設定			—		○※9
	ピークカット制御※1			—	○	○※9
	ET 制御※2			—	○	○※9
	高顕熱制御※1	○※8		—	○	
	アドバンストパワーセーブ※2			—	○	○※9
	サーモOFF時送風設定※2			—	○	○※9
	連動制御※1	○※4		—	○	
	エネルギー管理設定	○※9		—	○	
	外気温連動制御			—	○	○※9
	セットバック			—	○	○※9
	24時間換気			—	○	○※9
	ナイトパージ			—	○	○※9
	設定温度範囲制限			—		○※9
	ナイトモードスケジュール			—		○※9
フロア設定	オートチェンジオーバー	○※9		—		
	フロア階層設定	○※5		—	○	
	フロアレイアウト設定	○※5		—	○	
	統合管理ブラウザ用フロア階層設定	○※5		—		
課金設定	統合管理ブラウザ用フロアレイアウト設定	○※5		—		
	課金設定	◎		94		
	室外機設定	◎		97		
	室内機設定	◎		98		
	計量設定	◎		100		
料金計算 詳細設定	料金設定	◎		102		
	計量計接続		◎			
	待機電力量の料金計算		◎	39		
	通貨単位		◎			
	料金計算結果の表示順位		◎	40		
	同一名称のエネルギー管理ブロック統合		◎			
	CSV ファイルの小数点記号		◎	41		
	CSV ファイルの区切り記号		◎			
	料金単価設定		◎	42		
	印刷設定		◎			
	CSV 出力設定		◎	30		
	精算日設定		◎	31		
	IP アドレス設定		◎	32		

※ 6

※1 別途、ライセンス登録が必要です。

※2 集中コントローラ Ver.7.4 未満の場合、別途 E 制御ライセンス登録が必要です。

※3 設定できる項目が異なります。

※4 本設定は集中コントローラ Ver.7.50 以降、初期設定ツール Ver.1.30 以降の場合のみ設定可能です。

※5 本設定は集中コントローラ Ver.7.30 以降、初期設定ツール Ver.1.10 以降の場合のみ設定可能です。

※6 本書では設定方法などの記載はありません。詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

※7 本設定は初期設定ツール Ver.1.40 以降の場合のみ設定可能です。

※8 本設定は集中コントローラ Ver.7.60 以降、初期設定ツール Ver.1.40 以降の場合のみ設定可能です。

※9 本設定は集中コントローラ Ver.7.70 以降、初期設定ツール Ver.1.60 以降の場合のみ設定可能です。

6-2. 課金用 AE-200J 本体による設定



※1 ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了してください。

※2 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。

※3 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。

※4 各室内ユニットが2時間以上連続運転を実施してください。

※5 2回目の課金試運転から1カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

6-2-1. AE-200J 本体による設定項目

○：設定が可能な項目

設定項目		初期設定 ツール	料金計算 ツール	記載ページ	AE-200J/AE-50J 本体液晶画面	統合管理 ブラウザ
基本設定	個別ライセンス登録	○		—	○	○
	一括ライセンス登録	○※1		—		
	ユニット情報	○※2		59	○※2	

※1 ライセンス CSV ファイルを用いて一括ライセンスの登録ができます。


詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

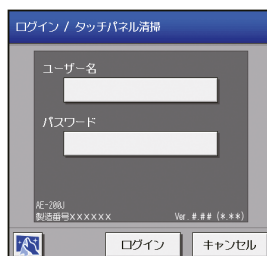
※2 設定できる項目が異なります。

6-2-2. AE-200J 本体設定

AE-200J 本体の設定項目は以下のとおりです。

手順

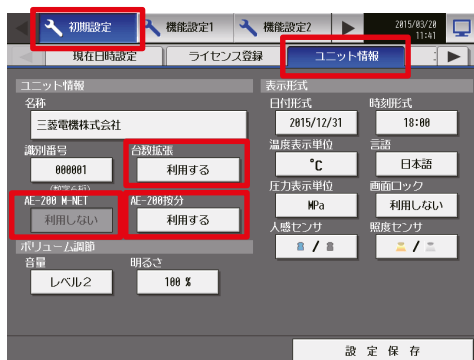
- 画面右上の[]をタッチする。
ログイン画面が表示します。
- ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をタッチする。



- [初期設定] - [ライセンス登録] をタッチする。

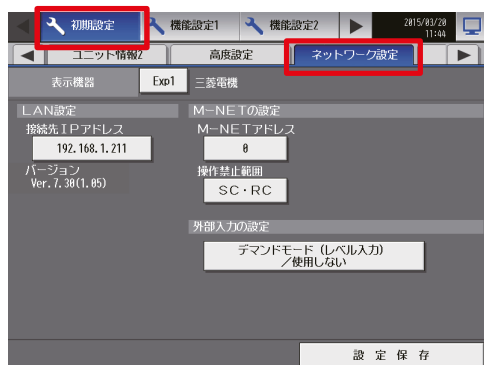


- 「オプション機能の選択」をタッチする。
[(1) 電力按分課金支援]が表示します。
- 「ライセンス番号の登録」でライセンス番号を入力し、下部の[ライセンス登録]をタッチする。
- [初期設定]の[ユニット情報]をタッチする。



- 「台数拡張」を[利用する]に選択する。
- 「AE-200 按分」を[利用する]に選択する。
- 「AE-200 M-NET」を[利用しない]に選択する。
- [設定保存]をタッチする。

11. [初期設定] - [ネットワーク設定] をタッチする。



12. [表示機器] をタッチして、各 [Exp1]～[Exp4] に対して、「LAN設定」の「接続IPアドレス」を入力し、[設定保存] をタッチする。

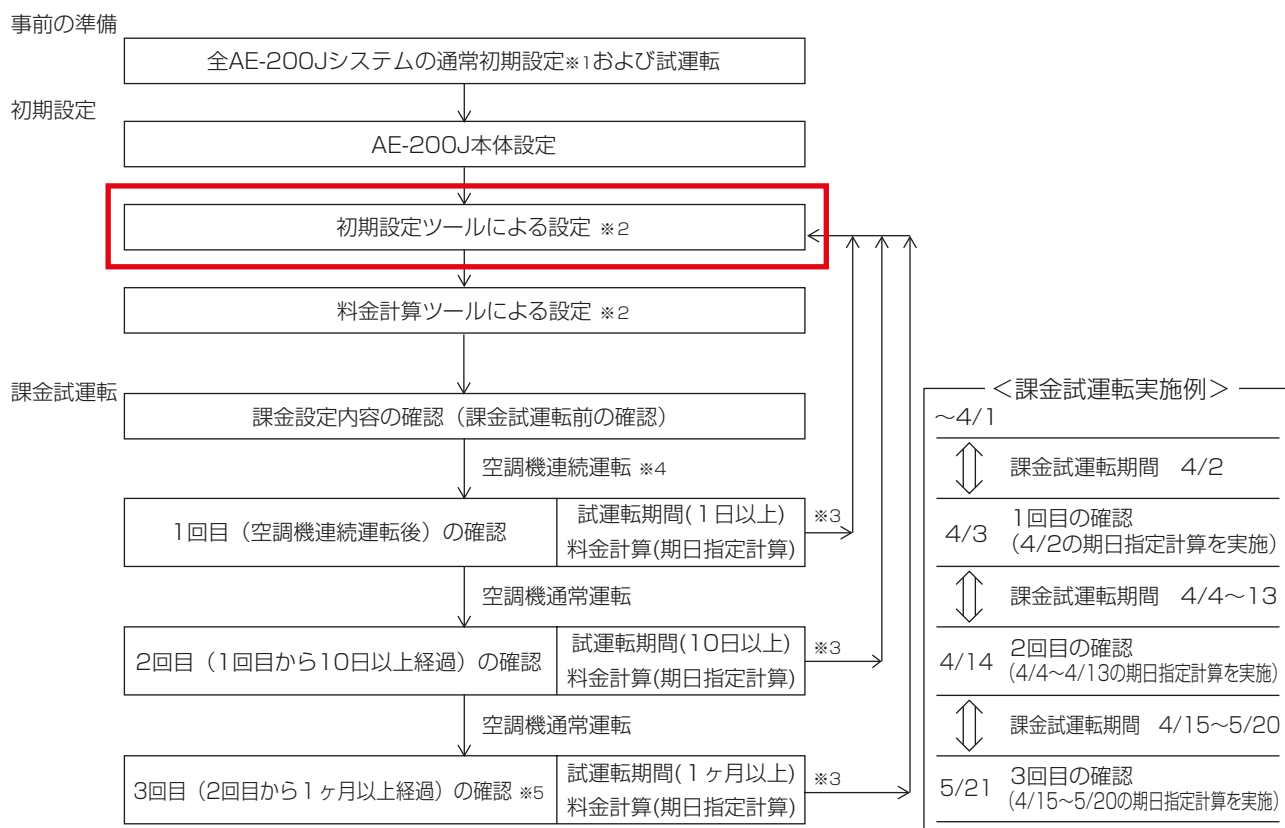
13. [初期設定] - [ライセンス登録] をタッチする。

14. [表示機器] をタッチして各 [Exp1]～[Exp4] に対して、手順4、5と同様にライセンスを登録する。

お知らせ

- ・保守ユーザーの初期値は「ユーザー名：initial」「パスワード：init」です。
- ・AE-200J/AE-50J/EW-50Jごとにライセンスの登録が必要です。
- ・TG-2000で電力按分課金支援機能を使用する場合は、「AE-200按分」は[利用しない]を選択してください。
- ・「AE-200按分」を[利用する]を選択した場合は、「AE-200 M-NET」で[利用する]を選択していた場合でも、自動的に[利用しない]となります。

6-3. 初期設定ツールによる設定



- ※1 ユニット設定、ネットワーク設定、ライセンス登録、グループ設定、ブロック設定、計測設定などを完了してください。
- ※2 初期設定ツールおよび料金計算ツールによる設定項目は「6-1-2. 電力按分課金支援に必要な初期設定項目」を参照してください。
- ※3 課金試運転時に設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施してください。
- ※4 各室内ユニットが2時間以上連続運転を実施してください。
- ※5 2回目の課金試運転から1カ月以上経過後の精算日の翌日に実施してください。

6-3-1. 設定項目

☆：初期設定ツールを使用するために入力が必要な項目

◎：電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目

○：設定が可能な項目

設定項目		初期設定 ツール	料金計算 ツール	記載ページ	備考	
					AE-200J/AE-50J 本体液晶画面	総合管理 ブラウザ
基本設定	個別ライセンス登録	○		—	○	○
	一括ライセンス登録	○※1		—		
	ユニット情報	○※2		59	◎※2	
	ネットワーク設定	○		—	○	
	接続構成設定	☆		73		
	基本システム設定	○※2		74	○※2	
ユニット設定	グループ設定	○		83	○	
	冷媒系設定	◎		85		
	連動ロスナイ設定	○		86	○	
	操作ブロック設定	○		87	○	
	エネルギー管理ブロック設定	◎		88	◎	
	計量 MC 設定	◎		90	○	
	環境 MC 設定	○		91	○	

※1 ライセンス CSV ファイルを用いて一括ライセンスの登録ができます。

詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

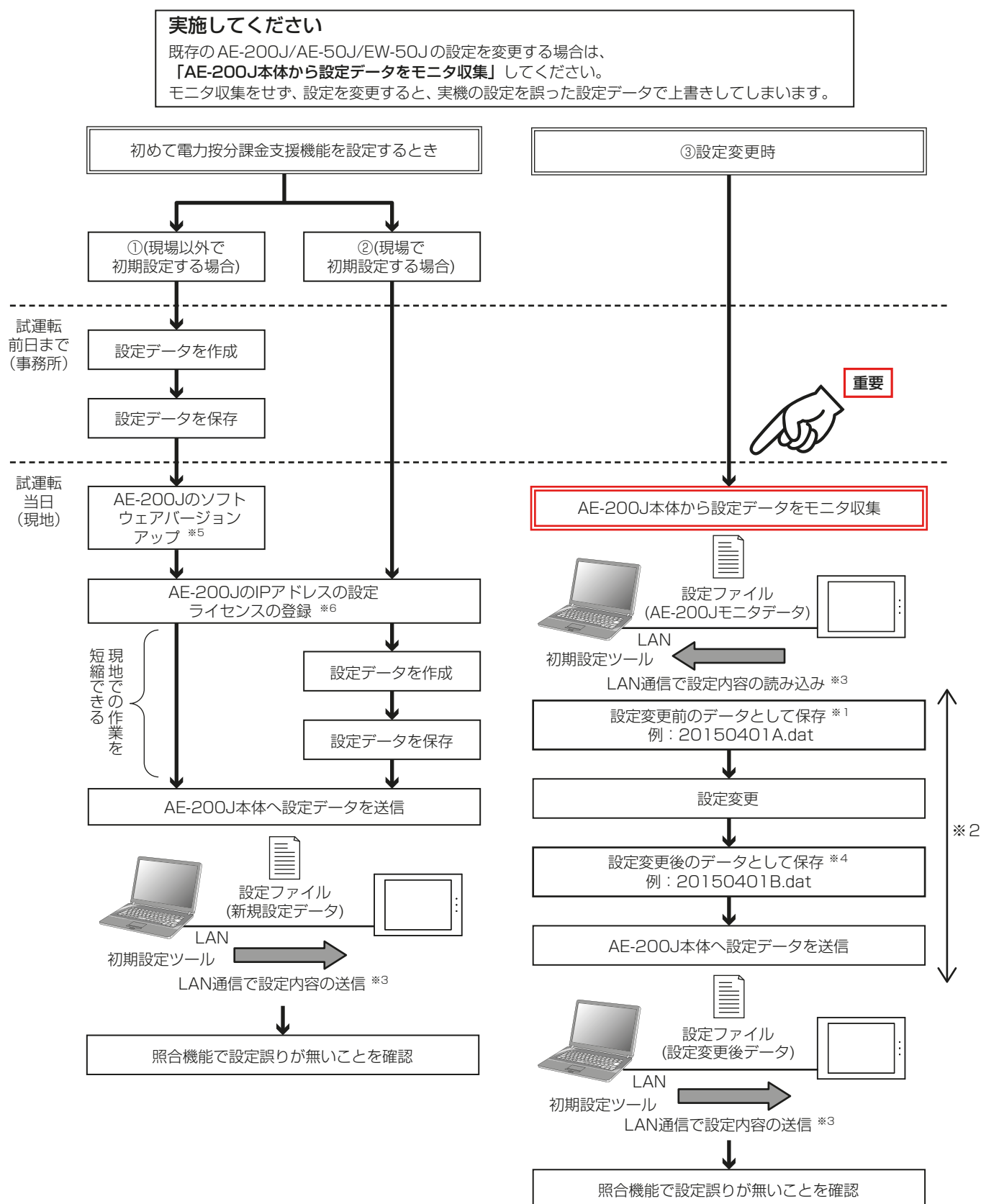
※2 設定できる項目が異なります。



6-3-2. 初期設定ツールによる初期設定の流れ

電力按分課金支援機能の初期設定は、③以降の手順を実施してください。

下記フロー①のように事前に事務所などで設定データを作成し、試運転当日、集中コントローラに送信することができます。設定変更時はフロー③のようにAE-200J本体から設定データをモニタ収集してから変更作業を行ってください。



- ※1 既存のAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定を変更する場合は、変更前の設定ファイル（AE-200J モニタデータ）を保存してください。
- ※2 初期設定ツールにて設定データを読み込み、設定変更を行ったあと、設定変更内容の送信が完了するまでAE-200J本体やWeb ブラウザからの設定変更はしないでください。
- ※3 初期設定ツールで作成した設定データはUSB メモリによるAE-200Jへの読み込み・書き込みはできません。
- ※4 初期設定ツールで設定した設定ファイル（設定変更前データと設定変更後データ）は大切に保管してください。
- ※5 AE-200J/AE-50J/EW-50Jのソフトウェアアップデートの手順は、「AE-200J/AE-50J 据付工事説明書」または、「EW-50J 据付工事説明書」を参照してください。
- ※6 AE-200J/AE-50J/EW-50JのIP アドレスの設定およびライセンスの登録手順は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

6-4. 初期設定ツールの概要

初期設定ツールの各設定画面で共通の操作方法を説明します。

6-4-1. ツールの起動



AE-200 初期設定ツール

初期設定ツールを起動すると、以下の画面が表示します。



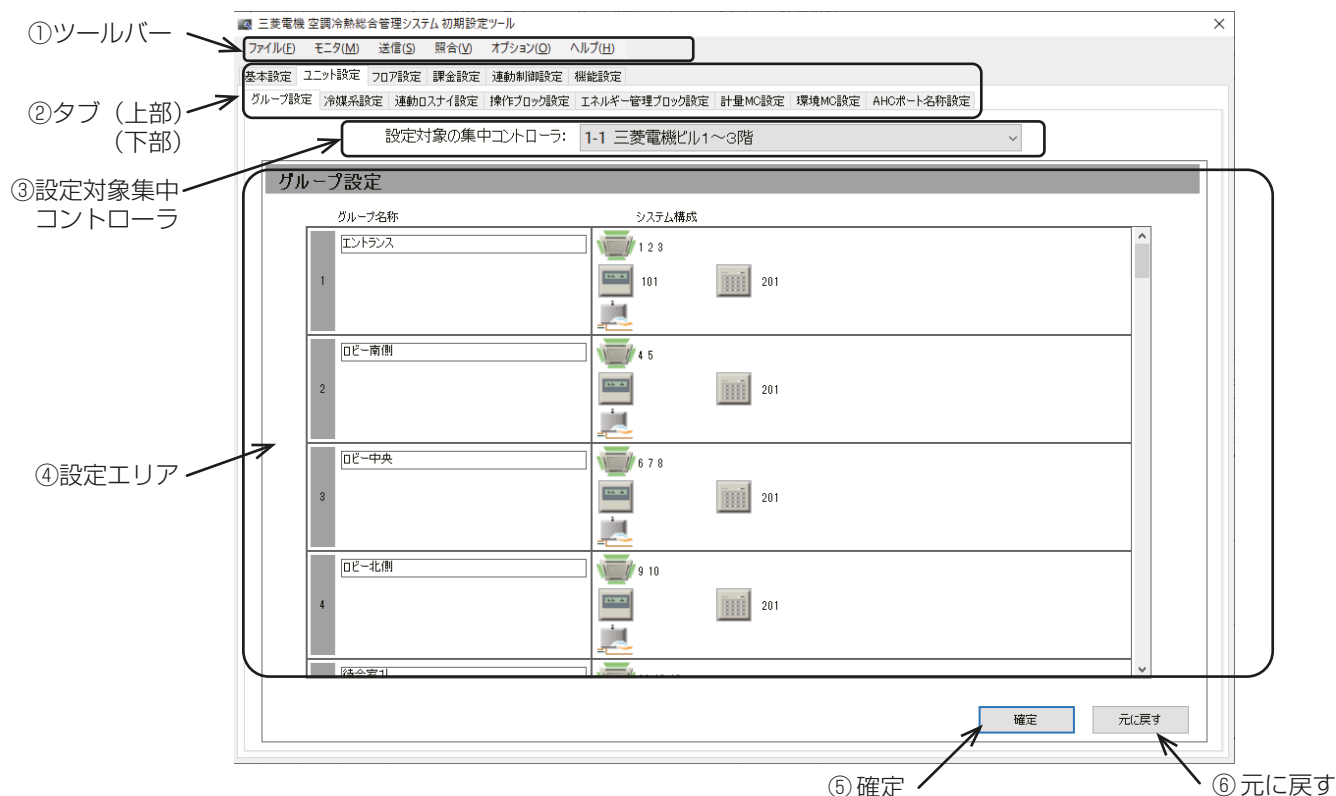
【**新規作成**】をクリックするとすべての設定が未設定の状態が表示します。

【**開く**】をクリックすると、「開く」画面が表示し、事前に作成していたパソコンに保存済みの設定ファイル（ファイル名.dat）を選択して、読み込むことができます。読み込み後、設定ファイルの内容を反映した状態で設定画面が表示します。

お知らせ

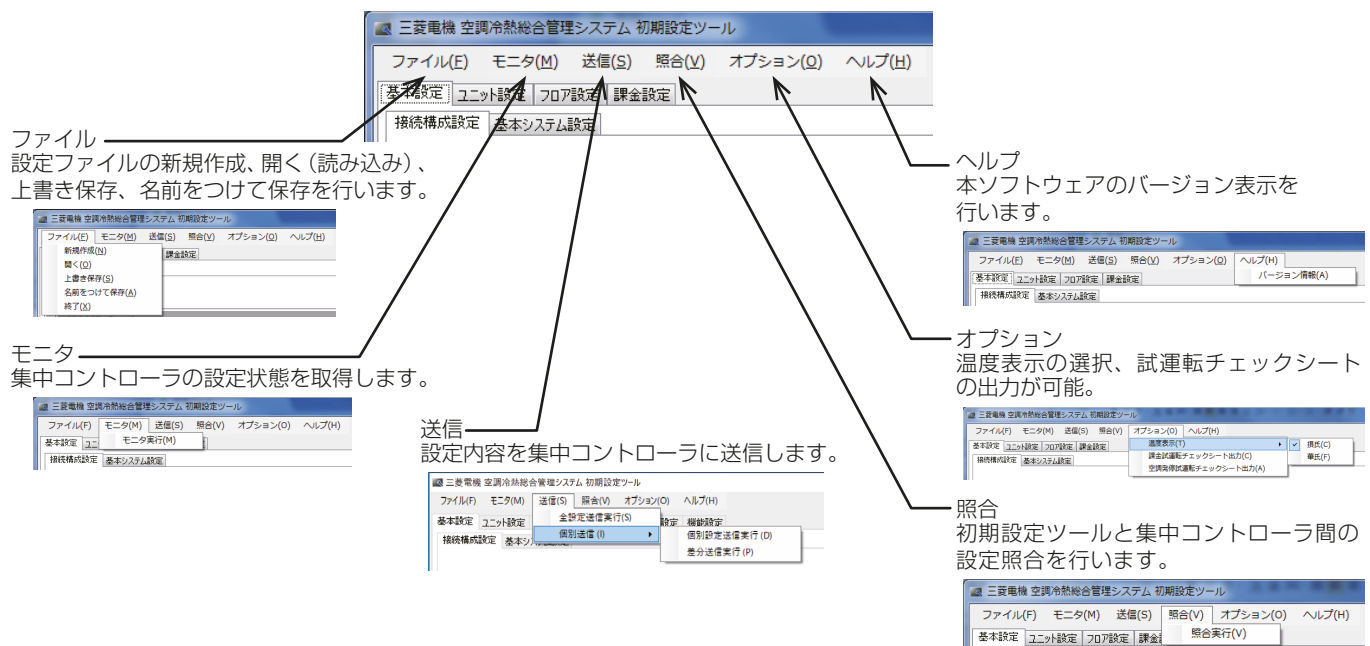
- ・【**開く**】をクリックした場合、初回は「ライブラリ」－「ドキュメント」フォルダを選択します。初期設定ツールを使って保存したファイルを選択してください。

6-4-2. 画面構成・共通項目



	機能	操作方法	説明
①	ツールバー	設定ファイルの新規作成、保存、読み込み、送信、集中コントローラからの設定状態のモニタなどが行えます。	「6-4-3. ツールバーの操作一覧」を参照
②	タブ	タブをクリックすることで各設定画面を切替えます。 上部のタブを切替えると、下部のタブが表示しますので、設定するタブをクリックします。	設定する「タブ」をクリックすると、設定画面が表示します。設定内容入力後は、 [確定] をクリックします。
③	設定対象集中コントローラ	接続構成設定された集中コントローラのうち設定を行う対象を選択します。 集中コントローラごとに設定が必要です。	設定画面によっては表示しない画面もあります。
④	設定エリア	各設定を行うエリアです。	設定方法は、「6-5. 基本設定」、「6-6. ユニット設定」、「6-7. 課金設定」を参照してください。
⑤	確定	クリックすることで、設定内容を初期設定ツール内に保持します。	[確定] をクリックした段階では、設定内容をAE-200J/AE-50J/EW-50Jに送信しません。全ての設定後、ツールバーから [設定内容送信実行] を行い、AE-200J/AE-50J/EW-50Jに設定内容を送信してください。詳細は、「6-4-3.[5] 設定の送信」を参照してください。また、確定しても、設定ファイルはまだ保存していません。設定ファイルを保存するには、ツールバーの [ファイル] - [上書き保存] 、または [名前を付けて保存] をクリックしてください。
⑥	元に戻す	クリックすることで、設定内容を破棄し、元の設定内容に戻します。	—

6-4-3. ツールバーの操作一覧



[1] 設定ファイルの新規作成

「設定ファイル」を新規作成することができます。ツールバーの[ファイル]－[新規作成]をクリックしてください。

[2] 設定ファイルを開く

パソコンに保存している「設定ファイル」を読み込むことができます。ツールバーの[ファイル]－[開く]をクリックしてください。

[3] 設定ファイルの保存

「設定ファイル」をパソコンへ保存することができます。ツールバーの[ファイル]－[上書き保存]または[名前を付けて保存]をクリックしてください。

お知らせ

- ・ 設定後は、設定ファイルを保存し、大切に保管してください。
- ・ 設定ファイルはAE-200J/AE-50J/EW-50Jに保存されません。

[4] モニタ

AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定内容を初期設定ツールに読み込むことができます。

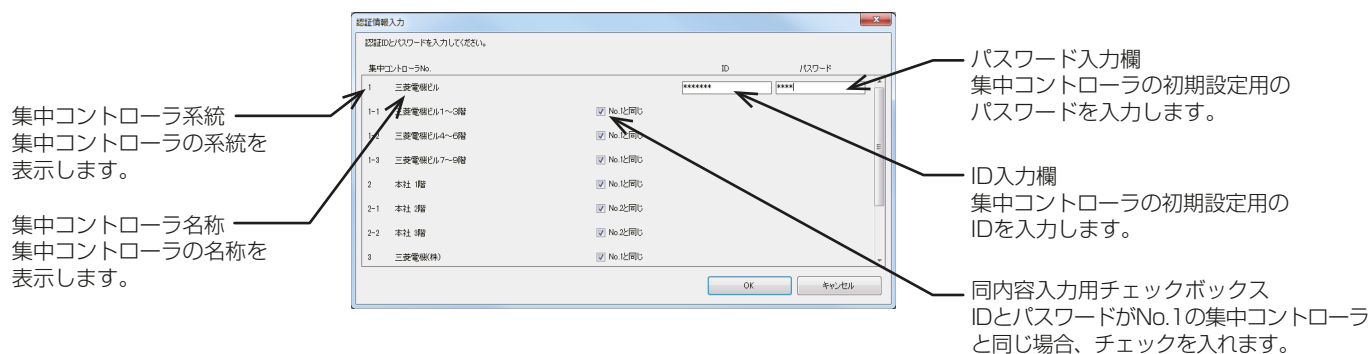
お知らせ

- ・ AE-200J/AE-50J/EW-50J に対して設定変更を行う場合は、最初に[モニタ]を実施してください。

手順

1. [基本設定]－[接続構成設定]でモニタするAE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを入力し、下部にある[確定]をクリックする。(「6-5-1. 接続構成設定」を参照してください。)
2. ツールバーの[モニタ]－[モニタ実行]をクリックする。

3. 設定内容を変更している場合は、保存の「確認」画面が表示しますので、**[はい]**を選択する。
「認証情報入力」画面が表示します。



4. モニタを実行する集中コントローラのメンテナンスユーザのIDとパスワードを入力する。
IDとパスワードがNo.1の集中コントローラと同じ場合、「No.1と同じ」チェックボックスにチェックを入れてください。
5. **[OK]**をクリックする。
集中コントローラに対して設定状態のモニタを実行し、初期設定ツール上に現在の設定内容を反映します。

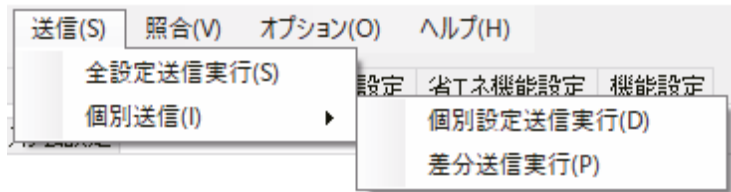
お知らせ

- モニタが失敗した場合、「接続構成設定」で登録している集中コントローラの設定状態は、初期設定ツール上の設定内容に反映しません。
「6-5-1. 接続構成設定」を参照してください。

[5] 設定の送信

設定を送信します。

送信する際に下記3パターンあります。



(1) 初回の設定の場合

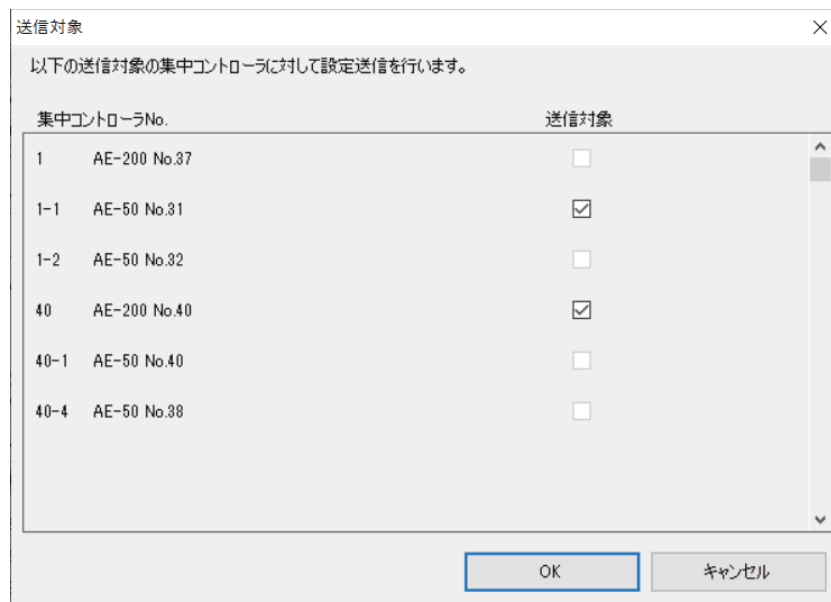
ツールバーの[送信] - [全設定送信実行]をクリックします。

(2) ユニットの増設もしくは故障などによる集中コントローラの入替の場合

ツールバーの[送信] - [個別送信] - [個別設定送信実行]をクリックします。

(3) 上記以外の場合

ツールバーの[送信] - [個別送信] - [差分送信実行]をクリックします。



(1)の場合は全集中コントローラに設定が送信されます。

(2)(3)の場合は集中コントローラに設定をモニタし送信対象の集中コントローラが表示されます。(送信対象は選べません。)

[OK]をクリックすると設定変更がある集中コントローラに設定が送信されます。

お知らせ

- ・「接続構成設定」で設定した全集中コントローラのIPアドレスに対して設定データを一括で送信します。
- ・送信前に設定が必要な全ての項目が入力、設定されていることを確認してください。
設定されていない項目は全て未設定として集中コントローラに送信されます。
- ・設定変更する場合は、一度モニタし収集した設定を保存してから、設定変更を行なった上で設定データを送信してください。

[6] 照合

初期設定ツールと集中コントローラの間に課金機能に関する設定の相違が無いかを確認することができます。設定送信実行後、集中コントローラに正しく設定しているかを確認する際に、本機能を使用することを推奨します。

「8. 照合」を参照してください。

[7] 温度表示の変更

ツールバーの[オプション]－[温度表示]で初期設定ツールの温度表示を摂氏(℃)または華氏(℉)から選択できます。

お知らせ

- ・ 摂氏/華氏の切り替えは、初期設定ツールで表示する単位の切り替えであり、集中コントローラごとで用いる単位の設定ではありません。集中コントローラの表示単位を切り替えるには、[基本設定]－[基本システム設定]の「温度表示単位」にて設定してください。

[8] 課金試運転チェックシート出力

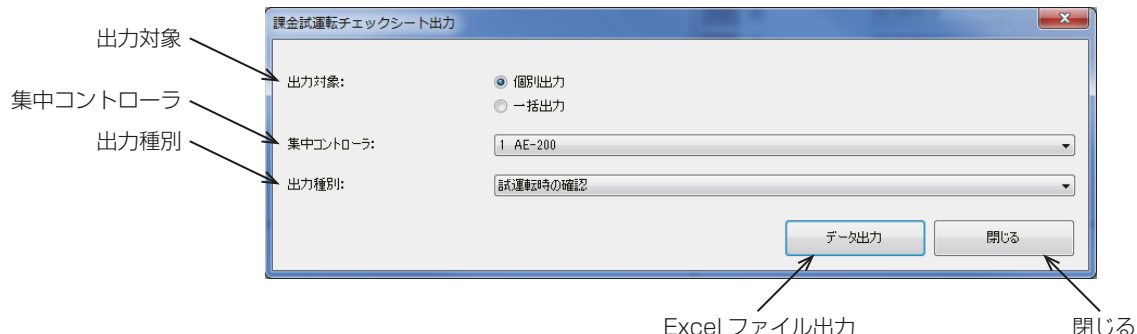
課金試運転に用いるチェックシートを出力します。

お知らせ

- ・ パソコンにMicrosoft® Excel®をインストールする必要があります。
- ・ チェックシートは初期設定ツールの設定内容に基づいて出力します。
AE-200J/AE-50J/EW-50Jと初期設定ツールの設定が異なっている場合は、正しく課金試運転できないため、「[5] 設定の送信」を行ってから課金試運転を開始してください。

手順

1. ツールバーの[オプション]－[課金試運転チェックシート出力]をクリックする。



2. 「集中コントローラ」のプルダウン(▼)をクリックして、出力する集中コントローラの番号を選択する。

お知らせ

- ・ 集中コントローラの番号は「6-5-1. 接続構成設定」で設定した番号です。
- ・ 一括で全集中コントローラ分かつ全出力種別分を出力する場合は、「出力対象」の[一括出力]をクリックしてください。

3. 「出力種別」のプルダウン(▼)をクリックして、1回目の試運転は[試運転時の確認]を選択する。2回目の試運転は[10日後の確認]を選択する。3回目の試運転は[精算日の翌日の確認]を選択する。

4. [データ出力]をクリックする。

5. ファイル名と保存先を設定して[保存]をクリックする。([一括出力]の場合は、保存先のみ設定できます。)

お知らせ

- ・ チェックシートの内容については、「7. 課金試運転」を参照してください。

[9] 空調発停試運転チェックシート出力

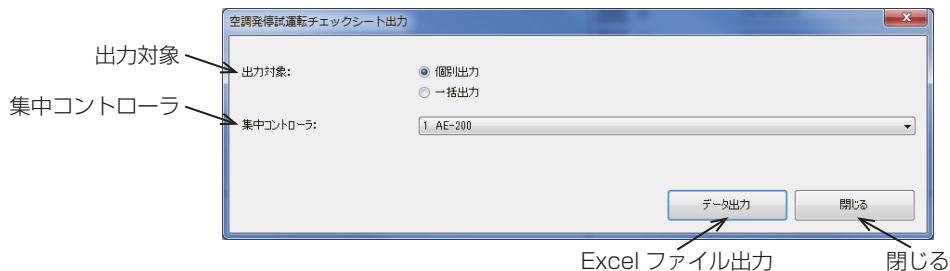
空調発停試運転に用いるチェックシートを出力します。

お知らせ

- ・パソコンにMicrosoft® Excel® をインストールする必要があります。
- ・チェックシートは初期設定ツールの設定内容に基づいて出力します。
AE-200J/AE-50J/EW-50Jと初期設定ツールの設定が異なっている場合は正しく空調発停試運転ができないため、「[5] 設定の送信」を行ってから空調発停試運転を開始してください。

手順

1. ツールバーの[オプション] – [空調発停試運転チェックシート出力]をクリックする。



2. 「集中コントローラ」のプルダウン (▼) をクリックして、出力する集中コントローラの番号を選択する。

お知らせ

- ・集中コントローラの番号は「6-5-1. 接続構成設定」で設定した番号です。
- ・一括で全集中コントローラ分を出力する場合は、「出力対象」の[一括出力]をクリックしてください。

3. [データ出力] をクリックする。

4. ファイル名と保存先を設定して[保存] をクリックする。([一括出力]の場合は、保存先のみ設定できます。)

お知らせ

- ・チェックシートの内容については、「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
- ・初期設定ツールのパソコンと集中コントローラをLAN接続していると、ライセンス登録状況をチェックシートに出力することができます。

[10] ライセンス登録

各集中コントローラに対して、ライセンス登録を行うことができます。

個別にライセンス登録する機能とライセンスCSVファイルを用いて一括登録する機能があります。

詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

[11] ヘルプ

ツールバーの[ヘルプ] – [バージョン情報] をクリックすると、お使いの初期設定ツールのバージョン情報が表示します。



[12] 終了

初期設定ツールを終了します。

6-4-4. ユニットアドレス選択画面

グループ設定画面などで表示する、ユニットアドレス選択画面、グループ登録画面では、選択可能なユニットアドレス、グループが表示します。

クリックすると選択状態（背景が黄緑色）になります。選択を取り消す場合は、再度クリックすることで非選択状態（背景が薄灰色）になります。[OK] をクリックすると選択を完了し画面が閉じます。[キャンセル] で選択をキャンセルして画面が閉じます。既に登録されているアドレス、グループは、背景が灰色となり、選択できません。

グループ設定画面で表示されるユニットアドレス選択画面では、アイコンを変更できます。アイコンを変更するには、アイコン選択をクリックし、グループアイコンの選択画面で選択します。選択したアイコンは、AE-200J/AE-50Jの液晶画面、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの統合管理ブラウザ上に表示します。

汎用機器以外のグループの場合

汎用機器グループの場合

アイコン選択

システムコントローラの場合

リモコンの場合

ブロック設定の場合(連動ロスナイ設定も同様)

冷媒系設定(室内機)、環境MC設定の場合

冷媒系設定(室外機)の場合

エネルギー管理ブロック設定の場合

計量MC設定の場合

計量設定の場合

6-4-5. その他

- ・ 基本システム設定の名称は最大 40 文字（全角 / 半角）まで入力できます。
その他の設定画面の名称は、最大 20 文字（全角 / 半角）まで入力できます。
- ・ 名称の設定では、次の文字は使用できません。 < > & ” ‘（半角）

6-4-6. 初期設定ツールの準備と流れ

AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定変更を行う場合（初期設定済みのシステムに対して）は、最初に初期設定ツールで設定状態のモニタを実施し、以下の手順に従って実施してください。手順が異なると正常に設定できない場合があります。

手順

1. パソコン（初期設定ツール）と AE-200J/AE-50J/EW-50J を LAN で接続する。
2. 初期設定ツールを立ち上げる。
3. **[新規作成]** または **[開く]** をクリックする。
パソコンに保存している設定データを読み込む場合は、**[開く]** を選択してください。
それ以外は **[新規作成]** を選択してください。
4. **[基本設定]** – **[接続構成設定]** で、AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを登録する。
詳細は「6-5-1. 接続構成設定」を参照してください。
5. ツールバーの **[モニタ]** – **[モニタ実行]** をクリックして、AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定情報を初期設定ツールに読み込む。
※ ID とパスワードは AE-200J/AE-50J/EW-50J の保守ユーザーの ID とパスワードを入力してください。
6. ツールバーの **[ファイル]** – **[名前をつけて保存]** をクリックする。
設定変更前の初期設定データをパソコンに保存します。

お知らせ

- ・ 設定変更前のデータとして、バックアップのために「日付+変更前」などのファイル名で保存してください。
- ・ この段階では AE-200J/AE-50J/EW-50J には設定送信していません。

7. 初期設定の変更を行う。
「6-5. 基本設定」、「6-6. ユニット設定」、「6-7. 課金設定」を参照してください。
8. ツールバーの **[ファイル]** – **[名前をつけて保存]** をクリックする。
設定変更後の初期設定データをパソコンに保存します。

お知らせ

- ・ 設定変更前のファイル名と別ファイル名「日付+変更後」などのファイル名で保存してください。
- ・ この段階では AE-200J/AE-50J/EW-50J には設定送信していません。

9. ツールバーの **[送信]** – **[全設定送信実行]** をクリックする。
接続構成設定で登録している AE-200J/AE-50J/EW-50J の設定データを上書きします。

6-5. 基本設定

6-5-1. 接続構成設定

集中コントローラと拡張コントローラの接続構成を初期設定ツールに登録します。

[基本設定] - [接続構成設定] をクリックして接続構成設定画面を表示します。

お知らせ

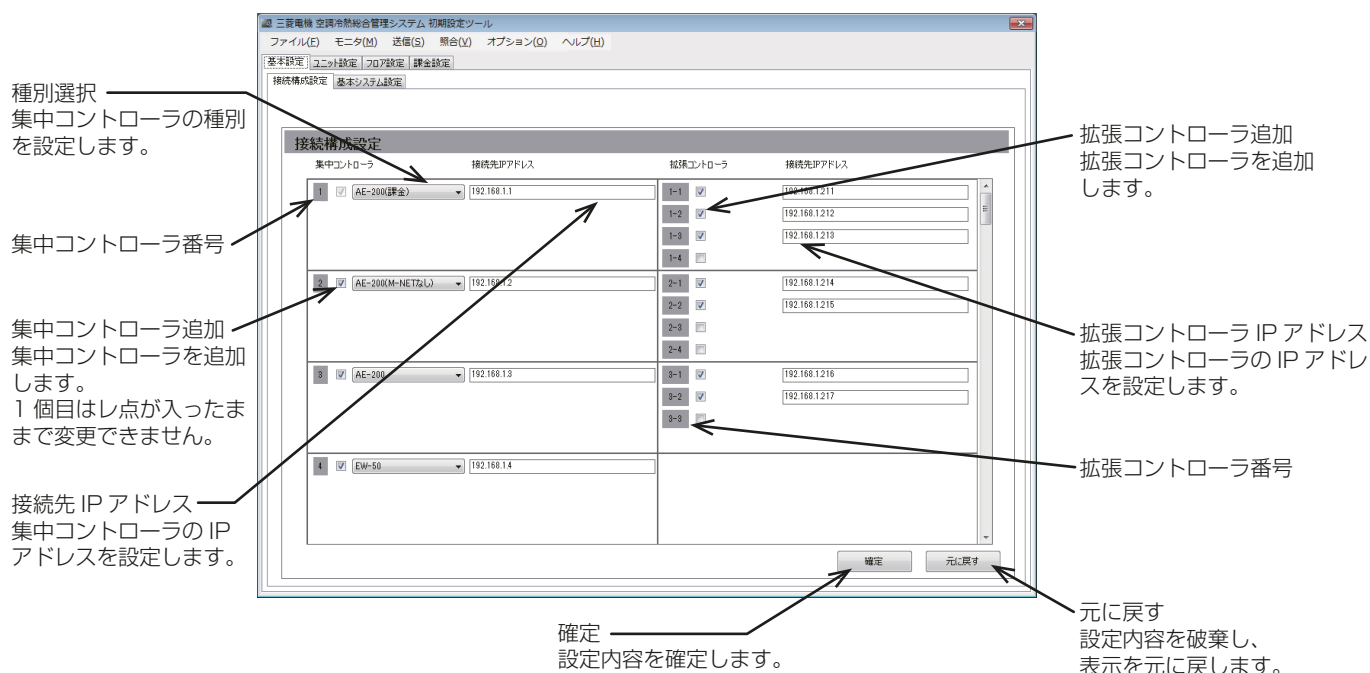
- 集中コントローラを最大 40 台まで接続設定することができます。
[AE-200 (課金)]、[AE-200 (M-NETなし)] に設定された AE-200J は 40 台に含まれません。
- 拡張コントローラの接続先 IP アドレスは、事前に AE-200J にて設定が必要です。
AE-200J 本体の設定については、「6-2-2. AE-200J 本体設定」を参照してください。

手順

- 「種別選択」のプルダウン (▼) をクリックし、[AE-200 (課金)] を選択する。
- 「接続先 IP アドレス」に AE-200J の IP アドレスを入力する。
- 「拡張コントローラ追加」のチェックボックスをクリックする。
- 「拡張コントローラ IP アドレス」に拡張コントローラの数に応じて AE-50J/EW-50J の IP アドレスを入力する。
- AE-200J が複数台ある場合は、「集中コントローラ追加」のチェックボックスをクリックして、手順 1～4 を設定する。
- 設定完了後、[確定] をクリックする。

お知らせ

- 集中コントローラの「種別選択」にて選択した集中コントローラ種別により設定可能な項目が異なります。
- AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスは本設定画面で変更することはできません。
AE-200J/AE-50J/EW-50J の IP アドレスを設定する場合は初期設定ツール (基本システム設定画面)、本体液晶画面 (AE-200J/AE-50J) で設定してください。
- 集中コントローラ番号と拡張コントローラ番号は統合管理ブラウザの名称表示に使用します。取扱説明書「統合管理ブラウザ操作編」を参照してください。



6-5-2. 基本システム設定

[基本設定] - [基本システム設定] をクリックして基本システム設定画面を表示します。ここでは集中コントローラごとに本体の設定、M-NET 設定などの設定を行います。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち基本システム設定を行う対象を選択します。

本体の設定
集中コントローラの名称と識別番号の設定、製造番号とソフトウェアバージョンを取得します。

CSV ファイルの区切り記号・小数点記号
集中コントローラから出力する CSV ファイルのフォーマットを設定します。

表示の設定
集中コントローラと Web ブラウザの画面表示項目を設定します。

M-NET の設定
M-NET アドレスと操作禁止範囲を設定します。

外部入出力の設定
集中コントローラの外部信号入出力モードを設定します。

高度な設定
高度な設定を行う画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

[1] 本体の設定

「本体の設定」で AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号を設定します。

[取得] をクリックすると、「設定対象の集中コントローラ」で選択した AE-200J/AE-50J/EW-50J と通信を行い、製造番号とソフトウェアバージョンを表示することができます。

手順

1. 「名称」に最大 40 文字（全角／半角）でユニット名称を入力する。
入力した名称は、異常メール通報および警告メールの送信者名として使用します。
2. 「識別番号」に 6 桁の数字で識別番号を入力する。
集中コントローラを別番号で管理する場合に使用します。

お知らせ

- ・「設定対象の集中コントローラ」で選択可能な集中コントローラごとに、名称、識別番号を設定することができます。
- ・「設定対象の集中コントローラ」に設定した名称が表示します。
- ・識別番号は、異常メールおよび警告メールの送信者識別番号として使用します。
- ・ソフトウェアアップデートを行った場合は、「ソフトウェアバージョン」の####(****)とアップデートファイル(AEExx_FW####_****.dat)の####が同一になっていることを確認してください。
例) ソフトウェアバージョンが 7.70(1.07)=アップデートファイル 0770_0107

[2] ネットワークの設定

「ネットワークの設定」は、AE-200J/AE-50J/EW-50Jを専用LANに接続するか既設LANに接続するかによって異なります。[ネットワーク設定]をクリックして、ネットワーク設定画面を開きます。

下節を参照してAE-200J/AE-50J/EW-50JのIP、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定してください。

[取得]をクリックすると、「設定対象の集中コントローラ」で選択されたAE-200J/AE-50J/EW-50Jと通信を行い、現在のネットワーク設定を表示することができます。

[設定]をクリックすると、ネットワーク設定を「設定対象の集中コントローラ」に反映します。

お知らせ

- 「LAN2 設定」は、BACnet® 機能専用です。BACnet® 機能の設定については、AE-200J/AE-50J/EW-50J取扱説明書 BACnet® 機能編を参照してください。ただし、LAN2のIPアドレスの初期値は"192.168.2.1"になっていますので、「LAN1 設定」のIPアドレスを"192.168.2.1"にする必要がある場合のみ、LAN2のIPアドレスをLAN1と重複しないように変更してください。
- AE-200JのIPアドレスを変更した際には、AE-50J/EW-50Jも再起動されます。

(1) AE-200J/AE-50J/EW-50Jを専用LANに接続する場合の設定

手順

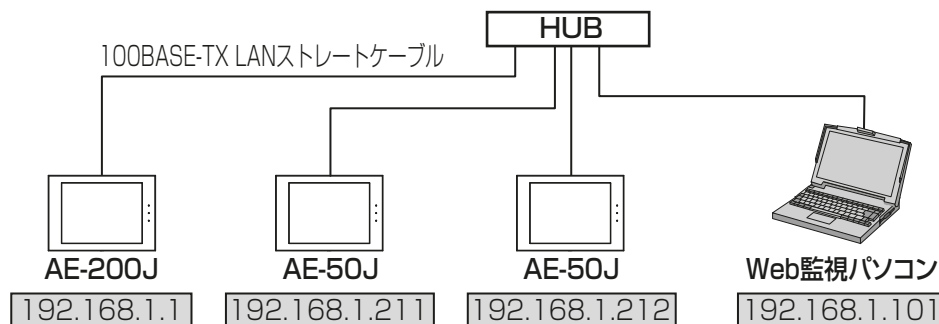
1. 「IPアドレス」に各AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを入力する。

LANを新設した場合は、AE-200JのIPアドレスを"192.168.1.1"から順に割り当てます。例えば、1台目のAE-200JのIPアドレスを"192.168.1.1"、2台目のAE-200Jは"192.168.1.2"などです。AE-50J/EW-50JのIPアドレスの設定は、"192.168.1.211"から順に割り当てます。

お知らせ

- 推奨するIPアドレス範囲は以下の通りです。
AE-200J : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
EW-50J (単独) : "192.168.1.1" ~ "192.168.1.40"
AE-50J/EW-50J (拡張) : "192.168.1.211" ~ "192.168.1.249"
パソコン : "192.168.1.101" ~ "192.168.1.150"

[IPアドレス設定例]



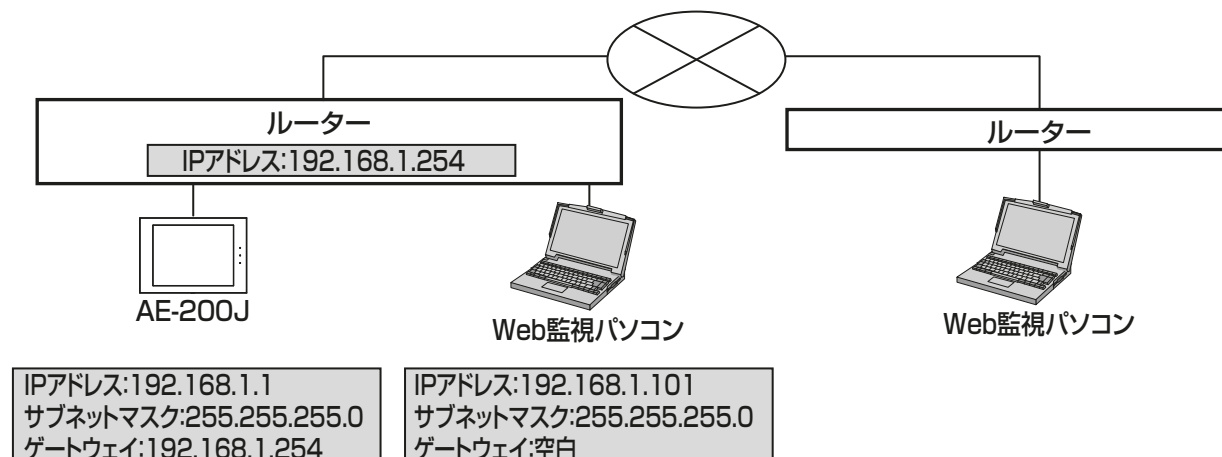
お知らせ

- HUBによっては、HUB同士を接続する専用ポートを備えています。
AE-200J/AE-50J/EW-50JとWeb監視パソコンは、通常ポートに接続してください。
- 複数のAE-200Jを接続する場合も同様に、IPアドレスが重複しないように設定してください。

2. 「サブネットマスク」に"255.255.255.0"を入力する。(特に指定がない場合)

3. ブロードバンドルーター経由でシステムを遠隔で監視する場合、またはメール機能を使用する場合は、「ゲートウェイ」にルーターのIPアドレスを入力する。
ブロードバンドルーターを接続しない場合は、「ゲートウェイ」を空白のままとしてください。

〔遠隔監視システム例〕



お知らせ

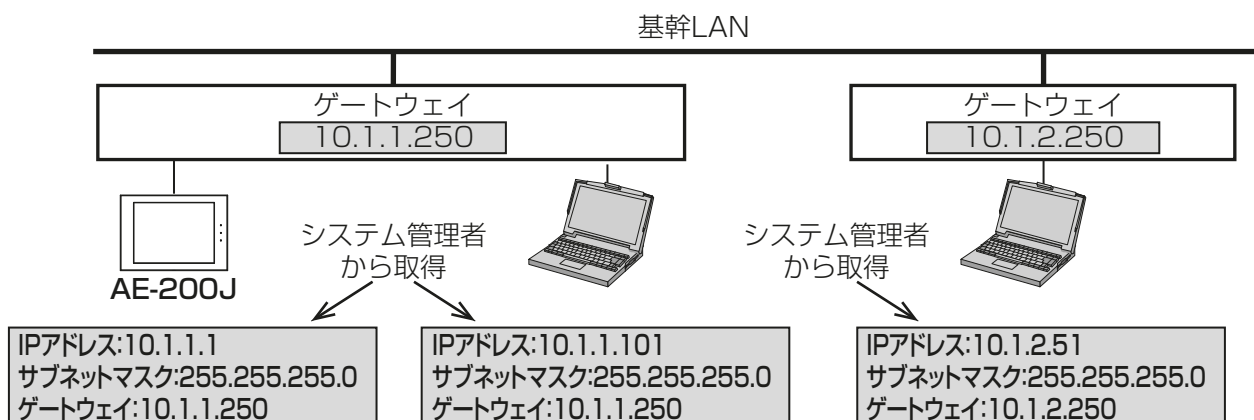
- ブロードバンドルーターのIPアドレスは"192.168.1.254"を設定することを推奨します。IPアドレスの設定方法は、ブロードバンドルーターの取扱説明書を参照してください。

(2) AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合の設定

手順

1. AE-200J/AE-50J/EW-50Jを既設LANに接続する場合は、システム管理者と相談し、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを設定する。

〔既設LANシステム例〕



[3] M-NET 設定

M-NETの設定	
M-NETアドレス	<input type="text" value="0"/>
操作禁止範囲	<input checked="" type="radio"/> SC・RC <input type="radio"/> RCのみ

手順

1. 「M-NET アドレス」に [0] を入力する。(特に指定がない場合)
2. 集中コントローラで手元リモコン操作を禁止している場合に、下位システムコントローラと手元リモコンの両方からの操作を禁止するには [SC・RC] を選択し、手元リモコンからの操作のみを禁止するには [RCのみ] を選択する。

[4] 外部入力の設定

外部入力の設定部で、外部接点入力機能を設定します。外部接点入力機能を用いると、別売の外部入出力アダプタ (PAC-YG10HA) を介してレベル信号やパルス信号で空調機の一括停止、一括運転などが可能となります。

お知らせ

- ・ デマンドコントローラと接続して、デマンドレベル (1～4) 信号を入力することで、ピークカット制御ができます。
- ・ ピークカット制御を使用する場合は、別途省エネピークカット制御ライセンスが必要です。
- ・ AE-200J/AE-50J/EW-50Jのそれぞれで外部入力の設定を行ってください。

お願い

- ・ 詳細は「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

外部入力の設定
<input checked="" type="radio"/> デマンドモード(レベル入力)／使用しない
<input type="radio"/> 緊急停止モード(レベル入力)
<input type="radio"/> 緊急停止 復元モード(レベル入力)
<input type="radio"/> 運転／停止モード(レベル入力)
<input type="radio"/> 運転／停止／操作禁止／操作許可モード(パルス入力)
<input type="radio"/> 緊急停止／警報出力解除
<input type="radio"/> 緊急停止 復元モード／警報出力解除

手順

[デマンドモード(レベル入力)／使用しない]、[緊急停止モード(レベル入力)]、
[緊急停止 復元モード(レベル入力)]、[運転／停止モード(レベル入力)]、
[運転／停止／操作禁止／操作許可モード(パルス入力)]、[緊急停止／警報出力解除]、
[緊急停止 復元モード／警報出力解除]から選択する。

[5] 外部出力の設定

外部信号出力機能を使用することにより、レベル信号でAE-200J/AE-50J/EW-50Jの全系統内に接続している空調機の運転状態、異常状態を出力します。1台以上の空調機が運転している場合は、「運転」信号が出力します。1台以上の空調機に異常が発生している場合に、「異常」信号が出力します。

別売の外部入出力アダプター（PAC-YG10HA）がAE-200J/AE-50J/EW-50Jごとに必要です。

お願い

- ・ 詳細は「AE-200J/AE-50J/EW-50Jの取扱説明書 初期設定編」を参照してください。

外部出力の設定

- ☒ 運転・停止／異常・正常
☐ 警報出力／異常出力

手順

1. 工場出荷時の[運転・停止／異常・正常]のままにする。設定は必要ありません。

お知らせ

- ・ 本設定は初期設定ツール Ver.1.10以降で設定可能です。
- ・ [異常警報出力／異常]に設定した場合、外部出力は行われません。

[6] 高度な設定

[高度な設定] をクリックして、高度な設定画面を表示します。



(1) 時刻マス／サブ設定

手順

1. 「時刻マス設定」で[マス]または[サブ]を選択し設定する。
 接続されている機器を2台のAE-200Jで監視・操作する場合、1台を[マス]、もう1台のAE-200Jを[サブ]に設定してください。
 「時刻マス設定」でサブとして設定されたAE-200Jは、マスとして設定したAE-200Jの時刻に自動的に同期します。

お願い

- ・ AE-200Jが1台の場合はマス（工場出荷設定）に設定してください。
- ・ AE-50J/EW-50Jは複数台接続していても、全てマス（工場出荷設定）に設定してください。
- ・ BACnet® 機能を使用するシステム構成にて中央監視装置から時刻同期を行う場合の設定方法は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 BACnet® 設定ツール編 8-2-1 [3] 中央監視装置による時刻同期」を参照してください。

(2) スケジュール 季節設定

手順

1. 「スケジュール 季節設定」で、**[有効]**／**[無効]**を設定する。
週間スケジュールで季節設定を有効にするには**[有効]**を、無効にするには**[無効]**を選択する。
特に指定のない限り、工場出荷時設定の**[有効]**のままにしておきます。

(3) 旧機種互換モード

「旧機種互換モード」を**[オン]**または**[オフ]**から選択する。

デュアルオートモードに対応している室内ユニット（新室内機）と非対応の室内ユニット（旧室内機）が混在しており機能を統一したい場合や、BACnet 機能を使用して、上位ビル管理システムと接続し、上位ビル管理システムがデュアルオートモードに対応していない場合は**[オン]**を選択することで、デュアルオートモード非対応に統一することができます。

[オン]を選択した場合、手元リモコンで操作禁止（風向、風速、タイマ）は使用できません。

使用できる項目は下記の通りです。

○：使用可、－：使用不可

項目	旧機種互換モード設定	オフ		オン	
	機種	新室内ユニット	旧室内ユニット	新室内ユニット	旧室内ユニット
設定温度	デュアルオートモード	○	－	－	－
	シングルオートモード	－	○	○	
リモコン 操作禁止	運転／停止	○	○	○	
	運転モード	○	○	○	
	設定温度	○	○	○	
	フィルターサインリセット	○	○	○	
	風向	○	－	－	－
	風速	○	－	－	－
	タイマ	○	－	－	－

お知らせ

- ・ 設定温度はデュアルオートモード対応用と非対応用の2種類存在するため、旧機種互換モードを運用中に変更する場合は以下の点に留意して対応してください。
 - ・ 設定温度が室内ユニットの初期値に戻るため、各グループの設定温度はあらかじめメモしておき、本設定を変更後に設定を元に戻してください。
 - ・ スケジュール設定の設定温度が未設定に戻るため、各グループのスケジュールの設定温度をあらかじめメモしておき、本設定を変更後にスケジュール設定を再設定してください。
 - ・ 連動制御の連動先機種において、連動先動作に設定温度を利用している場合は再設定してください。

[7] 表示の設定

「表示の設定」で、表示関連の設定を行います。

表示の設定	
温度表示単位	<input checked="" type="radio"/> °C <input type="radio"/> °F
圧力表示単位	<input checked="" type="radio"/> MPa <input type="radio"/> PSI <input type="radio"/> kgf/cm2
日付形式	<input type="radio"/> 31/12/2017 <input type="radio"/> 12/31/2017 <input checked="" type="radio"/> 2017/12/31
時間形式	<input type="radio"/> 06:00 PM <input checked="" type="radio"/> 18:00
一覧画面グループ名表示	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
フィルターサイン表示	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
温度表示(液晶用)	<input checked="" type="radio"/> 室内温度常時表示 <input type="radio"/> 室内温度運転中表示 <input type="radio"/> 設定温度表示 <input type="radio"/> 室内温度常時表示・設定温度表示 <input type="radio"/> 室内温度運転中表示・設定温度表示 <input type="radio"/> 表示しない
温度表示(Web用)	<input checked="" type="radio"/> 室内温度常時表示 <input type="radio"/> 室内温度運転中表示 <input type="radio"/> 設定温度表示 <input type="radio"/> 室内温度常時表示・設定温度表示 <input type="radio"/> 室内温度運転中表示・設定温度表示 <input type="radio"/> 表示しない
人感センサ表示	<input type="radio"/> 非表示 <input checked="" type="radio"/> 在室マークを表示 <input type="radio"/> 不在マークを表示 <input type="radio"/> 在室/不在マークの両方を表示
照度センサ表示	<input checked="" type="radio"/> 非表示 <input type="radio"/> 明るいマークを表示 <input type="radio"/> 暗いマークを表示 <input type="radio"/> 明/暗マークの両方を表示
湿度センサ表示	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ



手順

1. 「温度表示単位」で、温度単位を選択する。
2. 「圧力表示単位」で、圧力単位を選択する。
3. 「日付形式」で、年月日の表示形式を選択する。
4. 「時間形式」で、時間の表示形式を選択する。
5. 「一覧画面グループ名表示」で、統合管理ブラウザの「監視・操作」画面のグループ名を表示するかを設定する。表示する場合は【オン】を、表示しない場合は【オフ】を選択する。
6. 「フィルターサイン表示」で、統合管理ブラウザの「監視・操作」画面にフィルターサインを表示するかを設定する。表示する場合は【オン】を、表示しない場合は【オフ】を選択する。
【オフ】を選択した場合、室内ユニットがフィルターサインを検出した場合でも、フィルターサインは「監視・操作」画面に表示しません。
フィルターを定期的に清掃し、サイン表示が不要な場合は、【オフ】を選択してください。
7. 「温度表示(液晶用)」「温度表示(Web用)」で温度表示を選択する。
「温度表示(液晶用)」で、液晶画面のフロアまたはブロック画面での室内温度または設定温度の表示/非表示を設定します。
「温度表示(Web用)」統合管理ブラウザのフロアレイアウト画面で、室内温度または設定温度の表示/非表示を設定します。
【室内温度常時表示】を選択すると、室内温度を常に表示します。
【室内温度運転中表示】を選択すると、室内温度を運転中だけ表示します。
【設定温度表示】を選択すると、設定温度を常に表示します。
【室内温度常時表示・設定温度表示】を選択すると、室内温度と設定温度を常に表示します。
【室内温度運転中表示・設定温度表示】を選択すると、室内温度を運転中だけ表示し、設定温度を常に表示します。
【表示しない】を選択すると、室内温度/設定温度を表示しません。

お知らせ

- 暖房モードで停止中のときに、室内温度の表示が実際の温度より高くなる場合があります。そのため、室内温度を表示するときは【室内温度運転中表示】または【室内温度運転中表示・設定温度表示】を選択することを推奨します。

8. 「人感センサ表示」で、MEリモコン (PAR-F30ME(1)) に搭載の人感センサが検知する在室／不在状態の表示／非表示を設定する。

在室状態マーク	不在状態マーク
 (青色)	 (灰色)

[非表示]を選択する。

運転状態のモニタ／操作画面に「在室中／不在時」マークを表示しません。

[在室マークを表示]を選択する。

MEリモコンのセンサが在室を検知した場合に「在室中」マークを表示します。

[不在マークを表示]を選択する。

MEリモコンのセンサが不在を検知した場合に「不在時」マークを表示します。



[在室／不在マークの両方を表示]を選択する。

検知状態に応じて「在室中」または「不在時」マークを表示します。

お知らせ

- ・ 人感センサを搭載していない手元リモコンの場合は、在室／不在状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示されません。

9. 「照度センサ表示」で、MEリモコン (PAR-F30ME(1)) に搭載の照度センサで検知する明るい／暗い状態の表示／非表示を設定する。

明るい状態マーク	暗い状態マーク
 (黄色)	 (灰色)

[非表示]を選択する。

運転状態のモニタ／操作画面に明るい／暗い状態マークを表示しません。

[明るいマークを表示]を選択する。

部屋の明るさレベルがあらかじめ設定したレベルに達したときに明るい状態マークを表示します。

[暗いマークを表示]を選択する。

部屋の暗さレベルがあらかじめ設定したレベルに達したときに暗い状態マークを表示します。

[明／暗マークの両方を表示]を選択する。

検知状態に応じて明るいまたは暗い状態マークを表示します。

お知らせ

- ・ 照度センサを搭載していない手元リモコンの場合は、明るい／暗い状態マークは、運転状態のモニタ／操作画面に表示しません。
- ・ 明／暗の検知値は、MEリモコン (PAR-F30ME) で設定します。

10. 「湿度センサ表示」の設定は**[オフ]**のまま変更しないでください。

[オン]に設定しても湿度は表示されません。

[8] CSV ファイルの区切り記号・小数点記号

手順

1. AE-200JのCSVデータ（エネルギー管理や按分結果）と料金計算ツールのCSVデータ（料金計算結果）のファイル形式を設定する。
設定例、小数点記号：ピリオド / 区切り記号：カンマ

お願い

- 料金計算ツール **[詳細設定]** の「CSV ファイルの小数点記号」と「CSV ファイルの区切り記号」の設定内容を合わせてください。
設定が異なると「CSV ファイルのフォーマットが不正です。取得先を確認してください。」のエラーが表示します。
- 複数のAE-200Jが接続されている場合は全て同一設定にしてください。

[9] 設定の保存

[1]～[7]の設定後、**[確定]** をクリックする。

6-6. ユニット設定

初期設定ツールによるユニット設定について説明します。

6-6-1. グループ設定

お知らせ

- 1 グループには最大 16 台の空調機を登録できます。ただし、DT-R・ブラインクーラ (BALV) の場合は 1 グループ最大 6 台となります。また、ブラインクーラ (BAOV) の場合は 1 グループにつき 1 台で登録してください。
- 空調機、空調機 (A 制御)、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器は同一グループに登録することはできません。
- ロスナイを登録する場合は、24 時間換気やナイトパーズの機能があるユニットとなしのユニットを同一グループに登録しないでください。
- ブラインクーラの場合は **[DT-R]** を選択してください。グループ登録の詳細は、「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 空冷式ブラインクーラ機能編」を参照してください。
- 既に他のグループに登録されているアドレスと冷媒系設定、連動ロスナイ設定、計量 MC 設定、環境 MC 設定に設定されているアドレスは、背景が灰色となり、選択できません。
- 加熱加湿付ロスナイ (LGH-**RDF6) 以前の機種を登録する場合は、**[空調機]** を選択してください。
- スリム機種 K シリーズ (個別タイプ) 機種を登録する場合は、**[空調機]** を選択してください。
- 本書では外気処理ユニット (LGH-N ** RDF *) のことを加熱加湿付ロスナイと表記します。
- 電力按分課金支援機能の対応機種については、「2-5. 電力按分課金支援機能対応機種」を参照してください。
- 課金運用中のシステムに対し変更を行った際は、課金算出の誤出力につながる可能性があります。再度課金試運転を行い誤設定がないことを確認し、お客様へ引き渡してください。(「7. 課金試運転」を参照してください。)

手順

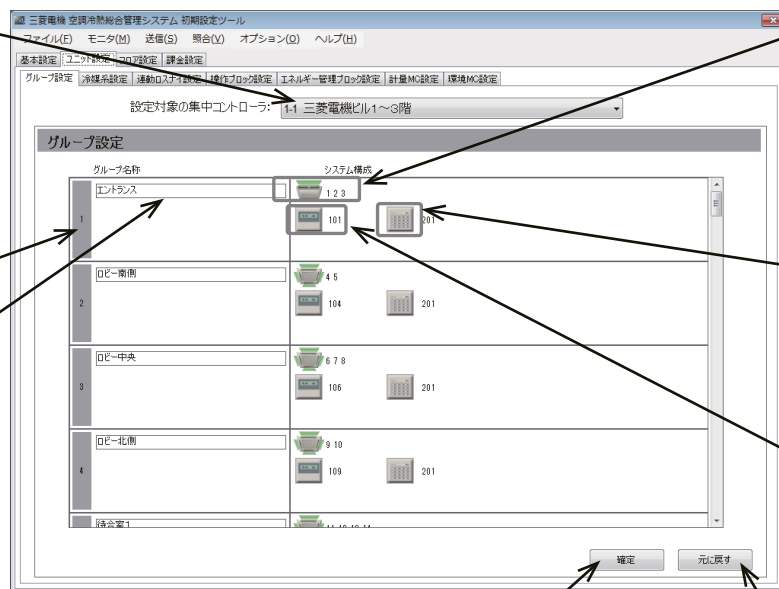
1. [ユニット設定] - [グループ設定] をクリックする。

グループ設定画面が表示します。

AE-200J/AE-50J/EW-50J に接続される空調機、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器、リモコン、システムコントローラのグループ登録を行います。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうちグループ設定を行う対象を選択します。

グループ番号
グループ名



ユニット登録
クリックして空調機、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイおよび汎用機器を登録する画面を表示します。



システムコントローラ登録
クリックしてシステムコントローラを登録する画面を表示します。

リモコン登録
クリックしてリモコンを登録する画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。


元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「グループ名称」にグループ名を最大 20 文字 (全角／半角) で入力する。

3. 「ユニット登録」の()をクリックする。
「ユニットアドレスの選択」画面が表示します。
4. [空調機]、[空調機(A制御)]、[DT-R]、[ロスナイ]、[加熱加湿付ロスナイ]、[汎用機器(PAC-YG66DC接続)]を選択する。
5. 登録するユニットのアドレス番号を選択する。
6. [汎用機器(PAC-YG66DC接続)]を選択した場合は、汎用機器が接続されている接点番号を選択する。
7. アイコンを変更するには、右または左矢印をクリックする。
ここで選択したアイコンは、AE-200J/AE-50Jの液晶画面、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの統合管理ブラウザで表示します。
8. [汎用機器(PAC-YG66DC接続)]を選択した場合は、「操作設定」で、汎用機器の操作可能範囲を設定する。
[操作可能(一括、グループ単位)]を選択した場合は、汎用機器を一括またはグループごとに運転/停止操作が可能になります。
[操作可能(グループ単位)]を選択した場合は、汎用機器をグループごとに運転/停止操作が可能になります。
[操作禁止(監視のみ)]を選択した場合は、汎用機器の運転/停止操作はできません。
9. [汎用機器(PAC-YG66DC接続)]を選択した場合は、「表示設定」で、運転状態のモニタ/操作画面上のアイコンにユニットの運転/停止状態を反映するために、どの状態を使用するかを選択する。
汎用機器に出力する状態を使用するときは[接点出力状態]、汎用機器からの入力状態を使用するときは[接点入力状態]を選択します。
10. 設定完了後に、[OK]をクリックする。
11. 「リモコン登録」の()をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
12. 登録するMEリモコンのアドレス番号を選択して[OK]をクリックする。

お知らせ

- ・ 1グループには最大2台のMEリモコンを登録できます。
- ・ 1グループにはMEリモコンとシステムコントローラを合わせて4台まで登録できます。
- ・ MAリモコンをグループに登録する必要はありません。

13. 「システムコントローラ登録」の()をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
14. 登録するシステムコントローラのアドレス番号を選択して[OK]をクリックする。

お知らせ

- ・ 1グループにはMEリモコンとシステムコントローラを合わせて4台まで登録できます。

15. 各グループ設定完了後、[確定]をクリックする。

お知らせ

- ・ 「設定対象の集中コントローラ」で集中コントローラを切り替えて、グループ設定を行ってください。
- ・ 「設定対象の集中コントローラ」では、「6-5-1. 接続構成設定」にて[AE-200(課金)]、[AE-200(M-NETなし)]に設定したコントローラは選択できません。
- ・ 汎用インターフェース(PAC-YG66DC(1))1台に汎用機器を最大6台接続できます。各接点はそれぞれ1台(ユニット)とカウントします。
- ・ 1グループには最大16ユニットの汎用機器(1接点は1ユニット)を登録できます。
- ・ 空調機、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイおよび加熱加湿付ロスナイが登録されているグループを、汎用機器グループに変更する場合、まず空調機、DT-R、ブラインクーラ、ロスナイおよび加熱加湿付ロスナイの登録を取り消してください。
- ・ 汎用機器グループには、リモコンまたはシステムコントローラを登録することはできません。

6-6-2. 冷媒系設定

室外ユニット、サブ室外ユニットおよび室内ユニットの接続状態について設定を行います。

お知らせ

- 課金運用中のシステムに対し変更を行った際は、課金算出の誤出力につながる可能性があります。再度課金試運転を行い誤設定がないことを確認し、お客様へ引き渡してください。（「7. 課金試運転」を参照してください。）

手順

1. [ユニット設定]－[冷媒系設定]をクリックする。

冷媒系設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち冷媒系設定を行う対象を選択します。

室外ユニット登録
クリックして室外ユニットを登録する画面を表示します。

モニター
AE-50J/EW-50Jから実機の接続情報をモニターして設定内容を置き換えます。

室内ユニット登録
クリックして室内ユニットを登録する画面を表示します。

サブ室外ユニット登録
クリックしてサブ室外ユニットを登録する画面を表示します。

確認
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. ユニットが正しく接続されている状態で[モニター]をクリックする。

AE-200Jから接続情報をモニターします。

3. 「室外ユニット」の()をクリックする。

室外機のユニットアドレス選択画面が表示します。

4. 登録する室外機のアドレス番号を選択して[OK]をクリックする。

5. 「サブ室外ユニット」の()をクリックする。

サブ室外機のユニットアドレス選択画面が表示します。

6. 登録するサブ室外機のアドレス番号を選択して[OK]をクリックする。

7. 「室内ユニット」の()をクリックする。

室内機のユニットアドレス選択画面が表示します。

8. 登録する室内機のアドレス番号を選択して[OK]をクリックする。

9. 各冷媒系設定完了後、[確定]をクリックする。

お知らせ

- 分流コントローラの登録はありません。
- 実機の接続状態と一致させてください。また、AE-200J本体液晶画面の【初期設定】－【冷媒系表示】を開いて、同一であることを確認してください。差異があった場合、正しく課金計算が行われません。ただし、加熱加湿付ロスナイが接続されている場合は、加熱加湿付ロスナイを除外して設定してください。
- A制御機種がグループ登録されている場合は、「室外ユニット」と「室内ユニット」にA制御機種のアドレスを表示します。

- ・ **【モニタ】**を行ったときに「警告メッセージ」が表示した場合は、空調機の接続情報と初期設定ツールのグループ設定／計量MC設定／環境MC設定が誤っている可能性があります。
「8. 照合」を行い、照合結果を元に、設定の修正を行ってください。
- ・ **【モニタ】**により表示するユニットは、M-NETに接続しており、起動した状態のものです。取得できないユニットがある場合は、対象のユニットの状態を確認してください。

6-6-3. 連動ロスナイ設定

ロスナイ・加熱加湿付ロスナイを室内ユニットの運転／停止に連動して動作することができます。

お知らせ

- ・ ロスナイを運転／停止しても室内ユニットは連動して動作しません。

手順

1. **【ユニット設定】**－**【連動ロスナイ設定】**をクリックする。
連動ロスナイ設定画面が表示します。

連動ロスナイ登録
クリックして連動ロス
ナイを登録する画面を
表示します。

連動元室内ユニット登録
クリックして連動元の室
内ユニットを登録する画
面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示
を元に戻します。

2. 「連動ロスナイ登録」の をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
3. 連動させるロスナイのアドレス番号を選択して **【OK】** をクリックする。
4. 「連動元室内ユニット登録」の をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
5. 連動元室内ユニットのアドレス番号を選択して **【OK】** をクリックする。
1 台のロスナイに対し、最大 16 台の室内ユニットを登録できます。
6. 各連動ロスナイ設定完了後、**【確定】** をクリックする。

6-6-4. 操作ブロック設定

ブロック設定を行うことで、ブロックに登録している複数のグループをAE-200J/AE-50Jの液晶画面と統合管理ブラウザで一括で状態監視／操作できます。

お知らせ

- ・24時間換気やナイトパージをするロスナイ・加熱加湿付ロスナイに対してピークカット停止制御を行うと、換気が停止するため、24時間換気のロスナイ・加熱加湿付ロスナイは別ブロックに設定してください。
- ・DT-R、ブラインクーラのグループは操作ブロックに登録できません。
- ・課金運用中のシステムに対し変更を行った際は、課金算出の誤出力につながる可能性があります。再度課金試運転を行い誤設定がないことを確認し、お客様へ引き渡してください。（「7. 課金試運転」を参照してください。）

手順

1. [ユニット設定]－[操作ブロック設定]をクリックする。

操作ブロック設定画面が開きます。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち操作ブロック設定を行う対象を選択します。

グループ設定からコピー
グループ設定の内容をコピーして操作ブロックを作成します。


所属グループ登録
クリックしてブロック登録する画面を表示します。

ブロック番号

ブロック名

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「操作ブロック名」に、ブロック名称を最大20文字（全角／半角）で入力する。
ブロック名称は液晶画面と統合管理ブラウザに表示します。
3. 「所属グループ登録」の[]をクリックする。
グループの選択画面が表示します。
4. 登録するグループ番号を選択して[OK]をクリックする。
（カーソルをグループ番号に合わせると、グループ名称が表示します。）
5. 各操作ブロック設定完了後、[確定]をクリックする。

お知らせ

- ・グループ設定と操作ブロック設定を同一にする場合は、[グループ設定からコピー]を選択してください。

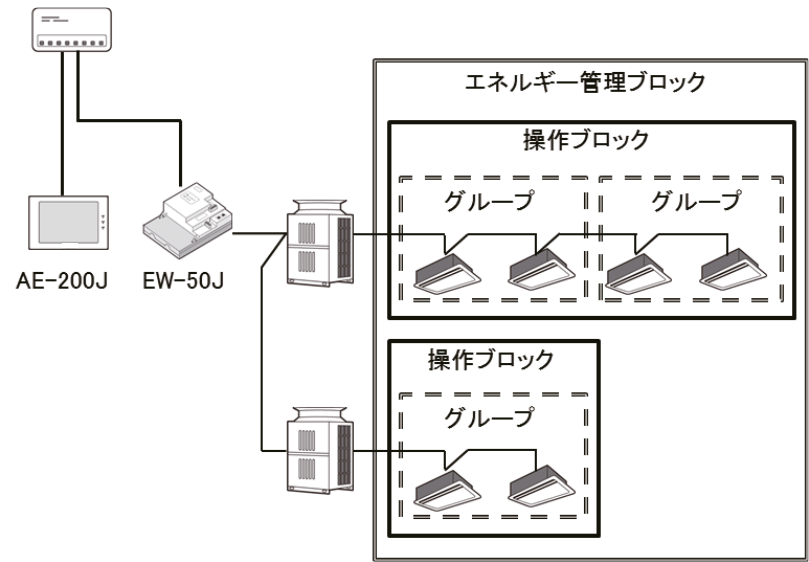
6-6-5. エネルギー管理ブロック設定

電力按分課金支援機能の集計単位として用いる、エネルギー管理ブロック(テナント)の設定を行います。
電力按分課金支援機能を使用する場合は、エネルギー管理ブロックを適切に設定する必要があります。

[1] 概要

(1) エネルギー管理ブロック(テナント)とは

- ・エネルギー管理ブロック(テナント)とは、料金計算結果を表示・出力する単位です。
- ・エネルギー管理ブロック(テナント)は、操作ブロックの集まりです。
- ・操作ブロックは、グループの集まりです。ただし、EW-50J 単独使用時に別の EW-50J のブロックとまとめることはできません。



(2) ロスナイ(加熱加湿付ロスナイを含む)の設定

ロスナイのシステム構成により、設定してください。

	使用方法		エネルギー管理ブロック設定方法
ロスナイ (加熱加湿機能なし)	室内ユニットと連動していない場合		電力按分する場合は、エネルギー管理ブロック(テナント)に[2] 3.にて設定してください。
	室内ユニットとの連動の場合		設定は不要です。(課金の対象に設定できません) お知らせ ・ロスナイの電力量は連動元の室内ユニットの運転状態により配分されます。
加熱加湿付ロスナイ	室内ユニットと連動していない場合		エネルギー管理ブロック(テナント)に[2] 3.にて設定してください。
	室内ユニットとの連動の場合	同一テナントの室内ユニットのみと連動している場合	連動元の室内ユニットと同一のエネルギー管理ブロック(テナント)に[2] 6.にて設定してください。
		複数のテナントにまたがった連動をしている場合	独立したエネルギー管理ブロック(テナント)に[2] 3.にて設定し、電力料金は、共益費などに含めてご請求してください。

[2] エネルギー管理ブロック設定

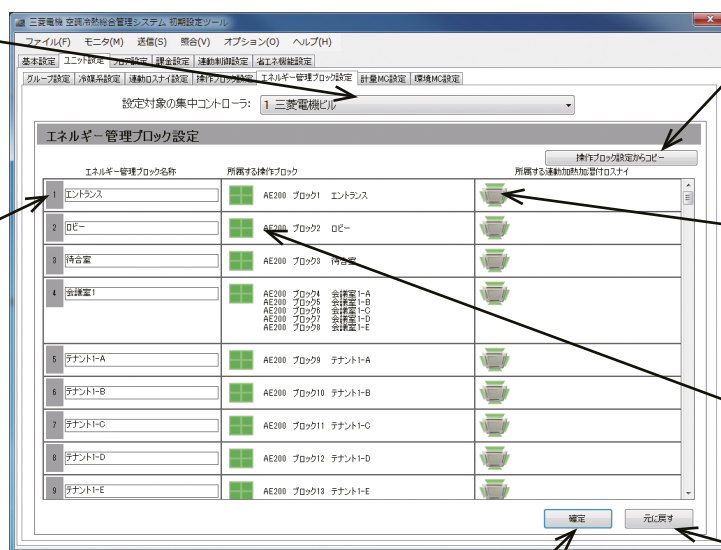
手順

1. [ユニット設定] – [エネルギー管理ブロック設定] をクリックする。

エネルギー管理ブロック設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コン
トローラのうちエネルギー管
理ブロック設定を行う対象を
選択します。

エネルギー管理ブロック
番号



操作ブロック設定からコピー
操作ブロック設定の内容をコ
ピーしてエネルギー管理ブ
ロックを作成します。

所属する連動加熱加湿付ロス
ナイ登録
クリックして連動加熱加湿付
ロスナイを登録する画面を
表示します。

所属する操作ブロック登録
クリックして操作ブロックを
登録する画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、
表示を元に戻します。

2. 「エネルギー管理ブロック名称」を最大20文字（全角／半角）で入力する。

お知らせ

- AE-200Jをまいたでいるエネルギー管理ブロックの名称を同一にすることで計算結果を統合することができます。
詳細は「4-1-2. 料金計算ツールの設定」の「(4) 料金計算結果の表示順序 (番号順／名称順)・同一名称のエネルギー管理ブロック統合 (統合する／統合しない)」を参照してください。

3. 「所属する操作ブロック」の () をクリックする。

操作ブロックの選択画面が表示します。

4. 登録する操作ブロックの拡張コントローラ [Exp1] ～ [Exp4] から選択する。

5. 登録する操作ブロックのブロック番号を選択して [OK] をクリックする。

お知らせ

- ブロック番号にカーソルを合わせるとブロック名称を表示します。

6. 「所属する連動加熱加湿付ロスナイ」の () をクリックする。

加熱加湿付ロスナイのユニットアドレスの選択画面が表示します。

7. 登録する連動加熱加湿付ロスナイの拡張コントローラ [Exp1] ～ [Exp4] から選択する。

8. 登録する連動加熱加湿付ロスナイのユニットアドレスを選択して [OK] をクリックする。

お知らせ

- 連動ロスナイ設定されている加熱加湿付ロスナイを登録します。
- ブロック番号にカーソルを合わせるとブロック名称を表示します。

9. 各エネルギー管理ブロック設定完了後、[確定] をクリックする。

お知らせ

- 操作ブロック設定とエネルギー管理ブロック設定を同一にする場合は、[操作ブロック設定からコピー] を選択してコピーした後、手順6. で加熱加湿付ロスナイの設定を行ってください。
- 集中コントローラ Ver.7.2* の場合、「AE-200 (課金)」に対してのみ設定可能です。

6-6-6. 計量 MC 設定

集中コントローラで計量計を使用するために計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC (1)) の登録と、計測設定を行います。

手順

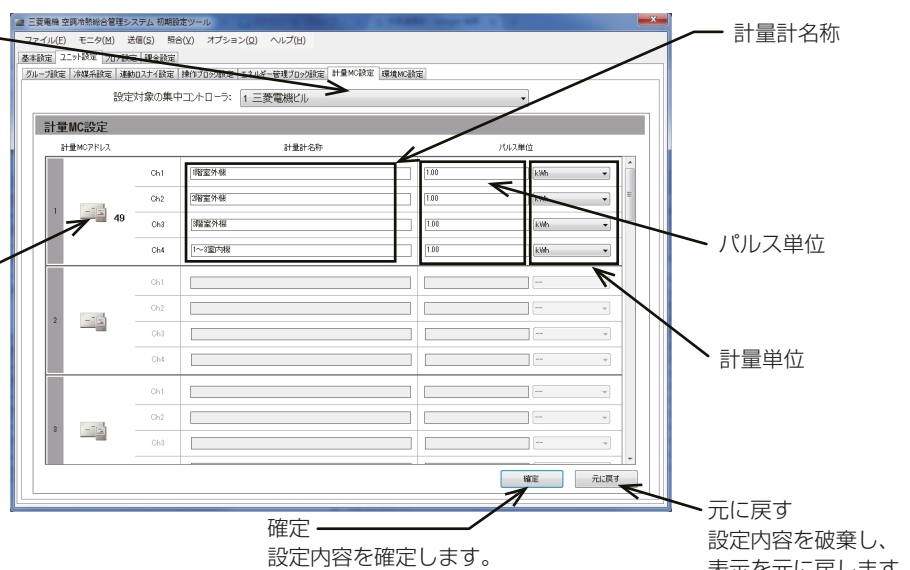
1. [ユニット設定] – [計量 MC 設定] をクリックする。
計量 MC 設定画面が表示します。

お知らせ

- ・ 1 台の集中コントローラに計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC (1)) は 15 台まで登録できます。
AE-200J システム 1 系統には最大で 20 台まで接続できます。
- ・ 計量値からピークカット制御を利用する場合は、別途、省エネピークカット制御ライセンスの登録が必要となります。
- ・ グループ設定、冷媒系設定、連動ロスナイ設定、環境 MC 設定で登録されていないアドレスのみ選択可能です。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コン
トローラのうち計量 MC 設定
を行う対象を選択します。

計量 MC 登録
クリックして計量 MC を登録
する画面を表示します。



2. 「計量 MC アドレス」の () をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
3. 登録する計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC (1)) のアドレス番号を選択する。
計量用パルス入力を使用する場合は、[PI] を選択してください。
4. 「計量計名称」の Ch1 ~ 4 に計量計の名称を入力する。
最大 20 文字 (全角 / 半角) で入力します。
5. 「パルス単位」を入力し、「計量単位」を選択する。

お知らせ

- ・ 計量単位は、[kWh]、[m³]、[MJ]、または [-- (単位なし)] から選択できます。
- ・ 計量計を使用しない場合は、パルス単位は空白、計測単位は [-- (単位なし)] を選択してください。

6. 計量 MC 設定完了後、[確定] をクリックする。

お願い

- ・ 使用する計量計に応じてパルス単位を設定してください。正しく設定したことを確認するため、計量計のメータ値と計量用パルス入力より取得した値または計量用計測コントローラがカウントした値を確認し、一定時間経過後に両方の値が同じ値だけ増加していることを確認してください。(計量用パルス入力の値と計量用計測コントローラの値は、液晶画面と統合管理ブラウザで確認できます。)[7. 課金試運転] を参照してください。

6-6-7. 環境 MC 設定

温度センサ、湿度センサを使用するために環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC (1)) の登録と計測設定を行います。

お知らせ

- グループ設定、冷媒系設定、連動ロスナイ設定、計量 MC 設定で登録されていないアドレスのみ選択可能です。

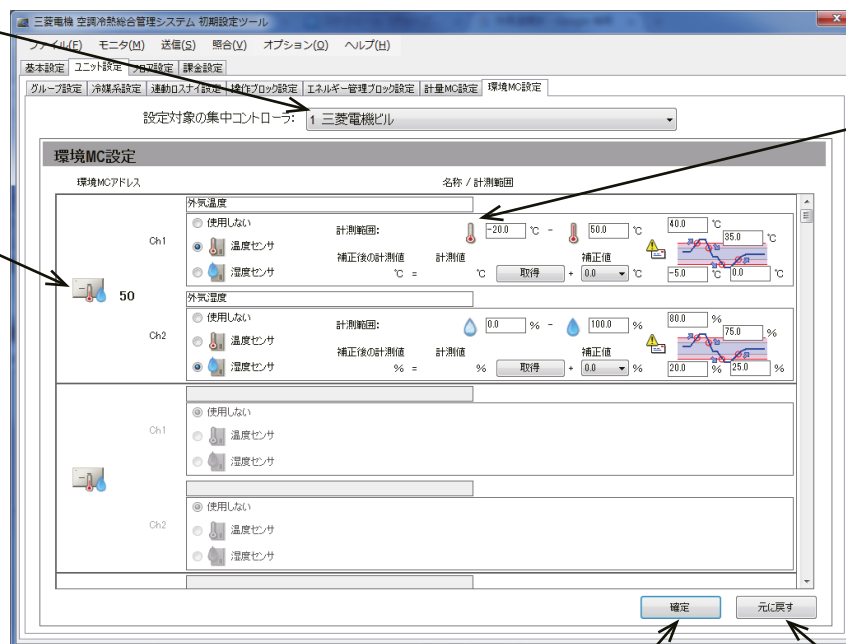
手順

1. [ユニット設定] – [環境 MC 設定] をクリックする。

環境 MC 設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コント
ローラのうち環境 MC 設定
を行う対象を選択します。

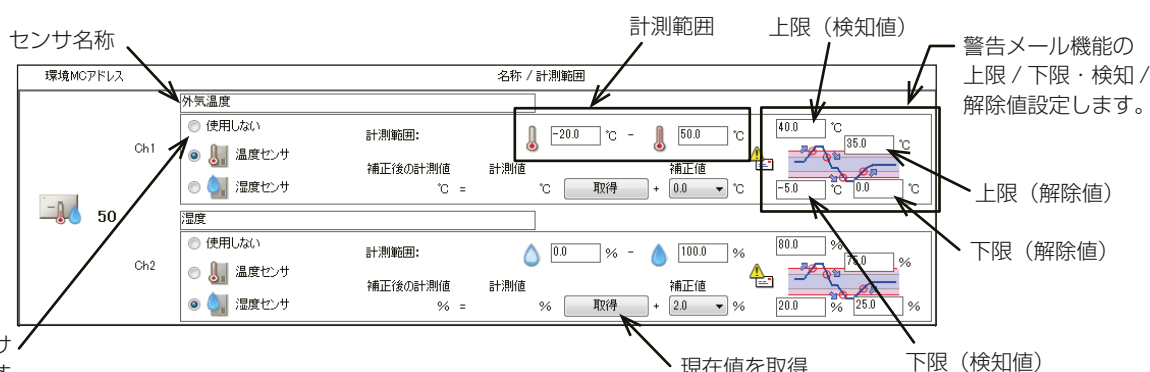
環境 MC 登録
クリックして環境 MC を登
録する画面を表示します。



計測設定

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、
表示を元に戻します。



温度または湿度センサ
アイコンを選択します。

- 「環境 MC アドレス」の (温度センサアイコン) をクリックする。
ユニットアドレスの選択画面が表示します。
- 登録する環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC (1)) のアドレス番号を選択し、[OK] をクリックする。
選択状態 (背景が黄緑色) になります。
選択を取り消す場合は、再度クリックすることで非選択状態 (背景が薄灰色) になります。
- センサの名称を入力する。
最大 20 文字 (全角 / 半角) で入力します。
- Ch1、Ch2 のそれぞれで温度センサアイコン (温度センサアイコン) または湿度センサアイコン (湿度センサアイコン) を選択する。
「使用しない」も選択することができます。

6. 初期設定

設定が必要な項目

6. センサの計測範囲を入力する。
Pt100 センサを接続した場合、 $-30^{\circ}\text{C} \sim +60^{\circ}\text{C}$ で設定してください。(Pt100 センサは Ch1 のみ使用可)
Pt100 センサ以外のセンサを接続した場合は、センサの取扱説明書に記載されている範囲を入力してください。
7. 温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信するには、上限および下限温度の両方について検知および解除値を設定する。
検知／解除を過度に検出しないように、検知値と解除値の差を 1°C 以上離すことを推奨します。
8. 各温度センサまたは湿度センサ設定完了後、**[確定]** をクリックする。

[1] 測定温度 / 湿度値の補正

測定値の補正が必要な場合、補正を行います。

[取得] をタッチして現在値の取得を行い、ご利用環境に合わせて補正値を入力してください。

お知らせ

- 設定対象の集中コントローラに環境用計測コントローラの接続設定を保存していない場合、**[取得]** をクリックしても「計測値」は表示しません。
- 環境用計測コントローラを初めて登録する場合は、「計測値」のモニタはできません。「計測値」を取得して確認後に「補正値」を入力する場合は、一度、設定情報を集中コントローラに送信する必要があります。環境MCと温度/湿度センサの登録後に、集中コントローラに設定データを送信してください。(6-4-3章[5]設定の送信)
- 温度センサの補正値の初期値は「0.0」となります。 $-10.0^{\circ}\text{C} \sim +10.0^{\circ}\text{C}$ の範囲で設定することができます。
- 湿度センサの補正値の初期値は「0.0」となります。 $-10.0\% \sim +10.0\%$ の範囲で設定することができます。

[2] 警告メール機能設定

温度または湿度がある所定値を超えた場合に警告メールを受信したいときにメール設定を行います。
メール機能を利用する場合、以下の手順の他に、統合管理ブラウザから送信メールサーバの設定が必要です
（「AE-200J/AE-50J/EW-50J 取扱説明書 初期設定編」を参照してください）。

手順

1. 「環境 MC 設定」画面で「メールアドレス設定」をクリックする。
「メール設定」画面を開きます。
2. 「メールタイトル」で、メールタイトルを入力する。

お知らせ

- ・「メールタイトル」には、次の文字は使用できません
< > & " ' 半角カナ文字

3. 「送信先メールアドレス」で、変更する No. をクリックし、メールアドレスを入力し、**[更新]** をクリックする。

お知らせ

- ・「メールアドレス」は40文字以内にしてください。

警告メールは、下記の形式で送信されます。

送信元: 三菱ビル (000001) 発生日時: 2014/03/31 19:13:42 アドレス: 22-1 現在値: 23.1 °C 状態: 上限値超過 過去の推移: 19:13 22.9 °C 19:12 22.7 °C 19:11 22.3 °C 19:10 21.3 °C 19:09 20.6 °C 19:08 20.2 °C 19:07 20.4 °C 19:06 20.2 °C 19:05 20.5 °C 19:04 20.2 °C	項目	フォーマット
	送信元	AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称 + 識別番号 お知らせ ・ AE-200J/AE-50J/EW-50J の名称と識別番号 の設定方法は 6-5-2 章を参照してください。
	発生日時	yyyy/MM/dd hh:mm:ss お知らせ ・ 日付フォーマットは「6-5-2. 基本システム設定」で 設定した内容が反映されます。
	アドレス	環境用計測コントローラの M-NET アドレス - センサ 番号
	現在値	現在の温度または湿度 (小数点 1 桁) お知らせ ・ センサ値が安定するまでの間、現在値が「**.*」で送 信されることがあります。
	状態	“上限値超過” または “上限値復旧” または “下限値超過” または “下限値復旧”
	過去の推移	時刻 + 温度または湿度 (過去 10 分間)

6. 初期設定

電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目

6-7. 課金設定

初期設定ツールによる課金設定について説明します。

6-7-1. 課金設定

料金計算を行うための設定を行います。

お知らせ

- ・ 本体液晶画面にて「AE-200 按分」を【**利用する**】に設定してください。
- ・ 電力按分課金支援機能を使用する AE-200J が複数台ある場合、AE-200J ごとに設定が必要です。

手順

1. 【**課金設定**】－【**課金設定**】をクリックする。
課金設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち課金基本設定を行う対象を選択します。

計量計接続按分設定
計量計接続の設定をします。

按分モード設定
室外機と室内機の使用電力量と待機電力量の按分モードを設定します。

計量計故障の可能性警告
計量計故障予知の警告表示機能有効無効を設定します。

計量計接続按分設定
計量計接続の設定をします。

A 制御機種電源設定
A 制御機種の室外機・室内機の電源設定を選択します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「計量計接続按分」で、【**接続する**】、【**接続しない**】を選択する。
電力量計を使った電力按分を行うには【**接続する**】を選択してください。
【**接続する**】を選択することにより、「按分モード設定」を選択することができます。
電力量計を使用せず、電力量を手入力し料金比率を算出するには【**接続しない**】を選択してください。

お願い

- ・ 料金計算ツール【**詳細設定**】の「計量計接続」の【**あり**】/【**なし**】と合わせてください。
設定が異なると以下のエラーが表示します。
「料金計算ツールと AE-200 の計量計接続有無が一致していません。詳細設定画面の計量計接続有無設定および AE-200 の課金設定が正しく行われていることを確認してください。」

3. 「A 制御機種電源」で、**[室外機・室内機同一電源]**、**[室外機・室内機別電源]**を選択する。

[室外機・室内機同一電源]とは、A 制御機種の室外機と室内機が同一の電力量計の電源から電源供給を受けている構成であり、**[室外機・室内機別電源]**とは、A 制御機種の室外機と室内機が異なる電力量計の電源から電源供給を受けている構成のことです。

お知らせ

- ・「計量計接続按分」で**[接続する]**を選択している場合のみ、選択可能です。
- ・AE-200J システム内で**[室外機・室内機同一電源]**と**[室外機・室内機別電源]**は混在できません。

4. 「室外機の使用電力量の按分モード」を**[FAN 運転時間]**、**[サーモ ON 時間]**、**[能力セーブ量]**から選択する。**お知らせ**

- ・FAN 運転時間は、室内機の FAN 運転 (サーモ ON+ サーモ OFF) 時間×室内機能力係数による按分方式です。
- ・サーモ ON 時間は、室内機のサーモ ON 時間×室内機能力係数による按分方式です。
- ・能力セーブ量は、室内機の運転能力 (冷媒使用量) ×室内機能力係数による按分方式です。

5. 室外機の待機電力量を**[按分する]**、**[按分しない]**から選択する。

室外機の待機電力量について電力按分する場合には**[按分する]**、待機電力量を使用電力量に含める場合には**[按分しない]**を選択します。

6. 室内機の使用電力量を**[按分する]**、**[按分しない]**から選択する。

室内機の待機電力量について電力按分する場合には**[按分する]**、待機電力量を使用電力量に含める場合には**[按分しない]**を選択します。室内機の電力量計を接続しない場合は、**[按分しない]**を選択してください。

7. 室内機の待機電力量を**[按分する]**、**[按分しない]**から選択する。

室内機の待機電力量について電力按分する場合には**[按分する]**、待機電力量を使用電力量に含める場合には**[按分しない]**を選択します。

8. 計量計故障の可能性警告を**[警告する]**、**[警告しない]**から選択する。

『計量計故障の可能性警告 (0095)』の警告を発報する場合は**[警告する]**、発報しない場合は**[警告しない]**を選択します。

また、**[警告する]**の場合は、計量値のカウントアップしない状況が、何日継続で発報するかを**[3] ～ [7]**日の間で選択します。

お知らせ

- ・『計量計故障の可能性警告 (0095)』の詳細は「9-1. トラブルシューティング」を参照ください。

9. 設定完了後、**[確定]**をクリックする。

各設定により待機電力量の請求先が異なります。

	待機電力量		料金の請求先	
	室外機	室内機※1	室外機	室内機
料金に含める※3	按分する	按分する	テナント	テナント
		按分しない	テナント	テナント※2
	按分しない	按分する	テナント※2	テナント
		按分しない	テナント※2	テナント※2
料金に含めない※3	按分する	按分する	ビルオーナー	ビルオーナー
		按分しない	ビルオーナー	テナント※2
	按分しない	按分する	テナント※2	ビルオーナー
		按分しない	テナント※2	テナント※2

※1 室内機の使用電力量を**[按分する]**に設定した場合のみ、室内ユニットの待機電力の按分の有無を選択できます。

※2 待機電力量按分しないため、使用電力量として計算します。

※3 料金計算ツールにて設定します。

お知らせ

- 待機電力量をテナントに請求せずに、ビルオーナー様負担とする場合は、待機電力量を【**按分する**】に設定し、料金計算ツールにて、「待機電力量の料金計算」を【**料金に含めない**】に設定してください。
- 待機電力量を【**按分しない**】を選択した場合、中間期などの運転台数が少なく運転時間が短いときには、待機電力量を運転していた空調機の使用電力量として按分することがあります。待機電力量を【**按分する**】設定をおすすめします。
- 電力量手入力（計量計なし）方式の場合、料金比率には待機電力量は按分できません。

6-7-2. 室外機設定

接続されている室外機の待機電力を設定します。

手順

1. [課金設定] – [室外機設定] をクリックする。

室外機設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち室外機設定を行う対象を選択します。

室外ユニット/サブ室外ユニット
冷媒系設定にて設定した室外ユニットとサブ室外ユニットを表示します。

形名
室外ユニットの形名を設定します。

室外ユニット/サブ室外ユニット	形名	待機電力
51	PUHY-EP630SDMG3	0.070 kW
52	PUHY-EP280SDMG3	0.070 kW
53	PUHY-EP630SDMG3	0.070 kW
54	PUHY-EP280SDMG3	0.070 kW
55	PUHY-EP224DMG3	0.140 kW
57	PUHY-EP224DMG3	0.070 kW
59	PUHY-EP630SDMG3	0.070 kW
61	PUHY-EP280SDMG3	0.070 kW
63	PUHY-EP224DMG3	0.070 kW
65	PUHY-EP224DMG3	0.070 kW
67	PUHY-EP630SDMG3	0.070 kW
69	PUHY-EP280SDMG3	0.070 kW
71	PUHY-EP224DMG3	0.070 kW

一括形名入力
室外ユニットの形名を一括で設定します。

待機電力
室外ユニットに待機電力を設定します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「室外ユニット/サブ室外ユニット」に「設定対象の集中コントローラ」で選択したコントローラに接続している室外ユニットのアドレスを表示していることを確認する。

お知らせ

- ・「6-6-2. 冷媒系設定」にて設定した室外ユニット/サブ室外ユニットを表示します。
- ・空調機 (A 制御) の場合は、室内ユニットアドレスを表示します。
- ・室外ユニットは ()、サブ室外ユニットは () と表示します。

3. 「形名」を入力する。
4. 「待機電力」を [kW] で入力する。

お知らせ

- ・室外ユニットの待機電力を 0～1.000 [kW] の範囲で設定してください。
- ・初期値は 0.070 [kW] で推奨値です。
- ・室外ユニット 1 台 (1 アドレス) に圧縮機が 2 台搭載している機種は、待機電力量を 2 倍 (0.140 [kW]) に設定してください。

5. 設定完了後、[確定] をクリックする。

6-7-3. 室内機設定

接続されている室内ユニットの冷房能力、FAN 消費電力、待機電力を設定します。

「6-7-1. 課金設定」で「室内機電力按分モード」を「**按分しない**」に選択した場合も設定が必要です。

手順

1. 「課金設定」－「室内機設定」をクリックする。

室内機設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち室内機設定を行う対象を選択します。

室内ユニット
冷媒系設定で室内ユニットに登録した室内ユニットを表示します。

冷房能力
室内ユニットの冷房能力を入力します。

FAN 消費電力
室内ユニットの FAN 消費電力を入力します。

一括参照
室内ユニットの機種選択を一括で行います。

参照
機種選択画面を表示します。

待機電力
室内ユニットの待機電力を入力します。

形名
室内ユニットの形名を設定します。

確定
設定内容を確認します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「室内ユニット」に「設定対象の集中コントローラ」で選択したコントローラに接続している、室内ユニットのアドレスが表示していることを確認する。

お知らせ

- ・「6-6-2. 冷媒系設定」にて室内ユニットに設定した室内ユニット（空調機、A 制御機種、加熱加湿付ロスナイ）のアドレスと「6-6-1. グループ設定」にて設定したロスナイのアドレスを表示します。
- ・接続されている全ての室内ユニット（ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ含む）の設定を実施してください。

3. 「形名」を入力する。
4. 「冷房能力」、「FAN 消費電力」、「待機電力」を設定する。
設定は、初期設定ツールのデータベースを参照する方法と手動入力する方法があります。
5. 設定完了後、「**確定**」をクリックする。

(1) 初期設定ツールのデータベース参照

室内ユニットをデータベースから選択することで、形名、冷房能力、FAN 消費電力、待機電力が自動で入力できます。

また、形式、形名から選択できない機種の場合は、次ページの「(2) 手動入力」の手順で登録してください。

手順

1. 「参照」をクリックする。
室内ユニット設定画面が表示します。
2. 「種別」にて、「**空調機**」、「**ロスナイ**」、「**加熱加湿付ロスナイ**」を選択する。
3. 「形式」にて、室内ユニットの形式を選択する。
4. 「形名」にて、室内ユニットの形名を選択する。
5. 「電源周波数」にて、電源周波数を選択する。
6. 「OK」をクリックする。

(2) 手動入力

室内ユニットのカatalog (仕様書) を確認し、「冷房能力」「FAN消費電力」を入力してください。

手順

1. 「冷房能力」に室内ユニットの冷房能力 (kW) を入力する。
2. 「FAN消費電力」に室内ユニットのFAN消費電力 (kW) を入力する。
3. 「待機電力」に室内ユニットの待機電力 (kW) を入力する。

項目	形名	PLFY-P22LMG1	PLFY-P28LMG1	PLFY-P36LMG1
電源				
冷房能力 (kW) (注1)		2.2	2.8	3.6
S H F		0.83	0.74	0.71
暖房能力 (kW) (注1)		2.5	3.2	4.0
消費電力	冷房 (kW)	0.07 / 0.07		0.07/0.08
電気特性	暖房 (kW)	0.05 / 0.05		0.05/0.06
電流	冷房 (A)	0.39 / 0.39		0.40/0.42
	暖房 (A)	0.26 / 0.28		0.27/0.31
外形寸法 (mm) (注3)	高さ (H)	本体: 溶融亜鉛メッキ鋼板		
	幅 (W)	776<1080>		
	奥行 (D)			
熱交換器形式	形式 × 個数			
送風機	送風量 (m³/min) (強/中/弱) (注2)	9.5-8.0-6.5		
	機外静圧 (Pa)			
	電動機出力 (kW)	0.015		
エアフィルター	補助ヒーター (kW)			
冷媒配管寸法	液側 (mm)	φ6.35		
	ガス側 (mm)	φ12.7		
ドレン配管寸法				
騒音値 (dB (A特性値)) (強/中/弱) (注2)		31-28-25		
製品質量 (kg) (注3)		23<6.5>		24

例. 左記表の「PLFY-P36LMG1」であれば
 冷房能力: 3.6kW
 FAN消費電力: 50Hz 地域の場合: 0.07kW
 60Hz 地域の場合: 0.08kW
 となります。

お知らせ

- ・ ロスナイの場合は、冷房能力を入力できません。
 - ・ 室内ユニットの冷房能力を0～999.999 [kW] の範囲で設定してください。
 - ・ 室内ユニットのFAN消費電力を0～999.999 [kW] の範囲で設定してください。
 - ・ 室内ユニットの待機電力を0～1.000 [kW] の範囲で入力してください。
 - ・ 「待機電力」の初期値は0.005 [kW] で推奨値です。
 - ・ 空きテナントなどで料金計算に含まない場合は、冷房能力「0」・FAN消費電力「0」・待機電力「0」としてください。
- ただし、テナント入居後、元の設定に戻してください。

6-7-4. 計量設定

課金機能を使用する際に必要な電力量計と室内/室外ユニットを設定します。

「6-7-1. 課金設定」で、「計量計接続按分」を**[接続しない]**を選択した場合は、設定不要です。

手順

1. 「課金設定」－「計量設定」をクリックする。

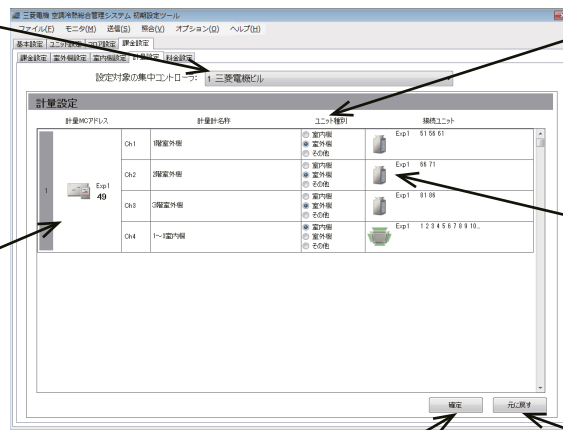
計量設定画面が表示します。

お知らせ

- 「6-6-6. 計量 MC 設定」にて設定された「拡張コントローラ No.」、「アドレス」、「計量計名称」を表示します。
- 計量用パルス入力の場合はアドレスを「PI」と表示します。
- 本画面では計量計名称の変更はできません。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち計量設定を行う対象を選択します。

計量 MC アドレス
接続されている計量用計測コントローラのアドレスを表示します。



ユニット種別
計量 MC の各 Ch に接続されているユニットの種別を選択します。

接続ユニット
クリックするとユニットアドレスの選択画面を表示します。


確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。


2. 「計量 MC アドレス」に「設定対象の集中コントローラ」で選択したコントローラ番号 ([Exp1] ~ [Exp4])、その拡張コントローラに接続している計量 MC のアドレス、および「計量計名称」に計量 MC の Ch1 ~ 4 の名称が表示していることを確認する。

「ユニット種別」にて、Ch1 ~ 4 の計量計が電力量計測を行うユニットの**[室内機]**、**[室外機]**、**[その他]**から種別を選択する。

(1) 室内ユニットの場合

[室内機]を選択すると「接続ユニット」にが表示します。

(2) 室外ユニットの場合

[室外機]を選択すると「接続ユニット」にが表示します。

(3) その他の場合

[その他]を選択すると「接続ユニット」には何も表示しません。

3. 「接続ユニット」のまたはをクリックする。 ユニットアドレスの選択画面が表示します。

4. 室内ユニットまたは室外ユニットの集中コントローラ ([Exp1] ~ [Exp4]) を選択する。

5. 登録する室内ユニットまたは室外ユニットのアドレス番号を選択する。

選択状態 (背景が黄緑色) になります。

選択を取り消す場合は、再度クリックすることで非選択状態 (背景が薄灰色) になります。

6. 設定完了後、**[確定]**をクリックする。

お知らせ

- サブ室外ユニットの登録は不要です。サブ室外ユニットは同一電源系統の室外ユニットに含まれます。

お知らせ

- 「6-6-6. 計量 MC 設定」にて設定したパルス単位が [kWh] 以外 ([m³]、[MJ]、[--]) の場合は、**[その他]**のみ選択可能です。
- 電力量計を空調用途以外に使用する場合や、電力量計以外の計量機器を接続する場合は **[その他]** を選択してください。
- 「6-7-1. 課金設定」の「A 制御機種電源」で **[室外機－室内機同一電源]** を選択した場合のユニット種別は、**[室外機]** を選択します。
- 室内ユニットの場合「6-6-1. グループ設定」にて空調機、空調機 (A 制御)、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイに設定したユニットアドレスと、「6-6-2. 冷媒系設定」にて設定した加熱加湿付ロスナイが選択できます。
- 室外ユニットの場合「6-6-2. 冷媒系設定」にて室外ユニットに設定したユニットアドレスが選択できます。
- 「6-6-6. 計量 MC 設定」、「6-6-7. 環境 MC 設定」にて設定したユニットアドレスは選択できません。

6-7-5. 料金設定

[1] 料金設定の概要

季節や曜日、特異日ごとに料金単価に従う時間帯を設定することができます。
料金単価は料金計算ツールで設定できます。

お知らせ

- ・ 料金単価の金額の設定は、料金計算ツールで行います。詳細は、「4-1-2. 料金計算ツールの設定」を参照してください。
- ・ 運用開始後に料金時間帯設定を削除する場合は、削除する料金時間帯の「繰り越しデータ」をクリアする必要があります。（「9-6(2) 繰り越しデータのクリア」を参照してください。）

「繰り越しデータ」をクリアしていない場合は、「0095 計量計故障の可能性警告」が表示します。

(1) 季節料金期間設定

季節ごとの料金単価を使用するかを設定することができます。
使用する場合、季節料金期間を設定できます。

(2) 週間料金設定

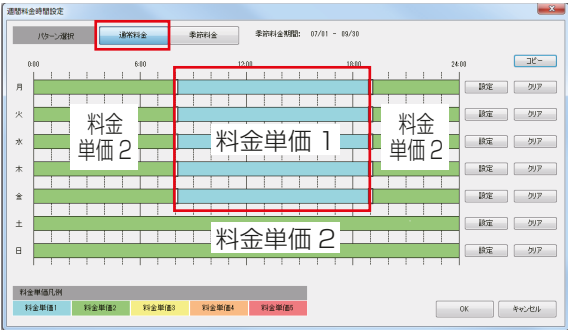
「パターン選択」で、通常料金または(1)で設定した季節料金を選択し、曜日および時間帯ごとの料金単価を設定することができます。

例：夏の電力需給が高い期間（7月1日～9月30日）の電力料金を高く設定する。

Table with 12 columns (months) and 2 rows (Typical/Seasonal rates and Unit prices).

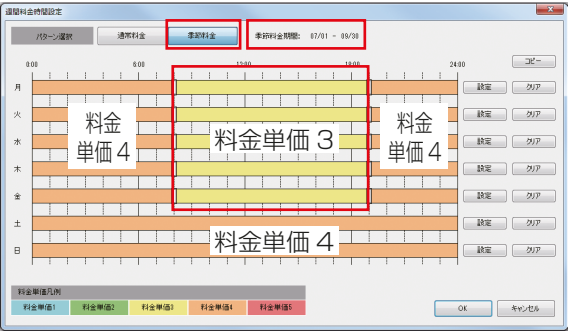
【通常料金】

1月1日～6月30日、10月1日～12月31日



【季節料金】

7月1日～9月30日



上記の季節料金の場合

Table showing the breakdown of seasonal rates by day of the week and time zone.

例：平日の8：30～17：00とそれ以外の時間帯で料金単価を別にする。
平日の定時間内：料金単価3(24円/kWh)、平日の時間外：料金単価4(23円/kWh)
また、平日と休日で料金単価を別にする。
休日：料金単価4(23円/kWh)

(3) 特異日料金設定

特定の日付を指定し、料金単価を設定できます。

例：祝日や特別日で、(2) 週間料金設定に当てはまらない特別日の料金単価を設定する。

A：会社イベント B：祝日

料金時間帯を設定したパターン（A～E）をそれぞれの特異日に割り当てることができます。

[2] 課金機能を使用する際に必要な料金設定をする

手順

1. [課金設定]－[料金設定]をクリックする。

料金設定画面が表示します。

設定対象集中コントローラ
接続構成設定した集中コントローラのうち料金設定を行う対象を選択します。

特異日料金時間設定
クリックすると特異日料金設定画面を表示します。

精算日設定
AE-200J 本体液晶画面のエネルギー管理表で表示する期間を設定します。

季節料金期間設定
季節料金適用期間を入力します。

週間料金時間設定
クリックすると週間料金時間設定画面を表示します。

確定
設定内容を確定します。

元に戻す
設定内容を破棄し、表示を元に戻します。

2. 「季節料金期間設定」にて、[有効]と[無効]を選択する。

季節によって料金単価を変更する場合は、[有効]を選択し、季節料金期間を入力してください。

対象期間は年をまたいで設定することができます。(例：12/1～1/31)

閏年に関わらず2/29は設定可能です。閏年以外の年は開始日の場合3/1、終了日の場合2/28となります。

6. 初期設定

電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目

3. 「週間料金時間設定」にて週間の料金単価と料金時間帯の設定を行う。

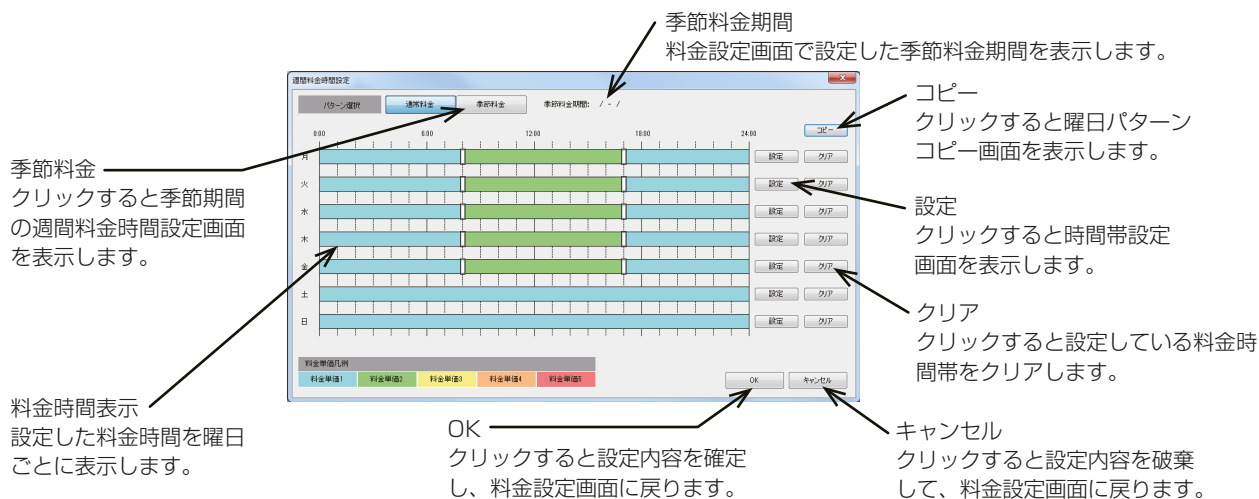
時間帯別の料金単価設定が色分けして、各曜日ごとに表示します。「季節料金期間設定」を[有効]としていた場合、「通常料金」と「季節料金」の2種類の料金期間を使用できます。

料金単価は5種類まで登録することができます。料金単価は料金計算ツールで設定してください。

料金時間帯は1曜日あたり10個まで登録することができます。

初回起動時は、全曜日・全時間帯に「料金単価1」が設定されています。

クリアをクリックした場合は、0:00～24:00まで「料金単価1」が設定されます。



[3] 曜日ごとに料金単価と料金時間帯を設定する

(1) 新規登録する場合

手順

1. 「週間料金時間設定」にて[設定]をクリックする。
「時間帯設定」画面が表示します。
2. 開始時間と終了時間を入力し、料金単価を選択して、[OK]をクリックする。

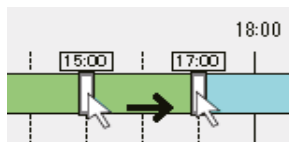
お知らせ

- 既に料金時間帯が設定していた時間帯に、新規登録の時間が重複した場合は、重複した時間帯が上書きされます。
- 一度に複数の料金単価と時間を設定することはできません。複数設定する場合は料金単価と時間帯を1つずつ設定してください。
- 1分単位で設定することができます。



お知らせ

- 「週間料金時間設定」および「特異日料金時間設定」画面にて区切り線をクリック&ドラッグすると、時間帯を10分単位で変更することができます。



(2) 料金時間帯を変更する場合

手順

1. 「週間料金時間設定」画面にて変更する時間帯をクリックする。
クリックした時間帯と料金単価を反映した「時間帯設定」画面が表示します。
2. 変更内容を入力・選択して、[OK]をクリックする。

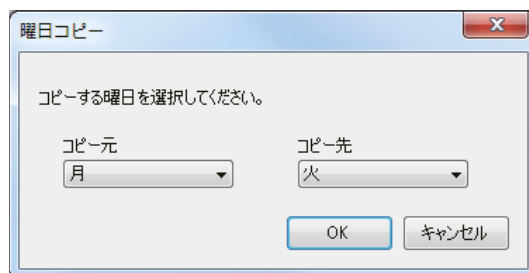
(3) 他の曜日からコピーする場合

手順

1. 「週間料金時間設定」画面にて、[コピー]をクリックする。
2. 「コピー元」、「コピー先」を設定し [OK] をクリックする。
コピー元の設定をコピー先へコピーします。

お知らせ

- ・「通常料金期間設定」と「季節料金期間設定」でまたがるコピーはできません。



[4]「特異日料金時間設定」にて特異日の料金単価と料金時間帯の設定を行う

時間帯別の料金単価設定をパターンA～Eまでの5種類登録し、特異日にパターンを割付けることができます。

お知らせ

- ・「特異日料金時間設定」は「週間料金時間設定」よりも優先されます。
- ・当日から24ヶ月先の月末まで設定可能です。
- ・料金時間帯は1パターンあたり10個まで登録することができます。
- ・パターンの割付数は全パターン合計で50日まで設定可能で、当日以前の日付に設定したパターンは含みません。
- ・初回起動時は、全パターン・全時間帯に「料金単価1」が設定されています。

パターン選択
特異日に設定するパターンを選択します。

パターン全解除
すべての特異日設定を解除します。

コピー
クリックすると特異日パターンコピー画面を表示します。

設定
クリックすると時間帯設定画面を表示します。

クリア
クリックすると設定されている料金時間帯をクリアします。

キャンセル
クリックすると設定内容を破棄して、料金設定画面に戻ります。

OK
クリックすると設定内容を確認し、料金設定画面に戻ります。

カレンダー部
パターンを選択し、日付をクリックすると選択したパターンを割付けます。

料金時間表示
設定した料金時間をパターンごとに表示します。

パターンA～Eに料金単価と料金時間帯を設定します。

(1) 新規登録する場合

手順

1. 「特異日料金時間設定」にて**【設定】**をクリックする。
「時間帯設定」画面が表示します。
2. 開始時間と終了時間を入力し、料金単価を選択して、**【OK】**をクリックする。

お知らせ

- ・既に料金時間帯が設定していた時間帯に、新規登録の時間が重複した場合は、重複した時間帯が上書きされます。
- ・一度に複数の料金単価と時間を設定することはできません。複数設定する場合は料金単価と時間帯を1つずつ設定してください。

(2) 料金時間帯を変更する場合

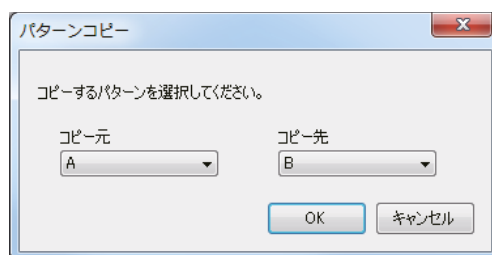
手順

1. 「特異日料金時間設定」画面にて変更する時間帯をクリックする。
クリックした時間帯と料金単価を反映した「時間帯設定」が表示します。
2. 変更内容を入力・選択して、**【OK】**をクリックする。

(3) 他のパターンからコピーする場合

手順

1. 「特異日料金時間設定」画面にて、**[コピー]**をクリックする。
2. 「コピー元」、「コピー先」を設定し**[OK]**をクリックする。
コピー元の設定をコピー先へコピーします。



(4) 特異日にパターンを登録します。

手順

1. 「パターン割付」にて、パターンを選択し、そのパターンを登録する日付を「カレンダー」上でクリックする。
登録したパターンを解除する場合は、「パターン割付」にて**[パターン解除]**を選択し、解除する日付を「カレンダー部」上でクリックする。
特異日設定を全て解除する場合は、「パターン割付」にて**[パターン全解除]**をクリックする。「確認」画面が表示するので**[OK]**をクリックする。



[5] 「精算日設定」にて精算日の設定を行う

「月末」または「毎月（1日～28日）」を選択することができます。

手順

1. 事前にビルオーナー様に精算日を確認する。
2. 精算日を**[月末]**または**[毎月（1日～28日）]**から設定する。
 - ・ **[月末]**を選択した場合、1日～月末までの電力量をAE-200J本体液晶画面「エネルギー管理表」に表示します。
 - ・ **[毎月（1～28日）]**を選択した場合、精算日の翌日～次の精算日までの電力量をAE-200J本体液晶画面「エネルギー管理表」に表示します。

お知らせ

- ・ 29日、30日、31日は精算日の毎月（精算日）として指定することができません。
- ・ 「精算日」にはAE-200J本体で表示のエネルギー管理表（月別表示）「初期設定ツールにて設定」と精算日計算（自動出力）「料金計算ツールにて設定」の2種類があります。
テナントごとの消費電力量とAE-200J本体のエネルギー管理表で表示する消費電力量を一致させるために精算日は同じ日に設定してください。

[6] 設定を保存する

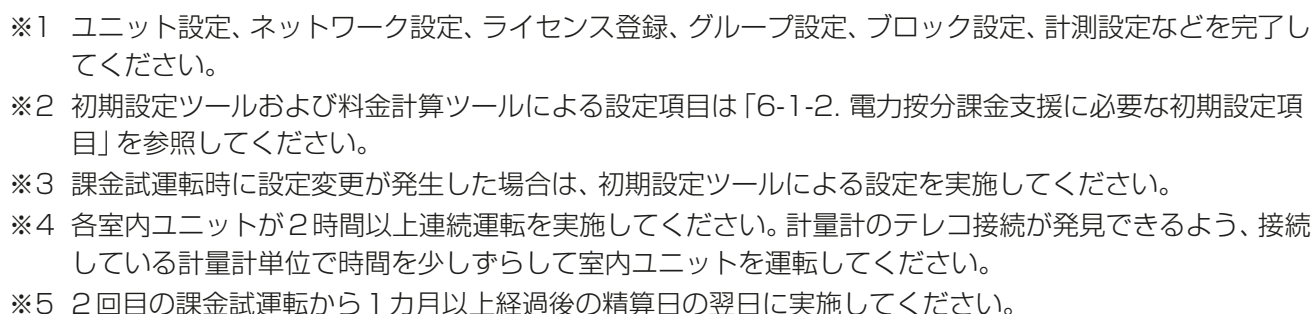
各設定完了後、**[確定]**をクリックする。

6-8. 料金計算ツールによる設定

料金計算ツールの初期設定項目の詳細については、下表の記載ページを参照してください。

◎：電力按分課金支援機能使用時に設定が必要な項目

設定項目		料金計算ツール	記載ページ
料金計算 詳細設定	計量計接続	◎	39
	待機電力量の料金計算	◎	
	通貨単位	◎	
	料金計算結果の表示順序	◎	40
	同一名称のエネルギー管理ブロック統合	◎	
	CSV ファイルの小数点記号	◎	41
	CSV ファイルの区切り記号	◎	
	料金単価設定	◎	42
	印刷設定	◎	30
	CSV 出力設定	◎	
	精算日設定	◎	31
	IP アドレス設定	◎	32



- BACnet[®]機能の課金機能をご利用の場合は、BACnet[®]機能の課金試運転も同時に行います。
BACnet[®]機能の課金試運転は「取扱説明書 BACnet[®]電力按分課金支援機能 試運転手順編」を参照してください。

7-1. 課金試運転の流れ

電力按分課金支援機能の試運転チェックは、3回実施してください。

課金試運転チェックは、引き渡しまでに余裕を持って実施してください。

課金試運転期間中に料金計算ツールの設定どおり出力できることを確認してください。

課金設定内容の確認（課金試運転前の確認）

（設定内容の確認を行います。）

集中コントローラに読み込まれている計量値の補正を実施する。（「7-1[1] AE-200Jの計量値補正」を参照してください。）初期設定ツールによる課金設定が完了していることを確認してください。

初期設定ツールの【オプション】－【課金試運転チェックシート出力】より、「試運転時の確認」チェックシートを出力する。出力したエクセルシートの中には「課金関連シート」と「ユニット関連シート（拡張コントローラ台数分）」の2つがあります。

AE-200Jシステムが複数ある場合は、AE-200Jシステムごとにチェックシートを出力してください。

出力した課金関連シートに記載している内容を確認する。（「7-2-1. 課金関連シート」を参照してください。）出力したユニット関連シートに記載している内容を確認する。（「7-2-2. ユニット関連シート」を参照してください。）電力量計の情報（型式、乗率など）をチェックシートに記載する。（「7-2-1[5] 電力量計の確認」を参照してください。）試運転前の電力量計の電力値とAE-200Jの計量値をチェックシートに記載する。※1（「7-2-3. 電力量の記入」を参照してください。）

全室内ユニットが2時間以上運転（冷房または暖房）する。

中間期など空調機がサーモONしにくい場合、空調機試運転を実施することをお勧めします。

1回目：空調機連続運転後の確認

試運転後の電力量計の電力値とAE-200Jの計量値をチェックシートに記載する。※2

（「7-3-11 電力量の記入（試運転後）」を参照してください。）

※1（試運転前）と※2（試運転後）の電力量差分値で確認する。（「7-3-1[1](2) 差分値の確認」を参照してください。）

※5 { USBメモリを使用してAE-200JよりCSVデータ（計量計）を取得して、課金関連シートに数値を記入する。（「7-3-1[1](3) 料金単価別データの確認」を参照してください。）
ユニット関連シートの按分電力量（料金単価別）を各計量計ごとに合計して、課金関連シートの計量結果（料金単価別）と比較する。（「7-3-1[1](4) 各種電力種類別データの確認」を参照してください。）
USBメモリを使用してAE-200JよりCSVデータ（エネルギー管理ブロック）を取得して、ユニット関連シートにCSVデータ（エネルギー管理ブロック）の数値を記入する。（「7-3-1[2] ユニット関連シート」を参照してください。）
ユニット関連シートの按分電力量合計（按分電力量を全ての合計）と、課金関連シートの合計電力量（室内機と室外機の合計）で比較する。（「7-3-1[2] ユニット関連シート」を参照してください。）

2回目：1回目から10日以上経過後の確認

初期設定ツールの【オプション】－【課金試運転チェックシート出力】より、「10日後の確認」チェックシートを出力する。

試運転後の電力量計の電力値とAE-200Jの計量値をチェックシートに記載する。※3（「7-3-11 電力量の記入（試運転後）」を参照してください。）

※2（試運転前）と※3（試運転後）の電力量差分値で確認する。（「7-3-1[1](2) 差分値の確認」を参照してください。）

※5の確認作業を行います。（期間は1回目の試運転～2回目実施日の前日となります。）

3回目：精算日の翌日（2回目から1ヶ月以上経過後）の確認

初期設定ツールの[オプション]－[課金試運転チェックシート出力]より、「精算日の翌日の確認」チェックシートを出力する。

試運転前の電力量計の電力値とAE-200Jの計量値をチェックシートに記載する。※4（「7-3-11 電力量の記入（試運転後）」を参照してください。）

※3（試運転前）と※4（試運転後）の電力量差分値で確認する。（「7-3-1[1](2) 差分値の確認」を参照してください。）

※5の確認作業を行います。（期間は2回目の試運転～精算日となります。）

最終確認

実運用の設定に誤りがないか再度確認してください。（「7-4-1. 実運用設定の最終確認」を参照してください。）全てのチェックシートに必要な事項が記載されていて内容に間違いがないか、計量結果に間違いがないか確認し、お客様に提出し大切に保管してください。


お知らせ

- ・本説明では、電力量計量（計量計あり）方式の場合を説明しています。電力量手入力（計量計なし）方式の場合は、計量計関連のチェックが不要となります。
- ・課金試運転チェックシート「試運転後の確認」「10日後の確認」「精算日の翌日の確認」の3種類出力することが可能です。
ただし、試運転の途中で設定変更が発生した場合は、初期設定ツールによる設定を実施のうえ、再度課金試運転チェックを行ってください。
- ・運用中にエネルギー管理ブロックの変更など課金設定を変更する場合は、再度課金試運転チェックを行ってください。

[1] AE-200Jの計量値補正

電力按分課金支援機能に使用する電力量計の値とAE-200J本体画面の計測一覧画面の計測値を合わせます。

手順

1. [初期設定]－[ユニット情報2]画面の「試運転」を[利用する]に設定し、[設定保存]をタッチする。
2. [監視/操作]－[計測]をタッチする。
計測一覧画面が表示します。
3. 「表示機器」をタッチして電力量計が接続されている集中コントローラを選択する。
4. 電力量横の「計測値編集」の（）をタッチする。
計測値編集画面が表示します。
5. 「補正後の値」をタッチして現在の電力量計の値を入力し、[OK]をタッチする。
6. 補正完了後は、[初期設定]－[ユニット情報2]画面に戻り「試運転」を[利用しない]に戻して[設定保存]をタッチする。

※ 計測値編集画面表示中はパルスが入力されても表示は変化しません。空調機の停止中に補正することを推奨します。

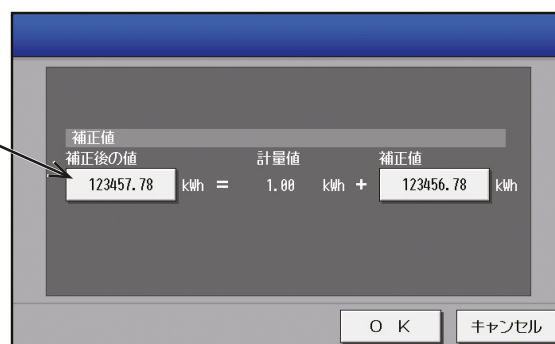
※ 電力量の補正は画面表示のみ行います。料金結果などには影響しません。



計測一覧画面

計測値編集

補正後の値



計測値編集画面

[2] 時刻設定の確認

AE-200Jと各拡張コントローラで時刻がずれていないかを確認します。AE-200Jと各拡張コントローラに対し、統合管理ブラウザの現在時刻設定を表示して、現在時刻がずれていないかを確認してください。

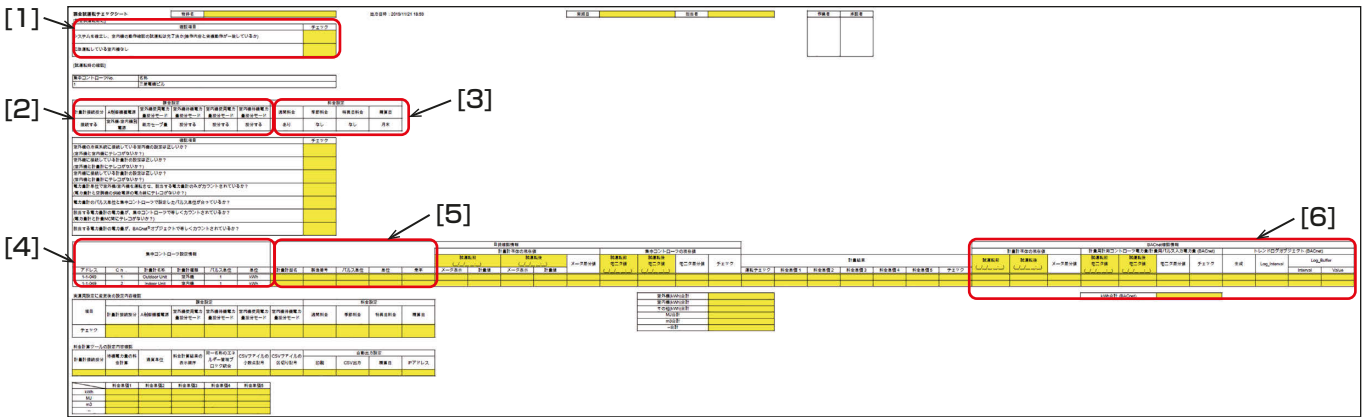
7-2. 課金設定内容の確認（課金試運転前の確認）

初期設定ツールの[オプション]－[課金試運転チェックシート出力]より、「試運転後の確認」チェックシート(Excelシート)を出力してください。出力したExcelシートの中に「課金関連シート」と「ユニット関連シート」の2つがあります。

AE-200Jシステムが複数ある場合は、AE-200Jシステムごとに「試運転後の確認」チェックシートを出力してください。

7-2-1. 課金関連シート

本シートは、AE-200Jシステムごとに1シートとなります。



[1] 課金試運転前に

内容の確認を実施し、問題がない場合はチェック欄にチェックします。
[課金試運転前に]

確認項目	チェック
システムを確立し、室内機の動作確認の試運転は完了済か（操作内容と実機動作が一致しているか）	
応急運転している室内機なし	

[2] 課金設定

「6-7-1. 課金設定」で設定した内容と違いがないことを確認します。

課金設定					
計量計接続按分	A 制御機種電源	室外機使用電力量按分モード	室外機待機電力量按分モード	室内機使用電力量按分モード	室内機待機電力量按分モード
接続する	室外機－室内機 同一電源	能力セーブ量	按分する	按分する	按分する
①	②	③	④	⑤	⑥

- ① 計量計接続按分（接続する／接続しない）
- ② A 制御機種がある場合（室外機－室内機同一電源／室外機－室内機別電源）
- ③ 室外機使用電力量按分モード（能力セーブ量／サーモ ON 時間／FAN 運転時間）
- ④ 室外機待機電力量按分モード（按分する／按分しない）
- ⑤ 室内機使用電力量按分モード（按分する／按分しない）
- ⑥ 室内機待機電力量按分モード（按分する／按分しない）

[3] 料金設定

「6-7-5. 料金設定」で設定した内容と違いがないことを確認します。

料金設定			
週間料金	季節料金	特異日料金	精算日
あり	あり	あり	月末
⑦	⑧	⑨	⑩

⑦ 週間料金 (あり)

⑧ 季節料金 (あり (有効) / なし (無効))

⑨ 特異日料金 (あり / なし)

パターン割付数が0 (なし) か 1 以上 (あり) で判断します。

⑩ 精算日 (月末 / 毎月 × × 日)

お知らせ

- ・「精算日」には、AE-200J本体で表示のエネルギー管理表示(月別表示)「初期設定ツールにて設定」と精算日計算(自動出力)「料金計算ツールにて設定」の2種類があります。テナントごとの消費電力量とAE-200J本体のエネルギー管理表で表示する消費電力量を一致させるために、精算日は同じ日に設定してください。

[4] 集中コントローラ設定 (計量計ありシステムの場合)

設定内容に間違いがないかを確認します。(「6-6-6. 計量 MC 設定」で設定した内容と違いがないことを確認します。)

集中コントローラ設定情報					
アドレス	Ch.	計量計名称	計量計種類	パルス単位	単位
1-1-050	1	50-1	室外機	1	kWh
1-1-050	2	50-2	室内機	1	kWh
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯

⑪ アドレス

計量用計測コントローラの場合は、(拡張コントローラ No.) - (ユニットアドレス) を表示します。

⑫ Ch.

⑬ 計量計名称

計量用計測コントローラの場合は、名称未入力の場合は (ユニットアドレス) - (Ch.) を表示します。

⑭ 計量計種類

「6-7-4. 計量設定」で設定したユニット種別を表示します。

⑮ パルス単位

⑯ 単位

お知らせ

- ・実際の電力量計のパルス単位が、[pulse/kWh] で記載されている場合があります。
この場合のパルス単位の設定は、その逆数 [kWh/pulse] の値を設定してください。
例：10 [pulse/kWh] の場合は、パルス設定値は 0.1 [kWh/pulse] となります。

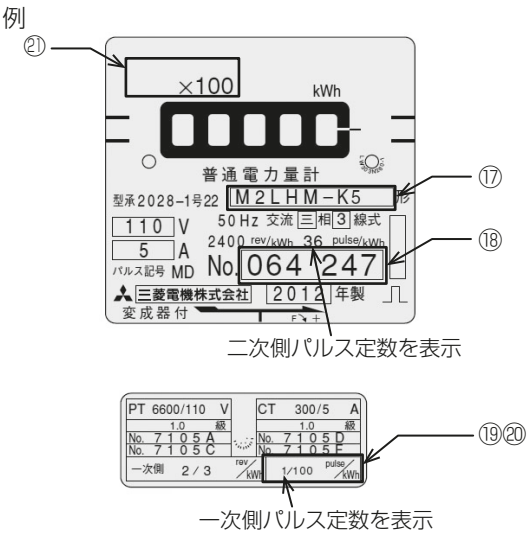
[5] 電力量計の確認

現地設置の電力量計の情報を入力します。

目視確認情報					計量計本体の現在値		集中コントローラの現在値
					試運転前 (2015/4/2 10:4)		試運転前 モニタ値 (2015/4/2 10:13)
計量計型名	製造番号	パルス単位	単位	乗率	メータ表示	計量値	
M2LHM-**	064247	1	kWh/pulse	1	1000	1000	1001
M2LHM-**	064248	1	kWh/pulse	1	170	170	170

目視確認情報

- ⑰ 計量計型名を記入します。
- ⑱ 製造番号を記入します。
- ⑲ パルス単位を記入します。
- ⑳ 単位を記入します。
- ㉑ 乗率を記入します。



[6] BACnet[®] 機能の確認

BACnet[®] 機能を利用する場合、「取扱説明書 BACnet[®] 電力按分課金支援機能 試運転手順編」を参照してください。

お知らせ

- BACnet[®] 機能を利用しない場合、Excelの機能 (☐ボタン) で本項目を非表示にすることができます。

7-2-2. ユニット関連シート

本シートは、AE-50J/EW-50Jごとに1シートとなります。

[1] 室外機・室内機設定

設定内容に間違いがないかを確認します。

フロアNo.	フロア名称	集中 コントロールNo.	室外機			室内機					室内機WHM	室外機WHM	
			ユニット アドレス	形名	待機電力	ユニット アドレス	種別	形名	冷房能力	FAN消費電力			待機電力
1 1F	ロビー	1-1	51	PUHY-P280 DMG3	0.07	1	空調機	PLFY-P36 JMG3	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
1 1F	ロビー	1-1	51	PUHY-P280 DMG3	0.07	2	空調機	PLFY-P36 JMG3	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
1 1F	ロビー	1-1	51	PUHY-P280 DMG3	0.07	3	空調機	PLFY-P36 JMG3	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
2 2F	設計フロア	1-1	52	PUHY-P280 DMG3	0.07	4	空調機	PLFY-P36 JMG3	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
2 2F	設計フロア	1-1	52	PUHY-P280 DMG3	0.07	5	空調機	PLFY-P36 JMG3	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
2 2F	設計フロア	1-1	52	PUHY-P280 DMG3	0.07	6	空調機	PLFY-P36 JMG3	2.2	0.03	0.005	1-1-050-1	1-1-050-2
①			②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩

① フロア No、フロア名称

AE-200J本体液晶画面の[監視/操作]－[フロア]より、フロアNo.と名称を記入し、設定に誤りがないかを確認します。

初期設定ツール Ver.1.10以降の場合、フロア階層設定の内容を出力します。

② 室外機ユニットアドレス

③ 室外機形名

初期設定ツール Ver.1.20以降の場合、室外機設定画面で設定した形名を出力します。

④ 室外機待機電力

⑤ 室内機ユニットアドレス

⑥ 室内機種別

⑦ 室内機形名

初期設定ツール Ver.1.20以降の場合、室内機設定画面で設定した形名を出力します。

⑧ 室内機（冷房能力、FAN消費電力、待機電力）

⑨ 室内機 WHM※

室内ユニットに接続されている電力量計に正しく出力されているかを確認します。

⑩ 室外機 WHM※

室外ユニットに接続されている電力量計に正しく出力されているかを確認します。

※ 計量用計測コントローラの場合	
1-1-050-1	④拡張コントローラ No.
① ② ③	⑤ユニットアドレス
計量用パルス入力の場合	
1-1-1	⑥CH No.
① ②	

②と⑤はAE-200J本体液晶画面[初期設定]－[冷媒系表示]より室外ユニットと室内ユニットの接続関係を確認します。

- ③・⑦は室外機と室内機の形名を記入し、室外機と室内機の組み合わせに誤りがないかを確認します。
- ⑤・⑥は「6-6-1. グループ設定」で設定したアドレスと種別より正しく入力しているか確認します。
- ②・④は「6-7-2. 室外機設定」で設定した室外ユニットアドレスと待機電力より正しく入力しているか確認します。室外ユニットの子機（OS1、OS2）が接続されている場合は、待機電力は親機と子機の合算値になります。
- ⑤・⑧は「6-7-3. 室内機設定」で設定した室内ユニットアドレスごとに冷房能力・FAN消費電力・待機電力より正しく入力しているか確認します。
- ⑤・⑨は「6-7-4. 計量設定」で設定した室内ユニットアドレスと室内機電力量計より正しく入力しているか確認します。
- ②・⑩は「6-7-4. 計量設定」で設定した室外ユニットアドレスと室外機電力量計より正しく入力しているか確認します。

お知らせ

- ・ 室外ユニット（アドレス：51）、サブ室外ユニット（アドレス：52）の場合は、ユニットアドレス：51/52、待機電力：0.14と出力します。
- ・ ロスナイの場合、室外ユニットのアドレス、待機電力、室内ユニットの冷房能力は「-」表示になります。
- ・ 汎用インターフェース、環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラの場合、室外ユニットのアドレス、待機電力、室内機の冷房能力、FAN消費電力、待機電力は「-」表示になります。
- ・ 料金計算結果はエネルギー管理ブロック単位で出力します。
- ・ A制御機種は「冷媒系表示」画面に表示しません。別途接続状況を確認してください。

[2] 室内機の設定（グループ・操作ブロック・エネルギー管理ブロック）

設定内容に間違いがないかを確認します。

フロアNo.	フロア名称	集中 コントローラNo.	室内機	グループ		操作ブロック		エネルギー管理ブロック	
			ユニット アドレス	No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	1F	1-1	1	1	1グループ	1	1操作ブロック	1	1エネルギー管理ブロック
1	1F	1-1	2	2	2グループ	1	1操作ブロック	1	1エネルギー管理ブロック
1	1F	1-1	3	2	3グループ	2	3操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
2	2F	1-1	4	3	4グループ	2	3操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
2	2F	1-1	5	3	5グループ	3	5操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック
2	2F	1-1	6	4	6グループ	3	5操作ブロック	2	2エネルギー管理ブロック

⑪

⑫

⑬

⑪ グループ

「6-6-1. グループ設定」で設定した室内ユニットのアドレスとグループNo.の関連性、およびグループ名称に間違いがないかを確認します。

⑫ 操作ブロック

「6-6-4. 操作ブロック設定」で設定したグループNo.と操作ブロックNo.の関連性、および操作ブロック名称に間違いがないかを確認します。

⑬ エネルギー管理ブロック

「6-6-5. エネルギー管理ブロック設定」で設定した操作ブロックNo.とエネルギー管理ブロックNo.の関連性、およびエネルギー管理ブロック名称に間違いがないかを確認します。

[3] BACnet[®] 機能の確認

BACnet[®] 機能を利用する場合、「取扱説明書 BACnet[®] 電力按分課金支援機能 試運転手順編」を参照してください。

お知らせ

- ・ BACnet[®] 機能を利用しない場合、Excelの機能（☐ボタン）で本項目を非表示にすることができます。

7-2-3. 電力量の記入

課金関連シートに電力量計の電力値とAE-200Jの計量値を記入します。

目視確認情報					計量計本体の現在値		集中コントローラの現在値
計量計型名	製造番号	パルス単位	単位	乗率	試運転前 (2015/4/2 10:4)		試運転前 モニタ値 (2015/4/2 10:13)
					メータ表示	計量値	
M2LHM-**-	064247	1	kWh/pulse	1	1000	1000	1001
M2LHM-**-	064248	1	kWh/pulse	1	170	170	170

②

③

⑤

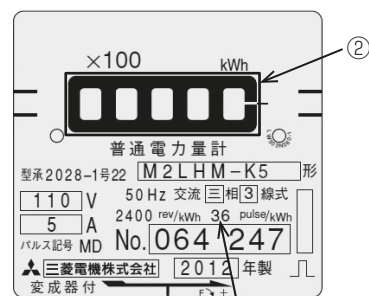
計量計本体の現在値

- ① 確認した日時を記入します。
- ② 試運転前のメータ表示を記入します。(5桁の数字)
- ③ 試運転前の計量値を記入します。(メータ表示値×乗率)

集中コントローラの現在値

- ④ 確認した日時を記入します。
- ⑤ AE-200J本体液晶画面の[監視/操作]－[計測]で、試運転前のモニタ値を記入します。

例



二次側パルス定数を表示

お知らせ

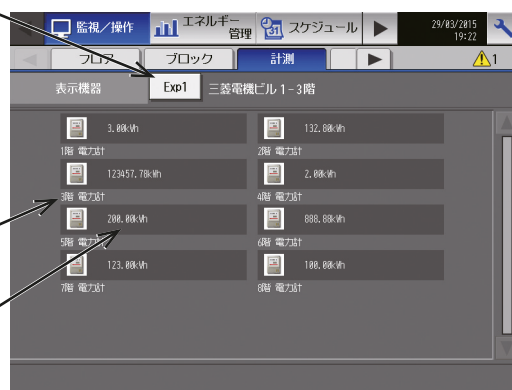
- AE-200J本体液晶画面のモニタ値の表示方法は[監視/操作]－[計測]を選択します。

表示機器

AE-200のデータを表示するには[AE200]、各AE-50J/EW-50Jのデータを表示するには[Exp1]～[Exp4]を選択してください。

計測項目

計測値



AE-200J計測一覧画面

7-3. 課金試運転チェック

課金試運転チェック時に数値が逸脱した場合、修正後再度課金試運転を実施してください。

7-3-1. 1回目(空調機連続運転後)の確認

課金設定後(連続運転前)より2時間以上全空調機を連続運転を行った後に実施します。計量計のテレコ接続が発見できるよう、接続している計量計単位で時間を少しずらして室内ユニットを運転してください。前項で印刷したチェックシートを使用します。

[1] 課金関連シート

(1) 電力量の記入(試運転後)

試運転後の電力量計の値とAE-200Jの計量値を記入します。

集中コントローラ設定情報			目視確認情報									
			計量計本体の現在値					集中コントローラの現在値				
			試運転前 (2015/4/2 10:4)	試運転後 (2015/4/3 9:12)	メータ 差分値	試運転前 (2015/4/2 10:13)	試運転後 (2015/4/3 9:24)	モニタ 差分値	チェック			
アドレス	Ch	計量計名称	計量計型名	メータ表示	計量値	メータ表示	計量値					
1-1-050	1	50-1	M2LHM-**	1000	1000	1060	1060	1001				
1-1-050	2	50-2	M2LHM-**	170	170	200	200	170				

②

③

⑤

計量計本体の現在値

- ① 確認した日時を記入します。
- ② 試運転後のメータ表示を記入します。
- ③ 試運転後の計量値を記入します。

集中コントローラの現在値

- ④ 確認した日時を記入します。
- ⑤ 試運転後のモニタ値を記入します。

お知らせ

- ・「7-2-3. 電力量の記入」を参照してください。

(2) 差分値の確認

集中コントローラ設定情報				目視確認情報										
				計量計本体の現在値					集中コントローラの現在値					
				試運転前		試運転後			試運転前		試運転後		モニタ 差分値	チェック
				(2015/4/2 10:4)	(2015/4/3 9:12)	メータ 差分値	(2015/4/2 10:13)	(2015/4/3 9:24)						
アドレス	Ch.	計量計名称	計量計型名	メータ表示	計量値	メータ表示	計量値							
1-1-050	1	50-1	M2LHM-**	1000	1000	1060	1060	60	1001	1061	60	レ		
1-1-050	2	50-2	M2LHM-**	170	170	200	200	30	170	200	30	レ		

⑥

⑦

⑧

- ⑥ 計量計本体の現在値 (試運転後の計量値－試運転前の計量値) より、メータ差分値を算出します。
電力量計の電力量の差に「0」の値は無い確認する。
- ⑦ 集中コントローラの現在値より、モニタ差分を算出します。
モニタ値の差に「0」の値は無い確認する。
「0」の値の場合、計量 MC 設定のパルス値に誤りが無いかを確認してください。
- ⑧ 試運転前より計量値・モニタ値が大きくなっていることを確認する。
⑥と⑦がほぼ一致していることを確認し、問題がなければチェック欄にチェックします。

お知らせ

- 実際の電力量算出は、目視確認を実施する時間差により、完全には一致しない場合があります。

(3) 料金単価別データの確認

AE-200J 本体から CSV データ (按分結果) 「計量計」を出力し、値を記入します。

CSV データの取り出し方

AE-200J 本体から USB メモリを用いて取得する場合

手順

- AE-200J カバーを取外し、USB メモリを接続する。
- [エネルギー管理]－[エネルギー管理表] 画面で [CSV 出力] を選択する。



- 課金試運転を実施した期間を設定し [計量計] と [1 日単位データ] を選択した状態で [CSV 出力] をタッチする。
設定した期間中の各料金単価ごとの電力量を表示しているので、チェックシートに記入する。

料金計算ツールを用いて LAN から取得する場合

手順

- 料金計算ツールを起動し、料金計算画面で以下の設定を行う。
 - 計算期間設定を試運転期間にする。
 - 按分データ入力方法を [AE-200 から LAN で取得] にする。
 - 取得する AE-200J のアドレスと、管理者 ID、管理者パスワードを設定する。
- [料金計算開始] をクリックする。

3. 料金計算後、「マイドキュメント¥CCTool¥Log¥年月日フォルダ」に計算に用いたCSVファイルM_XX_App_IC_YYYYYY_ZZZ.csv (XX：AE-200のNo.、YYおよびZZ：出力年月日) を開く。



CSV データ (按分結果)「計量計」

611	按分計算結果(計量計)							
期間：2015/04/02 00:00 - 2015/04/03 00:00								
計量計名称	ユニットアドレス	計量値	(料金単価1)	(料金単価2)	(料金単価3)	(料金単価4)	(料金単価5)	単位
50-1	1-1-050	60	40.0	20.0	0	0	0	kWh
50-2	1-1-050	15	10.0	5.0	0	0	0	kWh

課金関連シート

集中コントローラ設定情報				計量結果					
アドレス	Ch.	計量計名称	計量計種類	運転チェック	料金単価 1	料金単価 2	料金単価 3	料金単価 4	料金単価 5
1-1-050	1	50-1	室外機	レ	40	20			
1-1-050	2	50-2	室内機	レ	10	5			

⑩

⑨

- ⑨ AE-200J 本体の計量計の 1 日単位の CSV データを取り出し、料金単価別の電力量データを記入します。料金単価未設定の項目は「0」となります。
- ⑩ 試運転期間中、運転した時間の料金単価別に電力量を計量できたか(異常が発生しなかったか)を確認し、正常ならばチェック欄にチェックします。

(4) 各種電力種類別データの確認

室外機(kWh)合計	60
室内機(kWh)合計	30
その他(kWh)合計	0
MJ合計	49
m3合計	0
--合計	0

⑨

⑪ 各計量計ごとに合計し、合計値を記入します。

- ・「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 [kWh] を選択し、「課金設定」－「計量設定」でユニット種別を【**室外機**】を選択した場合は室外機 (kWh) 合計に、【**室内機**】を選択した場合は室内機 (kWh) 合計に、【**その他**】を選択した場合はその他 (kWh) 合計に合算します。
- ・「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 [MJ] を選択した場合は、MJ 合計に合算します。
- ・「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 [m³] を選択した場合は、m³合計に合算します。
- ・「ユニット設定」－「計量 MC 設定」でパルス単位 [--] を選択した場合は、--合計に合算します。

お知らせ

- ・「課金設定」－「課金基本設定」にて A 制御機種電源を【**室外機－室内機同一電源**】を選択している場合は、室外機 (kWh) 合計に合算します。
- ・「課金設定」－「課金基本設定」にて A 制御機種電源を【**室外機－室内機別電源**】を選択している場合は、室内機 (kWh) 合計・室外機 (kWh) 合計に別々に合算します。

(5) チェック

再度内容の確認を実施し、設定に間違いがない場合はチェック欄にチェックします。

確認項目	チェック
室外機の冷媒系統に接続している室内機の設定は正しいか？ (室外機と室内機にテレコがないか？)	
室外機に接続している計量計の設定は正しいか？ (室外機と計量計にテレコがないか？)	
室内機に接続している計量計の設定は正しいか？ (室内機と計量計にテレコがないか？)	
電力量計単位で室外機/室内機を運転して、該当する電力量計のみがカウントされているか？ (電力量計と空調機の供給電源の電力線にテレコがないか？)	
電力量計のパルス単位と集中コントローラで設定したパルス単位が合っているか？	
該当する電力量計の電力量が、集中コントローラで等しくカウントしているか？ (電力量計と計量MC間にテレコがないか？)	
該当する電力量計の電力量が、BACnet [®] オブジェクトで等しくカウントしているか？	

(6) BACnet[®] 機能の確認

BACnet[®] 機能を利用する場合、「取扱説明書 BACnet[®] 電力按分課金支援機能 試運転手順編」で BACnet[®] の課金試運転を行ってください。

[2] ユニット関連シート

AE-200J本体からCSVデータ(按分結果)「エネルギー管理ブロック」を出力し、値を記入します。

CSVデータの取り出し方

AE-200J本体からUSBメモリを用いて取得する場合

手順

1. AE-200Jカバーを取外し、USBメモリを接続する。
2. [エネルギー管理] - [エネルギー管理表] 画面で [CSV出力] を選択する。



3. 課金試運転を実施した期間を設定し [エネルギー管理ブロック] と [1日単位データ] を選択した状態で [CSV出力] をタッチする。
設定した期間中の各料金単価ごとの電力量を表示しているの、チェックシートに記入する。

料金計算ツールを用いてLANから取得する場合

手順

1. 料金計算ツールを起動し、料金計算画面で以下の設定を行う。
 - ・ 計算期間設定を試運転期間にする。
 - ・ 按分データ入力方法を [AE-200からLANで取得] にする。
 - ・ 取得するAE-200Jのアドレスと、管理者ID、管理者パスワードを設定する。
2. [料金計算開始] をクリックする。
3. 料金計算後、「マイドキュメント¥CCTool¥Log¥年月日フォルダ」に計算に用いたCSVファイルM_XX_App_MC_YYYYYY_ZZZ.csv (XX: AE-200のNo., YYおよびZZ: 出力年月日) を開く。



CSVデータ (按分結果)「エネルギー管理ブロック」

※「ステータス」に「-2」が表示されている場合は、該当日に按分計算を行えなかったなどの理由で、該当日に繰り越しが発生しています。

エネルギー管理ブロック	ユニット アドレス	日付					室外機分 按分電力量	(料金単価1)		(料金単価2)		室内機分 按分電力量		(料金単価1)		(料金単価2)			
								使用電力量	待機電力量	使用電力量	待機電力量	使用電力量	待機電力量	使用電力量	待機電力量				
		[年]	[月]	[日]	[時]	[分]	[kWh]	[kWh]	ステータス	[kWh]	[kWh]	ステータス	[kWh]	[kWh]	ステータス	[kWh]	[kWh]	ステータス	
1 エネルギー管理ブロック	1-001	2015	4	2	0	0	7.36	4.8	0.12		2.4	0.04		3.62	2.4	0.01		1.2	0.01
2 エネルギー管理ブロック	1-002	2015	4	2	0	0	14.36	9.6	0.12		4.6	0.04		7.12	4.8	0.01		2.3	0.01

ユニット関連シート

集中 コントローラNo.	室外機 ユニット アドレス	室内機 ユニット アドレス	エネルギー管理ブロック		運転チェック	異常表示チェッ ク	按分電力量								チェック
			No.	名称			料金率値1				料金率値2				
							室外機 使用電力量	待機電力量	室内機 使用電力量	待機電力量	室外機 使用電力量	待機電力量	室内機 使用電力量	待機電力量	

1-1	51/62	1	1	エネルギー管理 ブロック1	レ	レ	4.8	0.12	2.4	0.01	2.4	0.04	1.2	0.01	レ
1-1	51/62	2	1	エネルギー管理 ブロック1	レ	レ	9.6	0.12	4.8	0.01	4.6	0.04	2.3	0.01	レ

②

③

④

⑤

④

⑤

⑦

按分電力合計

32.46kWh

②

③

④

⑤

④

⑤

⑦

按分電力合計 32.46kWh

⑥

(1) 試運転が正常に実施できたかを確認します。

- ① 課金試運転期間の日時を記します。
- ② 運転操作に対し正常に運転することを確認し、チェック欄にチェックします。
- ③ 異常が発生させて異常表示することを確認し、チェック欄にチェックします。

(2) AE-200 本体のエネルギー管理ブロックの1日単位のCSVデータより、チェックシートに記載します。

- ④ 各室外ユニットごとに料金単価1～5の室外機使用電力量／待機電力量をチェックシートに記載します。
- ⑤ 各室内ユニットごとに料金単価1～5の室内機使用電力量／待機電力量をチェックシートに記載します。

(3) 合計の電力量が正しいかを確認します。

- ⑥ 電力量計ごとに接続されている室内機または室外機の電力量の合計と、電力量計の差分値がほぼ一致しているかを電力量計ごとに確認する。
 - ・ 合計の電力量は、小数点以下2桁目で四捨五入し小数点以下1桁までとなるため、完全に一致しない場合があります。
 - ・ 実際の電力量は目視確認を実施する時間差により、完全には一致しない場合があります。
- ⑦ 料金単価別に正しく電力量が按分できているかを確認し、チェック欄にチェックします。
 - ・ 設定している料金単価の使用電力量・待機電力量が「0」ではないことを確認する。
「0」の場合は、正しく設定が行われているか確認してください。詳細は「9-6(3) 使用電力量が「0」のユニットがある場合」、「9-6(4) 待機電力量が「0」のユニットがある場合」を参照してください。誤設定があれば修正し再度課金試運転チェックをおこなってください。
「0」の場合でも、ユニットが運転していないか、消費電力量が少なくパルスが入っていない可能性がありますので、設定が正しい場合は課金パラメータを確認ください。
 - ・ 計量計の電力量と同系統の使用電力量・待機電力量を合算した値がほぼ一致することを確認してください。

お知らせ

- ・ 室内機が停止している期間は、待機電力量が冷房能力比で按分されます。
- ・ 待機電力量を「**按分しない**」に設定している場合は、すべて使用電力量として扱われ、待機電力量が0になります。

(4) 料金計算ツールで期日指定計算を行う。

正しく料金が出力していることを確認する。

出力の方法については、「3-1. 期日指定計算 (LAN 接続)」または「3-2. 期日指定計算 (USB)」を参照してください。

(5) BACnet[®] 機能の確認

BACnet[®] 機能を利用する場合、「取扱説明書 BACnet[®] 電力按分課金支援機能 試運転手順編」でBACnet[®] の課金試運転を行ってください。

7-3-2. 2回目(1回目の課金試運転から10日以上経過)の確認

初期設定ツールの[オプション]－[課金試運転チェックシート出力]より、「10日後の確認」チェックシート(Excelシート)を出力してください。

AE-200Jシステムが複数ある場合は、AE-200Jシステムごとにチェックシートを出力してください。

1回目の試運転と同様に1回目の課金試運転から作業時までの期間でチェックを実施します。

7-3-3. 3回目(2回目の課金試運転から一ヶ月以上経過後)の確認

初期設定ツールの[オプション]－[課金試運転チェックシート出力]より、「精算日の翌日の確認」チェックシート(Excelシート)を出力してください。

AE-200Jシステムが複数ある場合は、AE-200Jシステムごとにチェックシートを出力してください。

1回目の試運転と同様に2回目の課金試運転から精算日までの期間でチェックを実施します。

精算日計算を行う場合は、印刷またはCSV出力ができていることを確認する。

7-4. 最終確認

全てのチェックシートがあること、また間違いがないかをもう一度確認してください。

7-4-1. 実運用設定の最終確認

設定に誤りがないか再確認してください。

実運用設定に変更後の設定内容確認

項目	課金設定						料金設定			
	計量計接続按分	A制御機電源	室外機使用電力量 按分モード	室外機待機電力量 按分モード	室内機使用電力量 按分モード	室内機待機電力量 按分モード	通関料金	季節料金	特異日料金	精算日
チェック	接続する	室外機-室内機同一電源	能力セーブ量	按分する	按分しない	按分しない	あり	なし	なし	月末
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

料金計算ツールの設定内容確認

計量計接続按分	待機電力量の料金 計算	通貨単位	料金計算結果の表 示順序	同一名称のエネル ギー管理ブロック 統合	CSVファイルの 小数点記号	CSVファイルの 区切り記号	自動出力設定			
							印刷	CSV出力	精算日	IPアドレス
接続する	料金に含める	円	番号順	統合する	ピリオド	カンマ	月毎	月毎	月末	設定済み
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑

	料金単価1	料金単価2	料金単価3	料金単価4	料金単価5
kWh	20	18	25	23	20
MJ	0	0	0	0	0
m3	150	150	150	150	150
-	0	0	0	0	0

㉒

上記表の内容を実運用に切り替える際に、初期設定ツール・料金計算ツールにて確認してください。
実運用の設定内容に間違いがないか確認ください。

初期設定ツールにて確認する内容

①～⑥：[課金設定]-[課金設定]画面

⑦～⑩：[課金設定]-[料金設定]画面

料金計算ツールにて確認する内容

⑪～㉒：[詳細設定]画面

7-4-2. 最終報告

設定に問題がないことと、課金試運転チェックに問題がないことを確認し、全てのチェックシートをお客様に提出してください。

8. 照合

初期設定ツールと集中コントローラの間に設定の相違が無いかを確認することができます。
設定送信実行後、本機能を実施して確認してください。

手順

1. 初期設定ツールのツールバーの[照合]―[照合実行]をクリックする。

お知らせ

- ・ パソコンと集中コントローラがLANで接続している必要があります。
 - ・ パソコンにMicrosoft® Excel®をインストールする必要があります。
- 照合が完了したら、以下のメッセージが表示します。

メッセージ	意味	対処方法
照合処理は相違箇所なしで完了しました。	初期設定ツールと集中コントローラで設定が一致しています。	対処不要です。
Microsoft® Excel®がインストールされていません。 このままでは照合結果ファイルが作成できませんが、照合を実行してもよろしいですか？	Microsoft® Excel®がインストールされていないため、照合結果をExcelファイルに保存することができません。	Microsoft® Excel®をインストールした後、再度実行してください。
データ出力に失敗しました。	照合結果のExcelファイル出力に失敗しました。	出力フォルダの読み取り専用チェックマークを外してください。
以下の集中コントローラの機器構成が実機と一致しません。 集中コントローラの設定内容を見直してください。	初期設定ツールの接続構成設定画面で設定した集中コントローラの種別、または拡張コントローラの接続数が一致していません。	初期設定ツールの接続構成設定画面を修正して、実機の接続構成に合わせてください。
本ツールのバージョンと以下の集中コントローラの対応バージョンが一致しません。	集中コントローラのバージョンが古く、初期設定ツールに対応していません。	集中コントローラのアップデートを実施してください。 詳しくは「取扱説明書 初期設定編」を参照してください。
以下の集中コントローラとの通信に失敗しました。 集中コントローラとの接続を確認してください。	集中コントローラが通信異常です。	初期設定ツールと集中コントローラとの間のLAN接続を確認してください。
[設定画面名]に相違があります。	初期設定ツールと集中コントローラの間に設定が異なる箇所が存在します。	照合結果のExcelファイルを参考に手順2.で対処してください。

2. 設定に相違がある場合、以下の照合結果Excelファイルを開く。

マイドキュメント¥IsTool¥Verify¥yyyyMMddHHmmss.xlsx (yyyy：年、MM：月、dd：日、HH：時、mm：分、ss：秒)

集中コントローラ No.

エラーコード

画面名

エラーメッセージ

初期設定ツールの設定内容

集中コントローラ側で設定されている内容を表示します。

集中コントローラ No.	エラーコード	画面	エラーメッセージ	初期設定ツールの設定内容	集中コントローラ側で設定されている内容
1	1-1	グループ設定	グループが集中コントローラに存在しない。	11	
2	1-2	グループ設定	グループが初期設定ツールに存在しない。		14
3	1-3	グループ設定	グループの指定番号が集中コントローラに存在しない。	13,13,1	
4	1-4	グループ設定	グループの指定番号が初期設定ツールに存在しない。		15,13,1
5	1-5	グループ設定	グループのユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		15,16
6	1-6	グループ設定	通信異常		

照合エラーが発生した画面名を表示します。

エラーメッセージ
照合エラー内容を表示します。

初期設定ツールの設定内容
初期設定ツール側で設定されている内容を表示します。

3. エラーコードと設定内容を確認し、集中コントローラと初期設定ツール間で設定が異なる箇所を初期設定ツールで修正する。

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
		相違なし		その集中コントローラ No. は対処不要です。
		通信異常		初期設定ツールと集中コントローラの間の LAN 接続を確認してください。 その後、再度照合を行ってください。
1-1-1	グループ設定	グループが集中コントローラに存在しない。	グループ番号 例：1	集中コントローラと初期設定ツールでグループ構成が異なっています。 初期設定ツールのグループ設定画面で実構成に合わせてグループを設定し直してください。
1-1-2		グループが初期設定ツールに存在しない。		
1-1-3		グループの接点番号が集中コントローラに存在しない。	グループ番号, ユニットアドレス, 接点番号 例：1, 2, 3 (グループ 1 に汎用 DC のユニットアドレス 2 の接点番号 3 が設定されている)	
1-1-4		グループの接点番号が初期設定ツールに存在しない。		
1-1-5		グループのユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	グループ番号, ユニットアドレス 例：1, 2 (グループ 1 に汎用 DC 以外のユニットアドレス 2 が設定されている)	
1-1-6		グループのユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		
1-1-7		グループの機種が一致しない。	グループ番号, 機種名 例：1, ロスナイ (グループ 1 はロスナイ)	初期設定ツールで設定した機種が誤っているか、集中コントローラにユニットが接続されていません。 設定が誤っている場合は、初期設定ツールのグループ設定画面で実構成に合わせてグループを設定し直してください。 集中コントローラにユニットが接続されていない場合は、ユニットを正しく接続してから再度照合を行ってください。
1-1-8		グループの名称が一致しない。	グループ番号, グループ名称 例：1, 会議室 A (グループ 1 の名称は「会議室 A」)	集中コントローラと初期設定ツールでグループの設定が異なっています。 初期設定ツールのグループ設定画面で正しい設定に変更してください。
1-1-9		グループのアイコンが一致しない。	グループ番号, アイコン番号 例：1, 2 (グループ 1 のアイコン番号は 2 ※1)	
1-1-10		グループの操作設定が一致しない。	グループ番号, 操作設定 例：1, 操作禁止 (監視のみ) (グループ 1 の操作設定は「操作禁止 (監視のみ)」)	
1-1-11		グループの表示設定が一致しない。	グループ番号, 表示設定 例：1, 接点出力状態 (グループ 1 の表示設定は「接点出力状態」)	

8. 照合

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
1-2-1	冷媒系設定	室外ユニットの設定が集中コントローラに存在しない。	室外ユニットアドレス 例：51	集中コントローラと初期設定ツールで課金用の冷媒系設定が異なっています。 初期設定ツールの冷媒系設定画面で実構成に合わせて冷媒系を設定し直してください。
1-2-2		室外ユニットの設定が初期設定ツールに存在しない。		
1-2-3		サブ室外ユニット/室内ユニットの設定が集中コントローラに存在しない。	室外ユニットアドレス, サブ室外ユニット/室内ユニットアドレス 例：51, 1 (室外ユニット51に室内ユニット1が接続されている)	
1-2-4		サブ室外ユニット/室内ユニットの設定が初期設定ツールに存在しない。		
1-2-5		室外ユニットの設定が集中コントローラの実冷媒系と一致しない。	室外ユニットアドレス 例：51	初期設定ツールで設定した冷媒系が誤っているか、集中コントローラにユニットが接続されていません。 設定が誤っている場合は、初期設定ツールの冷媒系設定画面で実構成に合わせて冷媒系を設定し直してください。 集中コントローラにユニットが接続されていない場合は、ユニットを正しく接続してから再度照合を行ってください。
1-2-6		サブ室外ユニット/室内ユニットの設定が集中コントローラの実冷媒系と一致しない。	室外ユニットアドレス, サブ室外ユニット/室内ユニットアドレス 例：51, 1 (室外ユニット51に室内ユニット1が接続されている)	
1-3-1	連動ロスナイ設定	連動ロスナイのユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	連動ロスナイユニットアドレス 例：1	集中コントローラと初期設定ツールで連動ロスナイ設定が異なっています。 初期設定ツールの連動ロスナイ設定画面で正しい設定に変更してください。
1-3-2		連動ロスナイのユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		
1-3-3		連動元室内ユニットのユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	連動ロスナイユニットアドレス, 空調機ユニットアドレス 例：1, 2 (空調機ユニット2に連動ロスナイユニット1が連動している)	
1-3-4		連動元室内ユニットのユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
1-4-1	操作ブロック設定	操作ブロックが集中コントローラに存在しない。	操作ブロック番号 例：1	集中コントローラと初期設定ツールで操作ブロックの構成が異なります。 初期設定ツールの操作ブロック設定画面で実構成に合わせて操作ブロックを設定し直してください。
1-4-2		操作ブロックが初期設定ツールに存在しない。		
1-4-3		操作ブロックのグループ番号が集中コントローラに存在しない。	操作ブロック番号, グループ番号 例：1, 2 (操作ブロック1にグループ2が設定されている)	
1-4-4		操作ブロックのグループ番号が初期設定ツールに存在しない。		
1-4-5		操作ブロックの名称が一致しない。	操作ブロック番号, 操作ブロック名称 例：1, 会議室A (操作ブロック1の名称は「会議室A」)	
1-5-1	エネルギー管理ブロック設定	エネルギー管理ブロックが集中コントローラに存在しない。	エネルギー管理ブロック番号 例：1	集中コントローラと初期設定ツールでエネルギー管理ブロックの構成が異なります。 初期設定ツールのエネルギー管理ブロック設定画面で実構成に合わせてエネルギー管理ブロックを設定し直してください。
1-5-2		エネルギー管理ブロックが初期設定ツールに存在しない。		
1-5-3		エネルギー管理ブロックの操作ブロックが集中コントローラに存在しない。	エネルギー管理ブロック番号, 拡張コントローラ番号, 操作ブロック番号 例：1, 0, 1 (エネルギー管理ブロック1にAE-200J/AE-50J/EW-50Jの操作ブロック1が設定されている) 例：2, 1, 3 (エネルギー管理ブロック2に拡張コントローラ番号1の操作ブロック3が設定されている)	
1-5-4		エネルギー管理ブロックの操作ブロックが初期設定ツールに存在しない。		
1-5-5		エネルギー管理ブロックの加熱加湿付ロスナイが集中コントローラに存在しない。	エネルギー管理ブロック番号, 拡張コントローラ番号, 加熱加湿付ロスナイアドレス 例：1, 0, 2 (エネルギー管理ブロック1にAE-200J/AE-50J/EW-50Jの加熱加湿付ロスナイアドレス2が設定されている) 例：2, 1, 3 (エネルギー管理ブロック2に拡張コントローラ番号1の加熱加湿付ロスナイアドレス3が設定されている)	
1-5-6		エネルギー管理ブロックの加熱加湿付ロスナイが初期設定ツールに存在しない。		
1-5-7		同一エネルギー管理ブロック番号で一致しない。	エネルギー管理ブロック番号, エネルギー管理ブロック名称 例：1, テナントA (エネルギー管理ブロック1の名称は「テナントA」)	

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
1-6-1	計量 MC 設定	計量 MC のユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	計量 MC ユニットアドレス 例：50 (計量 MC アドレス 50)	集中コントローラと初期設定ツールで計量 MC の構成が異なります。 初期設定ツールの計量 MC 設定画面で実構成および実計量計に合わせて計量 MC を設定し直してください。
1-6-2		計量 MC のユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。	例：内蔵計量計 (本体内蔵の計量用パルス入力機能)	
1-6-3		計量 MC の計量計のパルス単位が一致しない。	計量 MC ユニットアドレス, 計量計番号, “パルス単位” 例：50, 1, “0.1” (計量 MC50 の計量計 1 はパルス単位 0.1)	
1-6-4		計量 MC の計量計の単位記号が一致しない。	計量 MC ユニットアドレス, 計量計番号, 単位記号 例：50, 1, kWh (計量 MC50 の計量計 1 は単位 kWh)	
1-6-5		計量 MC の計量計の名称が一致しない。	計量 MC ユニットアドレス, 計量計番号, 計量計名称 例：50, 1, 室外機電力量計 1 (計量 MC50 の計量計 1 の名称は「室外機電力量計 1」)	
1-7-1	環境 MC 設定	環境 MC のユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	環境 MC ユニットアドレス 例：50	集中コントローラと初期設定ツールで環境 MC の構成が異なります。 初期設定ツールの環境 MC 設定画面で実構成および実計量計に合わせて環境 MC を設定し直してください。
1-7-2		環境 MC のユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		
1-7-3		環境 MC のセンサの利用区分が一致しない。	環境 MC ユニットアドレス, センサ番号, センサ種別 例：50, 1, 温度センサ (環境 MC アドレス 50 のセンサ番号 1 は温度センサ)	
1-7-4		環境 MC のセンサの計測範囲が一致しない。	環境 MC ユニットアドレス, センサ番号, “計測範囲下限”, “計測範囲上限” 例：50, 1, “0”, “100” (環境 MC アドレス 50 のセンサ番号 1 の計測範囲は 0～100)	
1-7-5		環境 MC のセンサの補正値が一致しない。	環境 MC ユニットアドレス, センサ番号, “センサ補正値” 例：50, 1, “-0.5” (環境 MC アドレス 50 のセンサ番号 1 のセンサ補正値は -0.5)	
1-7-6		環境 MC のセンサの警報メール温度閾値設定が一致しない。	環境 MC ユニットアドレス, センサ番号, “警報基準値上”, “警報解除基準値上”, “警報基準値下”, “警報解除基準値下” 例：50, 1, “40”, “35”, “5”, “10” (環境 MC アドレス 50 のセンサ番号 1 は 40 以上または 5 以下で警報を発報し、35 以下または 10 以上で警報を解除する)	
1-7-7		環境 MC のセンサの名称が一致しない。	環境 MC ユニットアドレス, センサ番号, センサ名称 例：50, 1, 外気温度計 1 (環境 MC50 のセンサ番号 1 の名称は「外気温度計 1」)	

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
2-1-1	課金設定	計量計接続按分が一致しない。	計量計接続按分の設定項目名 例：接続する	初期設定ツールで設定を変更した内容が集中コントローラに設定送信されていません。 初期設定ツールの設定が正しいことを確認してから、設定送信を行ってください。
2-1-2		A 制御機種電源が一致しない。	A 制御機種電源の設定項目名 例：室外機 - 室内機同一電源	
2-1-3		室外機使用電力量按分モードが一致しない。	室外機使用電力量按分モードの設定項目名 例：能力セーブ量	
2-1-4		室外機待機電力量按分モードが一致しない。	室外機待機電力量按分モードの設定項目名 例：按分する	
2-1-5		室内機使用電力量按分モードが一致しない。	室内機使用電力量按分モードの設定項目名 例：按分する	
2-1-6		室内機待機電力量按分モードが一致しない。	室内機待機電力量按分モードの設定項目名 例：按分する	
2-1-7		計量計故障の可能性警告が一致しない。	計量計故障の可能性警告の設定項目名 例：警告する	
2-1-8		計量計故障の可能性警告日数が一致しない。	計量計故障の可能性警告の日数 例：3	
2-2-1	室外機設定	室外ユニットの設定が集中コントローラに存在しない。	室外ユニットアドレス 例：51	集中コントローラと初期設定ツールで課金用の冷媒系設定が異なっています。 初期設定ツールの冷媒系設定画面で実構成に合わせて冷媒系を設定し直した後、室外機設定画面で設定し直してください。
2-2-2		室外ユニットの設定が初期設定ツールに存在しない。		
2-2-3		室外ユニットの待機電力が一致しない。	室外ユニットアドレス，“室外ユニット待機電力” 例：51，“0.07” (室外ユニット51の待機電力は0.07)	初期設定ツールで設定を変更した内容が集中コントローラに設定送信されていません。 初期設定ツールの設定が正しいことを確認してから、設定送信を行ってください。
2-3-1	室内機設定	室内ユニットの設定が集中コントローラに存在しない。	室内ユニットアドレス 例：1	集中コントローラと初期設定ツールでグループ設定または課金用の冷媒系設定が異なっています。 初期設定ツールのグループ設定画面、冷媒系設定画面で実構成に合わせて設定し直した後、室内機設定画面で設定し直してください。
2-3-2		室内ユニットの設定が初期設定ツールに存在しない。		
2-3-3		室内ユニットの冷房能力が一致しない。	室内ユニットアドレス，“冷房能力” 例：1，“2.2” (室内ユニット1の冷房能力は2.2kW)	初期設定ツールで設定を変更した内容が集中コントローラに設定送信されていません。 初期設定ツールの設定が正しいことを確認してから、設定送信を行ってください。
2-3-4		室内ユニットのFAN消費電力が一致しない。	室内ユニットアドレス，“FAN消費電力” 例：1，“0.04” (室内ユニット1のFAN消費電力は0.04kW)	
2-3-5		室内ユニットの待機電力が一致しない。	室内ユニットアドレス，“室内ユニット待機電力” 例：1，“0.005” (室内ユニット1の待機電力は0.005kW)	

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
2-4-1	計量設定	室外機用計量計の設定が集中コントローラに存在しない。	拡張コントローラ番号, 計量 MC アドレス, 計量計番号 例：1, 50, 4 (拡張コントローラ番号 1 の計量 MC アドレス 50 の計量計番号 4 が室外機計量計として設定されている)	初期設定ツールで設定を変更した内容が集中コントローラに設定送信されていません。 初期設定ツールの設定が正しいことを確認してから、設定送信を行ってください。
2-4-2		室外機用計量計の設定が初期設定ツールに存在しない。		
2-4-3		室外機用計量計の接続ユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	計量 MC が接続された拡張コントローラ番号, 計量 MC アドレス, 計量計番号, 室外ユニットが接続された拡張コントローラ番号, 室外ユニットアドレス 例：1, 50, 4, 2, 51 (室外ユニットを計量計で計測している。計量計は拡張コントローラ番号 1 の計量 MC アドレス 50 の計量計番号 4。室外ユニットは拡張コントローラ番号 2 のアドレス 51。)	
2-4-4		室外機用計量計の接続ユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		
2-4-5		室内機用計量計の設定が集中コントローラに存在しない。	拡張コントローラ番号, 計量 MC アドレス, 計量計番号 例：1, 50, 4 (拡張コントローラ番号 1 の計量 MC アドレス 50 の計量計番号 4 が室内機計量計として設定されている)	
2-4-6		室内機用計量計の設定が初期設定ツールに存在しない。		
2-4-7		室内機用計量計の接続ユニットアドレスが集中コントローラに存在しない。	計量 MC が接続された拡張コントローラ番号, 計量 MC アドレス, 計量計番号, 室内ユニットが接続された拡張コントローラ番号, 室内ユニットアドレス 例：1, 50, 4, 2, 3 (室外ユニットを計量計で計測している。計量計は拡張コントローラ番号 1 の計量 MC アドレス 50 の計量計番号 4。室内ユニットは拡張コントローラ番号 2 のアドレス 3。)	
2-4-8		室内機用計量計の接続ユニットアドレスが初期設定ツールに存在しない。		

エラーコード	画面名	エラーメッセージ	設定内容セルの出力内容 ※「例：」は実際の出力例を示す	対処方法
2-5-1	料金設定	精算日設定が一致しない。	精算日の設定項目名または日にち 例：月末 （設定が月末） 例：15 （設定が毎月15日）	初期設定ツールで設定を変更した内容が集中コントローラに設定送信されていないか、TG-2000が併用されています。TG-2000を併用している場合は、TG-2000かAE-200いずれかの課金機能を停止させてください。TG-2000を併用していない場合は、初期設定ツールの設定が正しいことを確認してから、設定送信を行ってください。
2-5-2		課金時間帯開始時刻が一致しない。	※ AE-200の課金機能とTG-2000の課金機能を併用していると、本照合エラーが出る場合があります。	
2-5-3		季節料金期間設定が一致しない。	季節期間開始の月、季節期間開始の日、季節期間終了の月、季節期間終了の日 例：6, 1, 10, 30 （季節期間は6/1～10/30） 例：無効 （季節期間は無効）	
2-5-4		週間料金時間設定の時間帯が集中コントローラに存在しない。	通常期間(1)/季節期間(2)、曜日、時間帯変更の時、時間帯変更の分 例：通常期間、月、8, 0 （通常期間の月曜日は8:00に時間帯が切り替わる） 例：季節期間、火、17, 0 （季節期間の火曜日は17:00に時間帯が切り替わる）	
2-5-5		週間料金時間設定の時間帯が初期設定ツールに存在しない。		
2-5-6		週間料金時間設定の料金単価が一致しない。	通常期間(1)/季節期間(2)、曜日、時間帯変更の時、時間帯変更の分、料金単価 例：通常期間、月、8, 0, 料金単価2 （通常期間の月曜日は8:00に時間帯が料金単価2に切り替わる） 例：季節期間、火、17, 0, 料金単価3 （季節期間の火曜日は17:00に時間帯が料金単価3に切り替わる）	
2-5-7		特異日料金時間設定の時間帯が集中コントローラに存在しない。	パターン、時間帯変更の時、時間帯変更の分 例：パターンA、8, 0 （パターンAは8:00に時間帯が切り替わる）	
2-5-8		特異日料金時間設定の時間帯が初期設定ツールに存在しない。		
2-5-9		特異日料金時間設定のパターンが一致しない。	パターン、時間帯変更の時、時間帯変更の分、料金単価 例：パターンA、8, 0, 料金単価1 （パターンAは8:00に時間帯が料金単価1に切り替わる）	
2-5-10		特異日が集中コントローラに存在しない。	特異日の年、特異日の月、特異日の日 例：2016, 4, 1 （2016/4/1は特異日）	
2-5-11		特異日が初期設定ツールに存在しない。		
2-5-12		特異日のパターンが一致しない。	特異日の年、特異日の月、特異日の日、パターン 例：2016, 4, 1, パターンA （2016/4/1は特異日のパターンA）	

※1 アイコン番号表は以下の通りです。

番号	1	2	3	4	5
アイコン					
番号	6	7	8	9	10
アイコン					
番号	11	41	42	43	44
アイコン					
番号	46	51	52	53	54
アイコン					
番号	55	56	57	58	59
アイコン					
番号	70	71	72	73	74
アイコン					
番号	75	0			
アイコン		自動※			


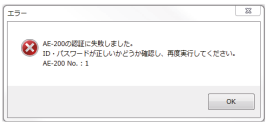
※ グループの機種に応じてアイコンを表示します。
グループ設定画面でアイコンを変更しなかった場合、0 番になります。

- 修正した設定を初期設定ツールから集中コントローラへ設定送信する。
「6-4-3. ツールバーの操作一覧」を参照してください。

9. トラブルシューティング

9-1. トラブルシューティング

以下の内容について確認し、対処してください。

No.	現象	要因の確認	処置方法
1	料金計算ツールにて料金結果が表示・印刷しない。	<ul style="list-style-type: none"> プリンタの電源がOFF（もしくは、ケーブルが接続されていない） 	<ul style="list-style-type: none"> 故障要因を取り除き、料金計算ツールより再度「印刷」実施してください。
2		<ul style="list-style-type: none"> プリンタの接続設定がされていない。 	「3. 使用方法（基本）」を参照してください。
3		 <ul style="list-style-type: none"> AE-200Jとパソコン（料金計算ツール）が正常にLAN接続されていない。 AE-200JのIPアドレスが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> AE-200JのIPアドレス・ID・パスワードに間違いがないか確認してください。
4		 <ul style="list-style-type: none"> AE-200JのIDとパスワードが間違っている。 	
5	自動印刷または自動CSVファイルが出力していない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの電源がOFF、またはプリンタの電源がOFF（もしくは、ケーブルが接続されていない） 	<ul style="list-style-type: none"> 今回は料金計算ツールより、期日指定計算を実施してください。 次回以降の自動印刷のために故障要因を取り除いてください。
6		<ul style="list-style-type: none"> プリンタの接続設定がされていない。 	「3-3. 精算日計算（自動出力）」を参照ください。
7		<ul style="list-style-type: none"> AE-200Jとの通信異常 	
8		<ul style="list-style-type: none"> 料金計算ツールにて「自動出力設定」をしていない 	

9. トラブルシューティング

No.	現象	要因の確認	処置方法
9	AE-200J 本体画面の 【状態リスト】 － 【異常発生中】 で異常表示している。	『バージョン組合せ異常 (0092)』	AE-200J/AE-50J/EW-50J のバージョンが電力按分課金支援機能の対応組合せでない。 「6. 初期設定」を参照ください。
10	または、	『システム構成変更警告 (0093)』	・「データ復元」処理を実施してください。 「9-3. AE-200J 交換」または、「9-4. AE-50J/EW-50J 交換」を参照ください。
11	【各種履歴】 － 【ユニット異常】 で異常履歴が表示している。	『電力按分課金支援ライセンスなし (0094)』	正常にライセンスが登録されていない AE-200J および AE-50J/EW-50J の全てにライセンスが登録されていることを確認してください。
12		『計量計故障の可能性あり (0095)』	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機の運転量をカウントアップしているのに、計量計の計量値が3～7日（※1）以上カウントアップしない状況が継続した場合 ※1 計量計故障の可能性警告で設定した日数 ・【監視/操作】－【計測】画面で計測状態が正常にカウントアップしていることを確認してください。 ・電力量計と計量用計測コントローラ間の配線接続不良。 （計量用計測コントローラ使用の場合） ・電力量計と AE-50J/EW-50J 内蔵の計量用パルス入力間の配線接続不良。 （AE-50J/EW-50J の計量計パルス入力使用の場合） ・計量用計測コントローラと AE-50J/EW-50J の通信異常。 ・料金単価の時間帯を削除した後に、繰り越しデータのクリアをしていない場合。 （「9-6(2) 繰り越しデータのクリア」を参照してください。） ・長期連休などで、未稼働の期間が長かった場合（処置不要）
13		『按分計算データ収集異常 (0097)』	<ul style="list-style-type: none"> ・AE-200J と AE-50J または EW-50J との通信異常の場合 ・AE-50J または EW-50J にて、運転量データが3日間連続で収集できない場合 ・AE-50J または EW-50J に M-NET 非対応機種が接続されている場合
14	初期設定ツールの冷媒系設定にて 【モニタ】 をタッチしたときにエラーが発生する	エラーメッセージ：「モニタは正常に完了しました。不正な接続ユニットアドレスを削除してもよろしいですか？ ***.***.***.*** (IP アドレス)」	<ul style="list-style-type: none"> ・初期設定ツールの設定が誤っている場合 初期設定ツールの以下の設定を再確認し、誤っている箇所を修正してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ設定のアドレスおよび種別 ・計量用計測コントローラのアドレス ・環境用計測コントローラのアドレス その後、再度冷媒系設定の【モニタ】をタッチしてください。 ・実機の冷媒系接続が誤っている場合 AE-200J 本体の【初期設定】－【冷媒系表示】から冷媒系接続を確認し、誤っているアドレスの機器のアドレス設定を変更してください。 その後、再度冷媒系設定の【モニタ】をタッチしてください。 ・ユニットに M-NET 通信異常が発生している場合 実機の通信異常を解消してください。 その後、再度冷媒系設定の【モニタ】をタッチしてください。


No.	現象	要因の確認	処置方法
15	電力量計がカウントアップしない	・ 初期設定ツールの設定が誤っている場合	パルス値が0kWh/pulseになっている可能性があります。 計量MC設定から正しいパルス値を設定してください。
		・ 計量用計測コントローラのDIPスイッチが誤っている場合	電力量計の使用有無設定が誤っている可能性があります。 計量用計測コントローラ本体のDIPスイッチSW01をONにしてください。
16	液晶画面のネットワーク設定でメッセージ「AE-50/EW-50が通信異常のため、送信できませんでした。」が表示される。	1) 接続先IPアドレスとAE-50J/EW-50JのIPアドレスが一致していない。 2) AE-200JとAE-50J/EW-50Jのソフトウェアバージョンが一致していない。	要因1) AE-200J/AE-50J/EW-50JのIPアドレスを確認して接続先IPアドレスと一致させてください。 要因2) AE-200J/AE-50J据付工事説明書またはEW-50J据付工事説明書を参照してソフトウェアアップロードを実施してください。
17	料金計算結果にて、エネルギー管理ブロックの出力値の合計が電力量計値の合計と一致しない。	差が小さい場合 1) 正常 差が大きい場合 2) 現象4の要因を確認ください	電力量は小数点2桁目を四捨五入、料金は小数点桁数以下を切り捨て処理しているため、ブロックと計量計値の合計が合わない場合があります。
18	料金計算結果にて、電力量計値と実際の電力量計メータが一致しない。	差が小さい場合 1) 正常 差が大きい場合 2) パルス単位の設定ミス	要因1) 小数点2桁目を四捨五入処理しているため、誤差が生じます。また、パルスの入カタイミングにより、実際の電力量計と違いが生じます。 要因2) 電力量計のパルス単位[kWh/pulse]の設定を正しいかを確認します。設定ミスの場合は修正します。
19	料金計算結果で一部のAE-200J分が空白表示となる。	1) AE-200Jの日付時刻のズレ	要因を調査して、対処します。 要因1) 時刻設定を実施します。 また、日付時刻ズレが生じた場合は、正常に課金按分できません。 ※ AE-200Jの変更または増設時には時刻設定を必ず実施してから運用ください。
20	印刷文字ズレや文字化けが発生する。	1) プリンタドライバが合っていない	要因1) OS上でプリンタドライバを確認します。また、他のアプリケーションで印刷できるかを確認します。
21	日をまたがる時刻変更を実施すると、課金結果がおかしくなった。	1) 日をまたがる時刻に変更したため	※ 電力按分課金を使用している場合、時刻変更は必要最小限の実施にしてください。特に、日をまたがる時刻変更はしないでください。
22	料金計算ツールで自動出力設定を「する」に設定していたが、自動出力されていない。	1) パソコンの設定(電源オプション)で、次の項目が有効になっていたため ・ システムスタンバイ ・ システム休止状態 2) 料金計算ツールが起動していたため 3) AE-200Jとの間にLANの通信異常が発生していたため	要因1) 常時運転できるように「システムスタンバイ」「システム休止状態」「ハードディスクの電源を切る」設定を「なし」に変更します。 要因2) 自動出力時刻の前に、料金計算ツールを閉じます。 要因3) パソコンとAE-200JのLAN接続を確認し、接続しなおしてください。 ※ 自動出力できなかった期間に対しては、手動で料金計算を実施してください。
23	料金計算ツールで自動出力で出力された期間がおかしい。	1) パソコンの時刻ズレ	要因1) パソコンの時刻を修正します。 ※ 自動出力できなかった期間に対しては、手動で料金計算を実施してください。
24	全停電により、ある日の課金按分が「0」である。	1 日中停電していたため	翌日に繰り越ししているため、対処は不要です。

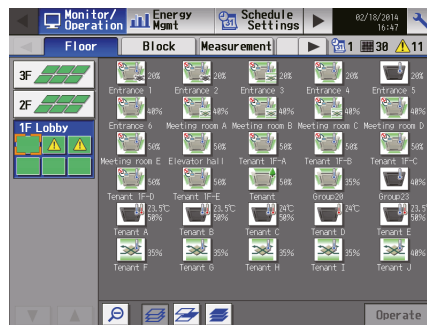
9. トラブルシューティング

No.	現象	要因の確認	処置方法
25	日ごとの料金計算結果で日ごとの按分電力量が按分されているのに、ステータス-2（繰り越しあり）がついている。	正常	※ AE-200Jは30分ごとに按分するため、夜間などの空調機が停止している時間帯は繰り越しが発生しやすくなります。次の按分時間にまとめて按分されるため、問題ありません。
26	電力按分計算が正しく実行されない。	1) 下記①～③を全て満たす場合、本現象が発生する。 ① PAC-SF50AT(1,2) を下位コントローラとして使用している。 ② 上位コントローラの時刻を基準にした、PAC-SF50AT(1,2)の時刻が2分以上遅れている。 ③ PAC-SF50AT(1,2) の時刻発報の設定が「使用する」に設定されている。	要因1) PAC-SF50AT(1,2)の時刻発報の設定を「使用しない」に変更する。

9-2. メンテナンス画面へのログイン方法

手順

1. AE-200Jの液晶画面右上の[]をタッチする。
ログイン画面が表示します。

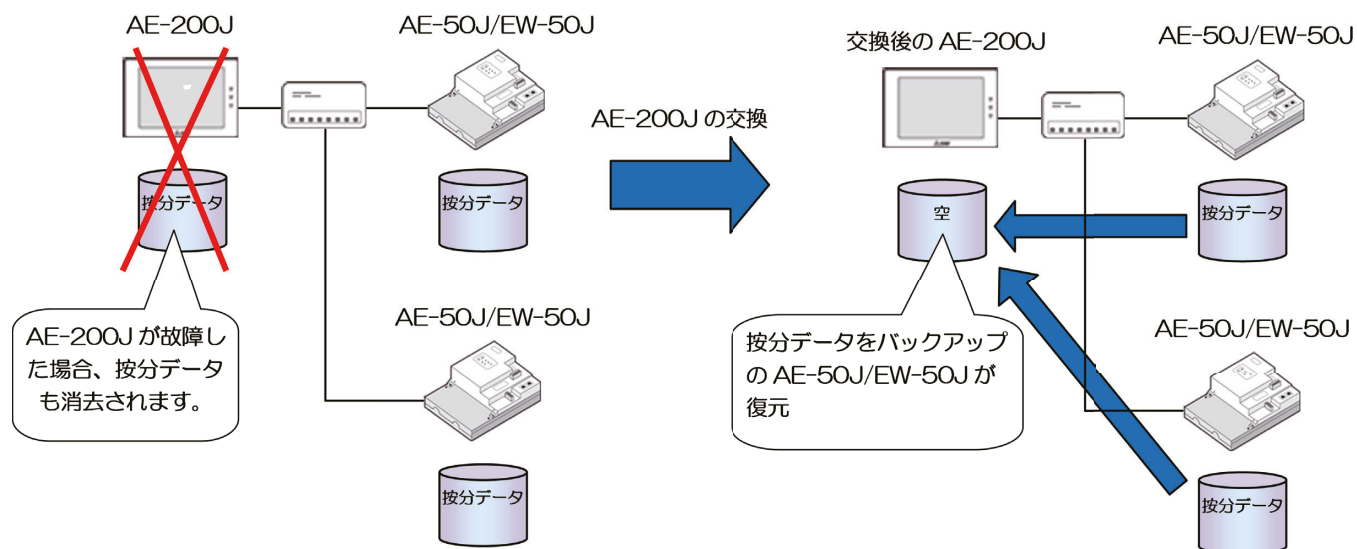


2. ユーザー名とパスワードをキーボード画面で入力し、[ログイン]をタッチする。
初期設定画面が表示します。
下表に、保守ユーザーとビル管理者の初期ユーザー名、初期パスワードおよび使用できる機能を示します。

ユーザー	初期 ユーザー名	初期 パスワード	使用できる機能
保守ユーザー	initial	init	全ての機能
ビル管理者	administrator	admin	保守ユーザーが[ユーザー情報]画面でアクセス権を与えた項目が使用できます。

9-3. AE-200J 交換

AE-200Jを交換する場合、保持していた按分データを復元する必要があります。
AE-50J/EW-50Jの按分データ（バックアップ）をAE-200Jに復元する方法を説明します。



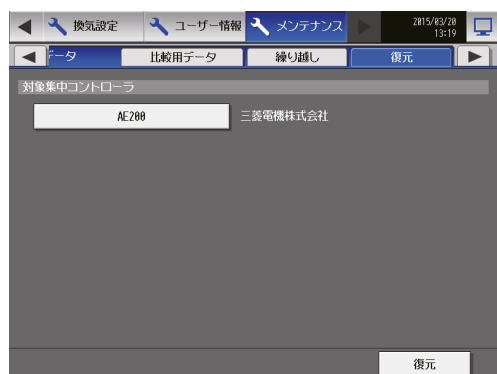
- (1) AE-200Jのネットワーク設定を実施します。
- (2) AE-200Jにて通常の初期設定を実施します。
- (3) データの復元作業を実施します。

手順

1. AE-200Jの本体液晶画面にて[メンテナンス]－[按分データ]－[復元]をタッチする。
2. 「対象の集中コントローラ」は[AE200]を選択して[復元]をタッチする。

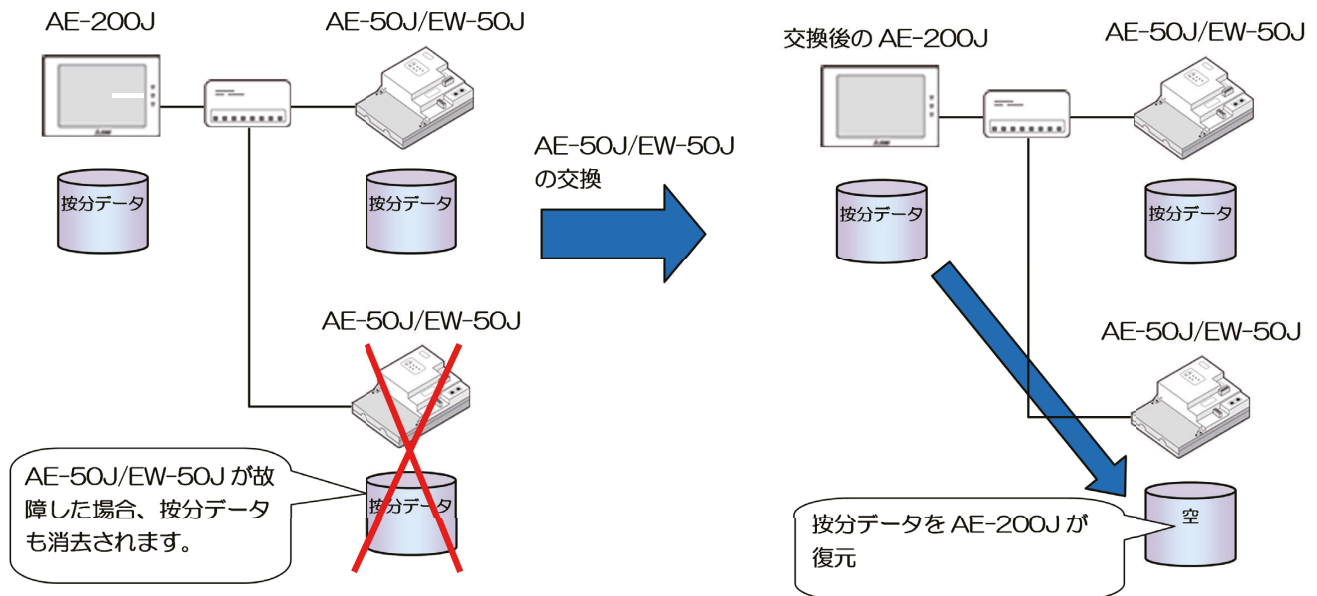
お知らせ

- ・ [AE200] を選択してください。
間違えて AE-50J/EW-50J を選択すると、按分計算結果のデータが全て消えます。



9-4. AE-50J/EW-50J 交換

AE-50J/EW-50Jを交換する場合、保持していた按分データを復元する必要があります。
AE-200Jの按分データ（バックアップ）をAE-50J/EW-50Jに復元する方法を説明します。



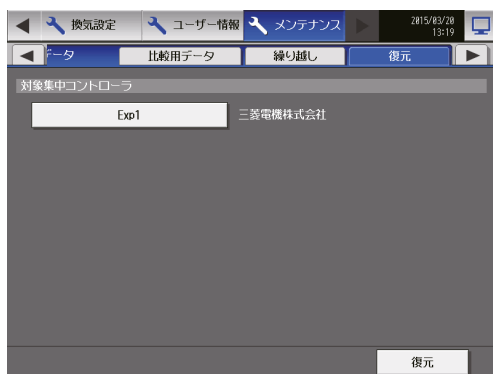
- (1) AE-50J/EW-50Jのネットワーク設定を実施します。
- (2) AE-200Jにて通常の初期設定を実施します。
- (3) データの復元作業を実施します。

手順

1. [メンテナンス] – [按分データ] – [復元] をタッチする。
2. 「対象の集中コントローラ」は交換した AE-50J/EW-50J を選択して [復元] をタッチする。
(タッチするたびに [AE-200] → [Exp1] → [Exp2] → [Exp3] → [Exp4] と表示が切り替わります。)

お知らせ

- ・ AE-50J/EW-50J を選択してください。
間違えて AE-200J を選択すると、按分計算結果のデータが全て消えます。



3. 空調機分の比較用データのクリアを実施する。

比較用データとは

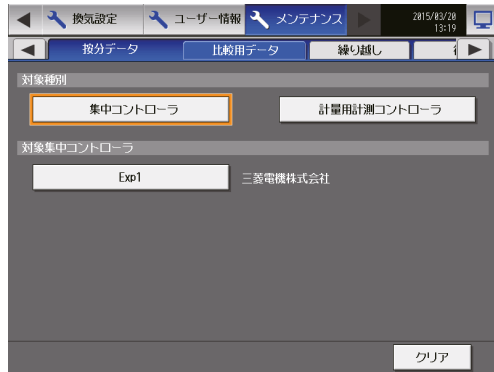
AE-50J/EW-50J および計量用計測コントローラが持っている最新値と、AE-200Jが持っている前回の按分計算時点の値を比較して増分を求めるためのデータです。

AE-200Jに接続されている**交換した AE-50J/EW-50J**の比較用データのクリアを実施します。

「対象種別」は**【集中コントローラ】**を選択します。

「対象集中コントローラ」は**交換した AE-50J/EW-50J**を選択して**【クリア】**をタッチします。

(タッチするたびに **[Exp1] → [Exp2] → [Exp3] → [Exp4]** と表示が切り替わります。)



4. 計量計分の比較用データのクリアを実施する。

交換した AE-50J/EW-50J に、計量用計測コントローラが接続されている場合は、以下の作業を実施します。

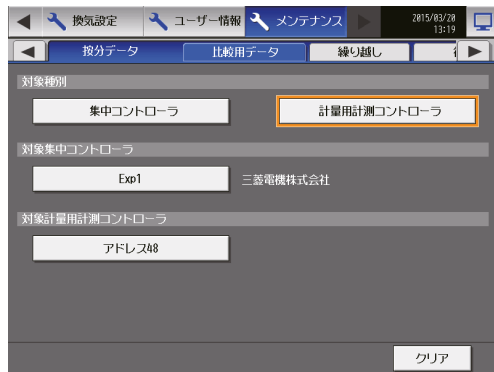
【メンテナンス】－【按分データ】－【比較用データ】をタッチして、「対象種別」は**【計量用計測コントローラ】**を選択します。

「対象集中コントローラ」は、計量用計測コントローラが接続されている AE-50J または EW-50J を選択します。

(タッチするたびに **[Exp1] → [Exp2] → [Exp3] → [Exp4]** と表示が切り替わります。)

「対象計量用計測コントローラ」は接続されている計量用計測コントローラのアドレスを選択します。

設定完了後、**【クリア】**をタッチします。



- AE-50J/EW-50J 内蔵の計量用パルス入力を使用している場合も実施してください。
計量用パルス入力の場合は、**[PI]** を選択してください。
- 計量用計測コントローラが接続されていない AE-50J/EW-50J は、この作業は不要です。

9-5. 計量用計測コントローラ交換

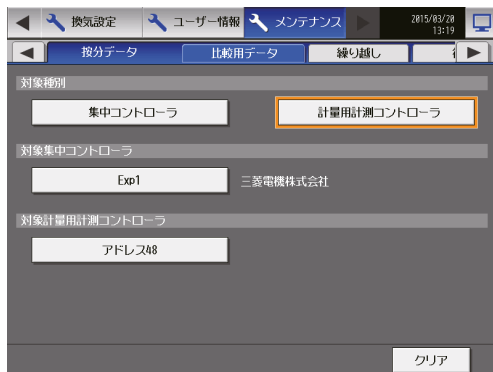
計量用計測コントローラを交換した場合、比較用データのクリアを実施します。

交換対象の計量用計測コントローラに以下の作業を実施します。

「対象種別」は**【計量用計測コントローラ】**を選択します。

手順

1. 「対象集中コントローラ」は、計量用計測コントローラが接続されている AE-50J または EW-50J を選択する。
(タッチするたびに **[Exp1]** → **[Exp2]** → **[Exp3]** → **[Exp4]** と表示が切り替わります。)
2. 「対象計量用計測コントローラ」で、接続している計量用計測コントローラのアドレスを選択する。
間違えて交換していない計量用計測コントローラを選択すると、未按分のパルス増分が削除されます。
3. 設定完了後、**[クリア]** をタッチする。



9-6. その他の作業

(1) 料金計算演算前のデータ確認

料金計算ツールにて、過去に料金計算を行ったことがあるデータに対して、再計算する場合は、下記計算前のデータを使用して再計算してください。

- ・ 保管場所
C:\Users\%(ユーザー名)\Documents\CCTool\Log\ “印刷を実施した日付”
- ・ ファイル名
 - ① エネルギー管理ブロックデータ
M_01_App_IC_ “印刷を実施した日付・時刻”_ “数字3桁”.csv
 - ② 計量計データ
M_01_App_MC_ “印刷を実施した日付・時刻”_ “数字3桁”.csv

(2) 繰り越しデータのクリア

初期設定ツールの料金(時間帯)設定を1つでも削除した場合は、按分データの繰り越しデータのクリアを実施してください。

繰り越しデータのクリアを実施しない場合、該当時間帯の按分データが反映されず、「異常コード(0095)」が発生する可能性があります。

- ・ 繰り越しデータのクリアを実施します。

AE-200Jの本体液晶画面にて **[メンテナンス] – [按分データ] – [繰り越し]**

「対象種別」は **[集中コントローラ]** を選択します。

「対象の集中コントローラ」は接続されているAE-50JもしくはEW-50Jを選択します。

(タッチするたびに **[Exp1] → [Exp2] → [Exp3] → [Exp4]** と表示が切り替わります。)

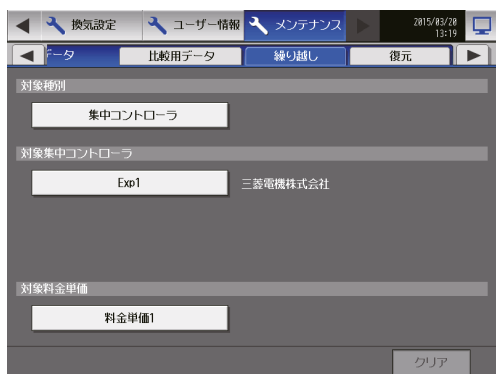
「対象料金単価」をタッチして、料金単価1～5を選択します。

設定完了後、**[クリア]** をタッチします。

お知らせ

- ・ 削除した料金時間帯がAE-50J/EW-50Jを複数系統にまたがって接続されている場合は、全ての系統で実施してください。

間違って使用中の料金単価を [クリア] すると、繰り越している増分が消去されます。

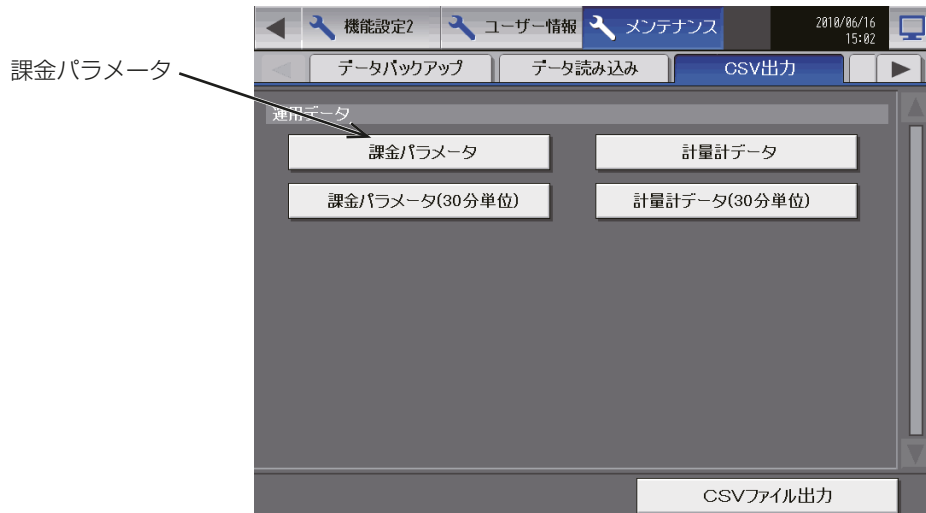


(3) 使用電力量が「0」のユニットがある場合

AE-200Jの課金パラメータ (CSV データ) を用いて確認します。

手順

1. AE-200JにUSB メモリを接続する。
2. [メンテナンス] – [CSV 出力] 画面を開き、[課金パラメータ] を選択した状態で [CSV ファイル出力] をタッチする。
3. CSV データを開く。



4. 初期設定ツールの [課金設定] - [課金設定] の「室外機使用電力按分モード」で選択したモードの数値を確認する。
数値が「0」以外であれば誤設定の可能性がありますので確認してください。
数値が「0」の場合、空調機試運転（冷房または暖房）を行って、使用電力量が増加したことを確認してください。
増加しなければ誤設定の可能性がありますので確認してください。
※ 課金パラメータの詳細については、AE-200Jの取扱説明書「操作（詳細）編」を参照してください。

(4) 待機電力量が「0」のユニットがある場合

手順

1. システムの課金設定内容を確認する。
待機電力を [按分しない] に設定している場合は、「0」で問題ありません。
2. 初期設定ツールの [課金設定] – [課金設定] の「室外機待機電力按分モード」と「室内機待機電力按分モード」の設定を確認する。
[按分しない] に設定している場合は「0」になります。
3. 初期設定ツールの [課金設定] – [室外機設定] または [室内機設定] の待機電力の項目に数値が入っているかを確認する。
※ 設定を変更する場合は、運用方法などを考慮したうえで設定を変更してください。

添付 1 AE-200 料金比率支援ツールの使用方法

AE-200Jの料金計算ツールから出力した電力量手入力（計量計なし）方式の空調料金比率のCSV ファイルから、エネルギー管理ブロックごとの空調料金計算を支援するためのAE-200 料金比率支援ツール（Excel ファイル）の使用方法について説明します。

本ツールは、簡易的にエネルギー管理ブロックごとの空調料金の計算や請求書フォームへのデータ展開と、請求書フォームの変更が行えます。

お知らせ

- AE-200 料金比率支援ツールは料金計算ツール Ver. 1.10 以降に同梱しています。
料金計算ツールをインストールすると、下記フォルダにAE-200 料金比率支援ツールもインストールされます。
「[料金計算ツールをインストールしたフォルダ]¥Tool¥」（デフォルトでインストールした場合、
「C:¥Program Files¥MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION¥AE-200 料金計算ツール¥Tool¥」）

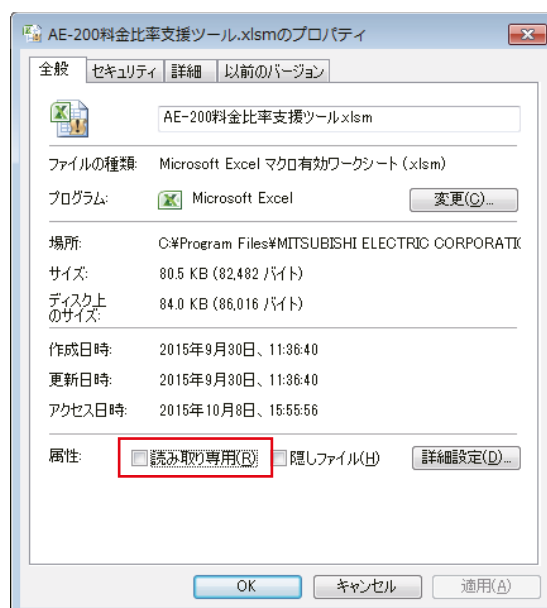
(1) 準備

AE-200 料金比率支援ツールを使用する準備を行います。

準備内容	備考
Excel 2019/2016/2013	使用するパソコンにインストールして、アクセス可能な状態に準備してください。
AE-200 料金比率支援ツール 「AE-200 料金比率支援.xlsm」	
料金計算ツールから出力した空調料金比率の CSV ファイル	請求期間分を計算したファイルを用意してください。
室外機電力量（請求期間分）	請求期間分の電力メータ検針を行う必要があります。
室内機電力量（請求期間分）	

お知らせ

- 「AE-200 料金比率支援.xlsm」のプロパティを開いて、属性にある「読み取り専用」のチェックが外れていることを確認してください。
- 「AE-200 料金比率支援.xlsm」はマクロを使用しています。マクロを使用できない旨のメッセージが表示された場合、マクロ・セキュリティのレベルをマクロが使用できるように変更してください。

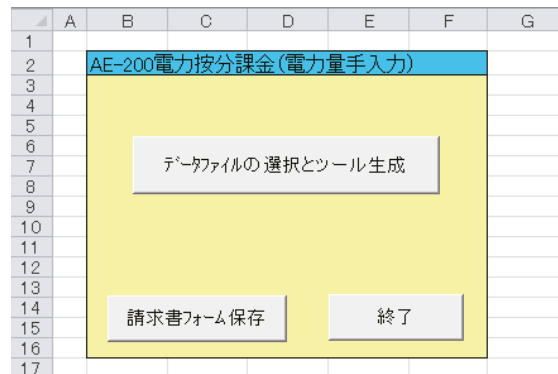


(2) 空調料金の計算

AE-200Jの料金計算ツールより出力した空調料金比率のCSV ファイルと、電力量計で計量した電力量から空調料金を計算します。

手順

1. 「AE-200 料金比率支援.xlsm」ファイルをダブルクリックして起動する。



2. 「データファイルの選択とツール生成」をクリックして空調料金比率のCSV ファイルを選択して開く。
自動的に「AE-200 料金比率支援.xlsm」が閉じて、別ファイル名で「料金比率からの空調料金算出支援ツール」のExcel画面が表示します。

	A	B	C	D	E	F	G	I
1	料金比率からの空調料金算出支援ツール							
2								
3					年	月分の空調料金		
4	印刷フォーム対象				電力量[kWh]	料金単価	料金	
5		作成						
6					室外機分			¥0
7					室内機分			¥0
8	料金計算結果(エネルギー管理ブロック)							
9	期間 2015/05/01-2015/05/31							
10	ブロック名	料金比率(室外機) [%]	料金比率(室内機) [%]	料金(室外機) [円]	料金(室内機) [円]	空調料金合計 [円]		
11	テナント1	8.6505	10.0000	¥0	¥0	¥0		
12	テナント2	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
13	テナント3	62.9758	20.0000	¥0	¥0	¥0		
14	テナント4	17.3010	60.0000	¥0	¥0	¥0		
15	テナント5	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
16	テナント6	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
17	テナント7	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
18	テナント8	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		

3. 必要なデータを入力する。

次のデータを黄緑色のセルに入力します。

- ・ 請求年月
- ・ 室外機電力量 (請求期間分)
- ・ 室内機電力量 (請求期間分)
- ・ 電力料金単価 (円 /kWh)

入力すると、自動的にエネルギー管理ブロックごとの空調料金合計 (使用電気料金) を表示します。

	A	B	C	D	E	F	G	I
1	料金比率からの空調料金算出支援ツール							
2								
3				2015 年	5 月分の空調料金			
4	印刷フォーム対象			電力量[kWh]	料金単価	料金		
5		作成						
6				室外機分	120	¥30	¥3,600	
7				室内機分	80	¥30	¥2,400	
8	料金計算結果(エネルギー管理ブロック)							
9	期間 2015/05/01-2015/05/31							
10	ブロック名	料金比率(室外機) [%]	料金比率(室内機) [%]	料金(室外機) [円]	料金(室内機) [円]	空調料金合計 [円]		
11	テナント1	8.6505	10.0000	¥311	¥240	¥551		
12	テナント2	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
13	テナント3	62.9758	20.0000	¥2,267	¥480	¥2,747		
14	テナント4	17.3010	60.0000	¥623	¥1,440	¥2,063		
15	テナント5	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
16	テナント6	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
17	テナント7	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		
18	テナント8	0.0000	0.0000	¥0	¥0	¥0		

お知らせ

- 電力メータ検針をあらかじめ行っておく必要があります。

(3) 請求書フォームへの展開

「料金比率からの空調料金算出支援ツール」のExcel画面から請求書フォームに展開し、テナント向けの請求書を作成します。

手順

- エネルギー管理ブロックを選択し、**[作成]** ボタンをクリックする。

	A	B
1	料金比率からの空調料金算出支援ツール	
2		
3		
4	印刷フォーム対象	
5	<input type="text"/>	<input type="button" value="作成"/>
6		
7		
8	料金計算結果(エネルギー管理ブロック)	

印刷用の請求書フォームが新しいBookで開き、以下の内容を反映します。

- 請求年月
- エネルギー管理ブロック名(テナント名)
- 精算期間
- 空調料金合計(使用電気料金)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2						2015年6月17日	
3							
4				請	求	書	
5							
6							
7		テナント1				御中	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14		2015	年	5	月分		
15							
16							
17		合 計			551	円	
18							
19		項目			金額		備考
20		空調料金			¥551		
21		期間 2015/05/01-2015/05/31					
22							
23							
24							
25							

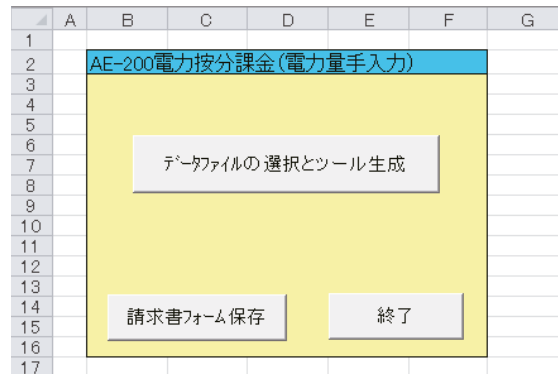
- 請求書フォームに必要な内容やデータを入力する。
必要に応じて水道料金やガス料金など空調料金以外の費目を追加入力することができます。
請求書が完成しましたら、印刷してご使用ください。

(4) 請求書フォームの変更

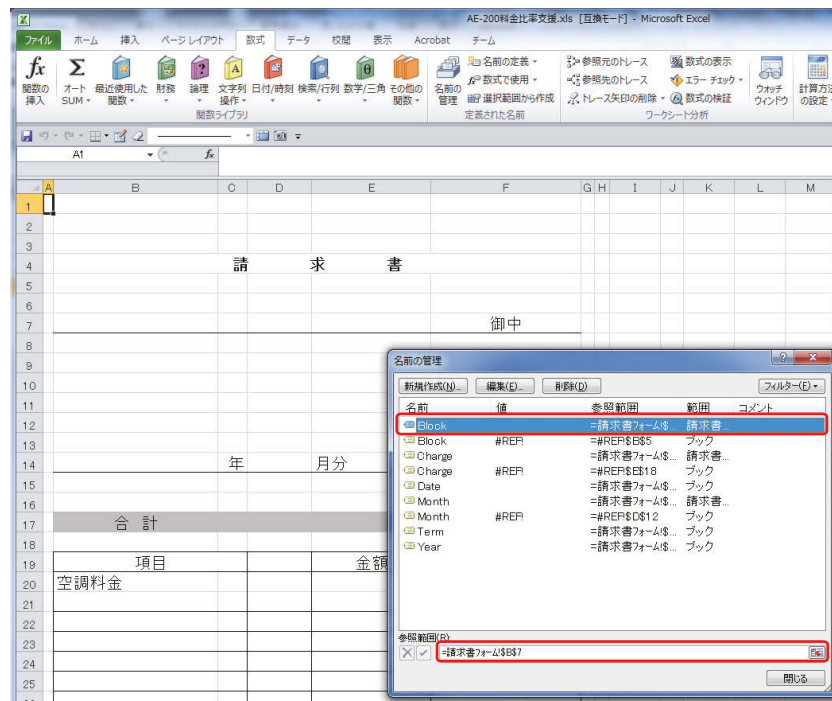
請求書フォームのフォーマットを変更することができます。

手順

1. 「AE-200料金比率支援.xlsm」ファイルをダブルクリックして起動する。



2. シート切り替えで「請求書フォーム」シートを選択する。
3. 請求書フォームを変更する。
使用に適した請求書フォームに変更します。
変更後に、「エネルギー管理ブロック名」「請求年月」「空調料金合計」を出力するセルの位置を確認しておきます。
4. Excelのメニューから【数式】－【名前の管理】をクリックする。
出力するセルの項目を以下から選択する。
 - ・「Block」 （エネルギー管理ブロック名）
 - ・「Charge」 （空調料金合計）
 - ・「Date」 （請求書発行日付）
 - ・「Month」 （請求月）
 - ・「Term」 （請求期間）
 - ・「Year」 （請求年）



5. 参照範囲欄を選択後、出力セルを選択する。
出力セルを選択すると、セルが点線で示され、参照範囲欄に表示します。
6. 4.～5.を繰り返して出力セルを変更したあと、**[閉じる]** ボタンを選択する。
7. シート切り替えて**[HOME]**シートを選択する。

8. [請求書フォーム保存] をクリックして、請求書を保存する。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		AE-200電力按分課金(電力量手入力)					
3		<div>データファイルの選択とツール生成</div> <div>請求書フォーム保存 終了</div>					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

お知らせ

- ・ [請求書フォーム保存] をクリックしないで「AE-200 料金比率支援 .xlsm」 を閉じると設定が保存されません。
[請求書フォーム保存] を忘れずにクリックしてください。

添付. 追加機能について

集中コントローラの電力按分課金支援機能に関する追加機能は以下のとおりです。

Version	追加項目	概要	参照
Ver.7.30	対応機種追加	DT-Rを電力按分課金支援機能に対応しました。 ただし按分はできず、電力量直読みのみとなります。	2-5. 電力按分課金支援機能対応機種
Ver.7.50	対応機種追加	業務用エコキュートを電力按分課金支援機能に対応しました。 ただし按分はできず、電力量直読みのみとなります。	2-5. 電力按分課金支援機能対応機種
Ver.7.97	対応機種追加	ホットウォーターヒートポンプを電力按分課金支援機能に対応しました。ただし按分はできず、電力量直読みのみとなります。	2-5. 電力按分課金支援機能対応機種
		ブラインクーラを電力按分課金支援機能に対応しました。ただし按分はできず、電力量直読みのみとなります。	2-5. 電力按分課金支援機能対応機種

初期設定ツールの電力按分課金支援機能に関する追加機能は以下のとおりです。

Version	追加項目	概要	参照
Ver.1.20	課金試運転チェックシート	BACnet®の課金試運転用のチェック項目を追加しました。	7. 課金試運転
	照合	電力按分課金支援機能に関わる設定項目の設定誤りを検出するための、照合機能を追加しました。	8. 照合
Ver.1.40	グループ設定の機能追加	加熱加湿付ロスナイと空調機を分けてグループ登録ができるようにしました。	6-6-1. グループ設定
Ver.2.00	個別送信・差分送信機能の追加	個別送信：設定変更のあるコントローラに対し全ての設定を送信 差分送信：設定変更のあるコントローラに対し変更した設定のみを送信	6-4-3[5] 設定の送信
Ver.2.01	Windows® 11 対応	Windows® 11 搭載のPCを使用できます。	1-4. パソコン環境
	.NET Framework 4.8 対応	.NET Framework 4.8をサポートします。	

商標、登録商標について



SD および SDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

- BACnet[®] は、米国暖房冷凍空調学会 (ASHRAE) の登録商標です。
- Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Oracle および Java は、米国 Oracle Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer の正式名称は、Microsoft[®] Internet Explorer Internet browser です。
- Microsoft Office Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Operating System です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

MEMO

MEMO

MEMO

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

2022年5月作成

WT07441X12